

統計でみる芦屋市の現況

既存の統計資料を時系列に整理し、
震災前から現在までの推移を見ることで
復興の状況と現在の課題を探る

平成16年6月
芦屋市

はじめに

震災前から現在までの統計データを時系列に見ることで、震災復興がどこまで進んだのか、震災前からの傾向が震災によって変化し、それが震災前の傾向に戻っているのか、人口は回復したのか、住宅はどのような状況になっているのかなどを探るため、既存の統計資料を下記の5つの分類で整理した。

- 1 人口の推移
- 2 住宅の推移
- 3 暮らし向きの推移
- 4 産業の推移
- 5 市財政の推移

人口について見てみると、推計人口が平成7年(1995年)に75,032人、平成8年(1996年)に74,562人まで落ち込んだが、平成14年(2003年)には87,790人と平成6年(1994年)の人口まで回復した。

住宅については、法務局から通知のあった家屋の異動件数について、平成7年度(1995年度)から平成14年度(2002年度)までを見てみると、「滅失」2,721戸、「表示(新築)」8,556戸となっており、「表示(新築)」が上回っている。

このことから、統計上では人口と住宅については「回復した」と言えるのではないか。

一方、市民税の課税対象所得を見ると、震災直後からは回復したが、震災前の平成6年度(1994年度)の状況までには回復していない。全国的な経済不況もあり、震災が所得減少の唯一の原因とは言えないが、震災がどこまで影響したかはこの統計データからは明らかにはならなかった。産業の推移についても同様である。

しかし、震災が市財政へ及ぼした影響は多大である。復旧経費だけでなく、震災復興関連事業での歳出の増大に加え、所得減少による市税収入の減少もあり、危機的な状況になっている。

今後、目を向けると、住宅都市である本市では人口の推移と住宅供給は密接な関係にあり、特に近年の分譲マンション建設が人口に及ぼした影響は大きい。本市としては、今後、分譲マンションにどのように対応するかが大きな課題の一つとなっている。

目 次

1	人口の推移	4
(1)	推計人口の推移	4
	(参考) 推計人口, 住民基本台帳人口及び外国人登録者数の関係	7
	(参考) 日本の総人口の推移と将来推計人口	8
	(参考) 兵庫県, 神戸市及び阪神間各市の人口の推移	9
(2)	世帯数と平均世帯人員の推移	10
	(参考) 全国の平均世帯人員の推移	11
(3)	自然動態の推移	12
(4)	社会動態の推移	14
	(参考) 全国の自然動態の推移	16
(5)	町別人口の推移(住民基本台帳と外国人登録による)	18
(6)	町別人口増減率の推移(住民基本台帳と外国人登録による)	20
(7)	町別年齢3区分別人口の推移(住民基本台帳と外国人登録による)	24
	(参考) 全国の年齢3区分別人口の推移	27
(8)	町別世帯数と平均世帯人員の推移(住民基本台帳と外国人登録による)	28
(9)	町別1人当たりの面積の推移(住民基本台帳と外国人登録による)	31
	(参考) 5歳階級別人口の推移(住民基本台帳と外国人登録による)	34
	(参考) 全国の5歳階級別人口の推移	36
	(参考) 「広報あしや」郵送部数の推移	37
2	住宅の推移	38
(1)	住宅・土地統計調査から見る住宅の推移	38
(2)	固定資産税の課税状況から見る住宅の推移	45
	(参考) 建築物の被災状況	48
	(参考) 応急仮設住宅	48
(3)	新たな住宅供給の推移	49
	(参考) 公営住宅供給の推移	52
(4)	水道メータから見る住宅の入居状況の推移	54
(5)	人口と住宅供給の推移(住民基本台帳と外国人登録による)	58

3	暮らし向きの推移	60
	(1) 個人市民税の課税状況から見る所得の推移	60
	(2) 生活保護の推移	64
	(参考) 法律相談の推移	66
	(参考) 就学奨励費・芦屋市奨学金の推移	68
	(参考) 国民健康保健加入者の推移	70
	(参考) 全国消費実態調査からみる被災地の状況	72
	(参考) 死亡と自殺の推移	78
	(参考) 犯罪認知件数の推移	80
4	産業の推移	82
	(1) 法人市民税の課税状況から見る法人の推移	82
	(2) 商業の推移	84
	(3) 製造業の推移	86
	(4) 農業の推移	88
	(5) 漁業の推移	90
5	市財政の推移	92
	(1) 歳入の推移	92
	(2) 歳出の推移	95

1 人口の推移

1 人口の推移

(1) 推計人口の推移

本市の推計人口の推移について、第1回国勢調査が行われた大正9年(1920年)から平成15年(2003年)までを表した。

市制施行時(昭和15年(1940年))は、39,137人であった本市の人口は、終戦時に31,098人にまで減少したが、その後増加に転じ、昭和38年(1963年)に6万人、昭和45年(1970年)に7万人、昭和55年(1980年)には8万人台へと順調に増加してきた。

しかし、昭和63年(1988年)に88,623人をピークに徐々に減少し、平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災で平成8年(1996年)には74,562人まで下落し、昭和48年(1973年)当時の人口にまで激減した。その後、復興が進むにつれ回復し、平成14年(2002年)には震災前の人口まで回復した。

平成16年(2004年)5月1日現在では、90,194人となっている。

グラフ1：推計人口及び世帯数の推移

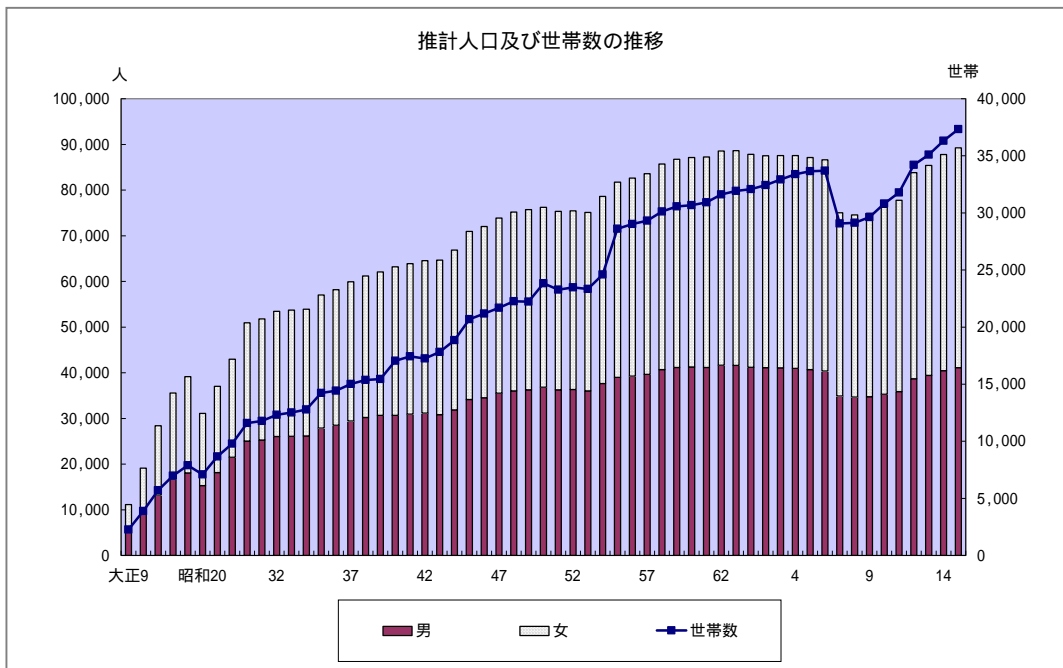


表 1：推計人口の推移

区分 年次	世帯数 (世帯)	人 口			人口増加率 (%)	平均世帯人数 (人)	備 考
		総数(人)	男(人)	女(人)			
大正3年	1,131	5,298	35.7	4.68	
9	2,269	11,151	5,478	5,673	110.5	4.91	第1回国勢調査
14	3,886	19,101	9,026	10,075	71.3	4.92	2 "
昭和5年	5,708	28,404	13,225	15,179	48.7	4.98	3 "
10	6,979	35,567	16,738	18,829	25.2	5.10	4 "
15	7,890	39,137	18,089	21,048	10.0	4.96	5 " 市制施行
20	7,086	31,098	15,300	15,798	20.5	4.39	人口調査(11.1)
22	8,666	37,033	18,139	18,894	19.1	4.27	第6回国勢調査
25	9,785	42,951	21,493	21,458	16.0	4.39	7 "
30	11,589	50,960	25,033	25,927	18.6	4.40	8 "
31	11,778	51,787	25,264	26,523	1.6	4.40	推計人口(10.1)
32	12,317	53,456	26,060	27,396	3.2	4.34	"
33	12,510	53,724	26,095	27,629	0.5	4.29	"
34	12,775	53,911	26,183	27,728	0.3	4.22	"
35	14,221	57,050	27,894	29,156	5.8	4.01	第9回国勢調査
36	14,433	58,180	28,505	29,675	2.0	4.03	推計人口(10.1)
37	15,017	59,928	29,424	30,504	3.0	3.99	"
38	15,363	61,188	30,201	30,987	2.1	3.98	"
39	15,446	62,098	30,676	31,422	1.5	4.02	"
40	17,046	63,195	30,687	32,508	1.8	3.71	第10回国勢調査
41	17,429	63,873	30,932	32,941	1.1	3.66	推計人口(10.1)
42	17,250	64,563	31,189	33,374	1.1	3.74	"
43	17,826	64,645	30,847	33,798	0.1	3.63	"
44	18,856	66,878	31,856	35,022	3.5	3.55	"
45	20,690	70,938	34,139	36,799	6.1	3.43	第11回国勢調査
46	21,175	72,016	34,521	37,495	1.5	3.40	推計人口(10.1)
47	21,681	73,857	35,517	38,340	2.6	3.41	"
48	22,254	75,184	36,042	39,142	1.8	3.38	"
49	22,231	75,740	36,256	39,484	0.7	3.41	"
50	23,829	76,211	36,855	39,356	0.6	3.20	第12回国勢調査
51	23,277	75,332	36,274	39,058	1.2	3.24	推計人口(10.1)
52	23,474	75,453	36,332	39,121	0.2	3.21	"
53	23,340	75,092	36,044	39,048	0.5	3.22	推計人口(10.1)
54	24,607	78,600	37,665	40,935	4.7	3.19	"
55	28,608	81,745	38,996	42,749	4.0	2.86	第13回国勢調査
56	29,020	82,614	39,274	43,340	1.1	2.85	推計人口(10.1)
57	29,325	83,570	39,638	43,932	1.2	2.85	"
58	30,125	85,709	40,712	44,997	2.6	2.85	"
59	30,560	86,735	41,151	45,584	1.2	2.84	"
60	30,675	87,127	41,275	45,852	0.5	2.84	第14回国勢調査
61	30,928	87,232	41,172	46,060	0.1	2.82	推計人口(10.1)
62	31,622	88,553	41,642	46,911	1.5	2.80	"
63	31,929	88,623	41,615	47,008	0.1	2.78	"
平成元年	32,077	87,841	41,208	46,633	0.9	2.74	"
2	32,427	87,524	41,130	46,394	0.4	2.70	第15回国勢調査
3	32,926	87,567	41,096	46,471	0	2.66	推計人口(10.1)
4	33,381	87,541	40,948	46,593	0	2.62	"
5	33,643	87,127	40,707	46,420	0.5	2.59	"
6	33,695	86,630	40,401	46,229	0.6	2.57	"
7	29,070	75,032	34,928	40,104	13.4	2.58	第16回国勢調査
8	29,128	74,562	34,687	39,875	0.6	2.56	推計人口(10.1)
9	29,627	74,922	34,748	40,174	0.5	2.53	"
10	30,808	76,212	35,295	40,917	1.7	2.47	"
11	31,787	77,775	35,872	41,903	2.1	2.45	"
12	34,209	83,834	38,705	45,129	7.8	2.45	第17回国勢調査
13	35,092	85,378	39,425	45,953	1.8	2.43	推計人口(10.1)
14	36,317	87,790	40,452	47,338	2.8	2.42	"
15	37,340	89,267	41,119	48,148	1.7	2.39	"

資料：芦屋市『芦屋市統計書』

1 人口の推移

次に、5 ページの表 1 の人口増加率について、下記のグラフ 2 に表した。

昭和 30 年の 18.6%以降、昭和 35 年(1960 年)、44 年から 45 年(1969 年から 1970 年)、54 年から 55 年(1979 年から 1980 年)を除き、人口増加率は減少傾向にあったが、平成 7 年(1995 年)の阪神・淡路大震災で一気にマイナス 13.4%まで落ち込んだ。

しかし、復興が進むにつれ人口増加率は増加し、平成 12 年には 7.8%にまで増加したが、その後は 1%から 2%辺りを推移している。

グラフ 2：人口増加率の推移



(参考) 推計人口、住民基本台帳人口及び外国人登録者数の関係

推計人口とは、国勢調査における確定数を基礎とし、その後、毎月住民基本台帳法及び外国人登録法に基づく当該月間の移動数を集計したものである。

国勢調査は各戸に直接配票し回収した調査票により人口を把握する方法で、実際にその地域にその時点で3か月間居住している人が対象となる。(国勢調査は4年ごと10月1日現在の状況)

一方、住民基本台帳人口は、各市町村に届出のあった住民票により地域の人口を把握する方法で、住民票が動かされない限り、実際にその地域に居住していない場合でもその地域の人口としてカウントされる。

また、外国人登録者数も住民基本台帳と同様に各市町村への届出により地域の人口を把握する方法である。

阪神・淡路大震災直前の平成6年(1994年)では、住民基本台帳人口と外国人登録者数の合計と推計人口の差は504人とほぼ同数であったが、平成7年(1995年)の国勢調査では住民基本台帳人口と外国人登録者数の合計が推計人口を6,218人上回った。これは、震災直後、住民票等は本市に置いたまま市外に避難生活をしている市民の多さを表している。平成12年(2000年)の国勢調査ではその差が1,808人と縮まった。この差がなくなる時期が人口統計上から見ても被災地における人口回復期と捉えられる。

平成14年(2002年)12月1日では、住民基本台帳人口と外国人登録者数の合計は90,058人となり、はじめて9万人を超えた。

表2：住民基本台帳人口と外国人登録者数の合計と推計人口の比較

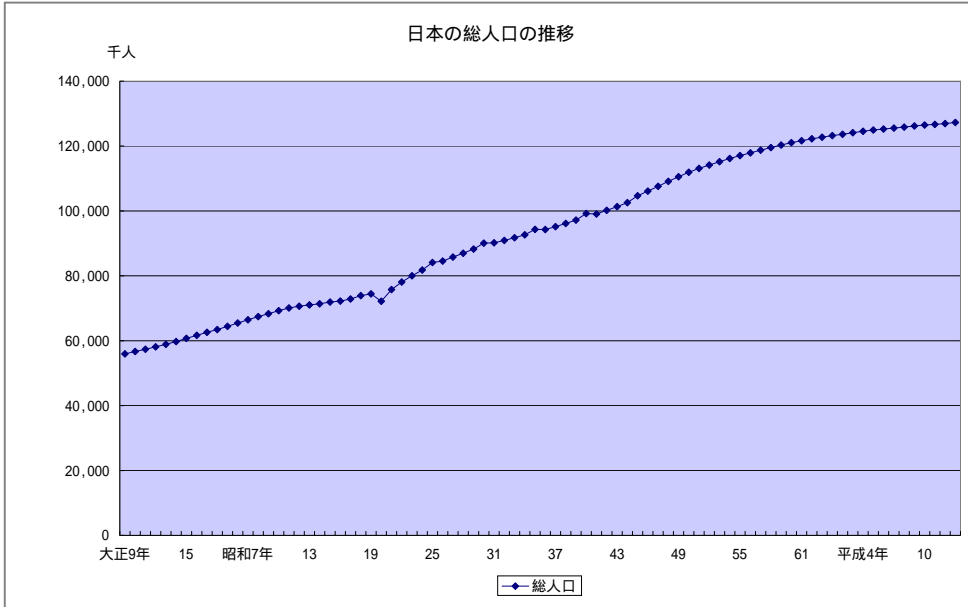
区分 年次	住民基本台帳人口+外国人登録者数				推計人口					(住基+外登) 推計人口			
	世帯数	総数	男	女	世帯数	総数	男	女	世帯数	合計	男	女	
H6.10.1	34,538	87,134	40,865	46,269	33,695	86,630	40,401	46,229	843	504	464	40	
H7.10.1	32,692	81,250	38,026	43,224	29,070	75,032	34,928	40,104	3,622	6,218	3,098	3,120	
H8.10.1	32,742	80,780	37,785	42,995	29,128	74,562	34,687	39,875	3,614	6,218	3,098	3,120	
H9.10.1	33,241	81,140	37,846	43,294	29,627	74,922	34,748	40,174	3,614	6,218	3,098	3,120	
H10.10.1	34,422	82,430	38,393	44,037	30,808	76,212	35,295	40,917	3,614	6,218	3,098	3,120	
H11.10.1	35,401	83,993	38,970	45,023	31,787	77,775	35,872	41,903	3,614	6,218	3,098	3,120	
H12.10.1	36,529	85,642	39,719	45,923	34,209	83,834	38,705	45,129	2,320	1,808	1,014	794	
H13.10.1	37,412	87,186	40,439	46,747	35,092	85,378	39,425	45,953	2,320	1,808	1,014	794	
H14.10.1	38,637	89,598	41,466	48,132	36,317	87,790	40,452	47,338	2,320	1,808	1,014	794	
H15.10.1	39,660	91,075	42,133	48,942	37,340	89,267	41,119	48,148	2,320	1,808	1,014	794	

資料：芦屋市『芦屋市統計書』、芦屋市生活環境部市民課
住民基本台帳人口及び外国人登録者数はいずれも各年10月1日の状況

1 人口の推移

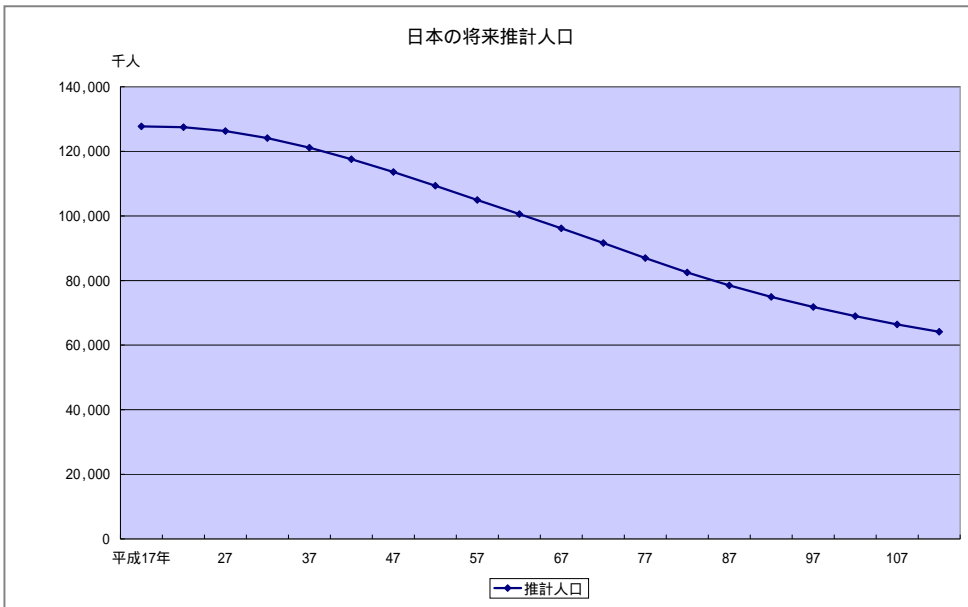
(参考) 日本の総人口の推移と将来推計人口

グラフ 3：日本の総人口の推移



資料：総務省統計局「日本統計年鑑」

グラフ 4：日本の将来推計人口（平成 14 年 1 月推計）



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成14年1月推計）」

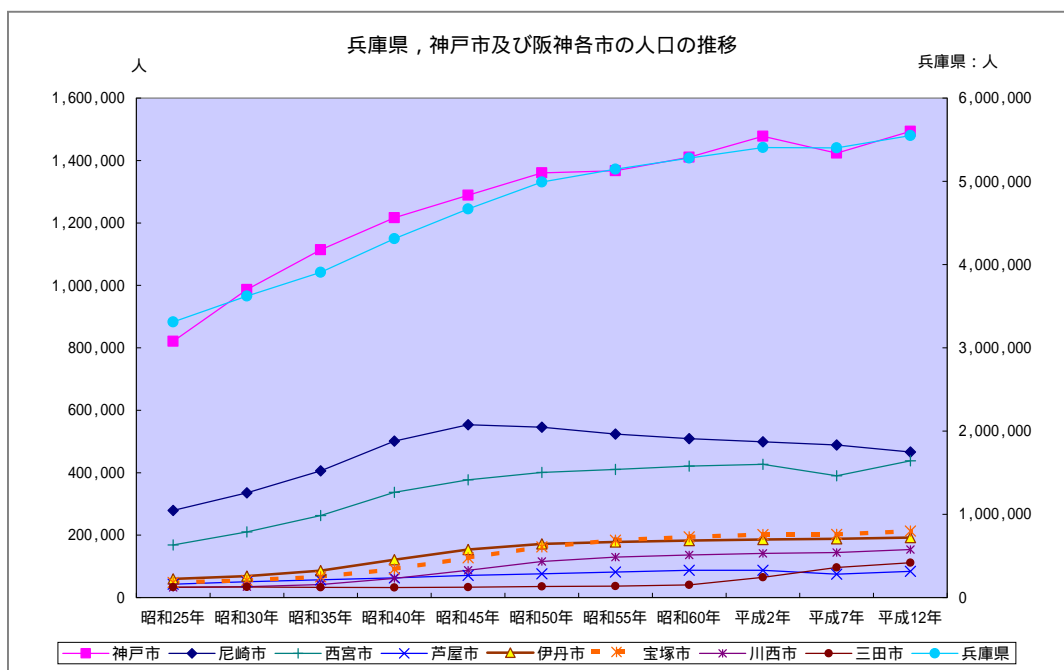
(参考) 兵庫県, 神戸市及び阪神間各市の人口の推移

表 3 : 兵庫県, 神戸市及び阪神各市の人口の推移

区 分	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
兵庫県	3,309,935	3,620,947	3,906,487	4,309,944	4,667,928	4,992,140	5,144,892	5,278,050	5,405,040	5,401,877	5,550,574
神戸市	820,986	986,344	1,113,977	1,216,666	1,288,937	1,360,605	1,367,390	1,410,834	1,477,410	1,423,792	1,493,398
尼崎市	279,264	335,513	405,955	500,990	553,696	545,783	523,650	509,115	498,999	488,586	466,187
西宮市	168,319	210,179	262,608	336,873	377,043	400,622	410,329	421,267	426,909	390,389	438,105
芦屋市	42,951	50,960	57,050	63,195	70,938	76,211	81,745	87,127	87,524	75,032	83,834
伊丹市	59,838	68,982	86,455	121,380	153,763	171,978	178,228	182,731	186,134	188,431	192,159
宝塚市	48,405	55,084	66,491	91,486	127,179	162,624	183,628	194,273	201,862	202,544	213,037
川西市	32,555	35,158	41,916	61,282	87,127	115,773	129,834	136,376	141,253	144,539	153,762
三田市	33,211	33,667	32,528	32,265	33,090	35,261	36,529	40,716	64,560	96,279	111,737

資料：総務省統計局「国勢調査結果」

グラフ 5 : 兵庫県, 神戸市及び阪神各市の人口の推移



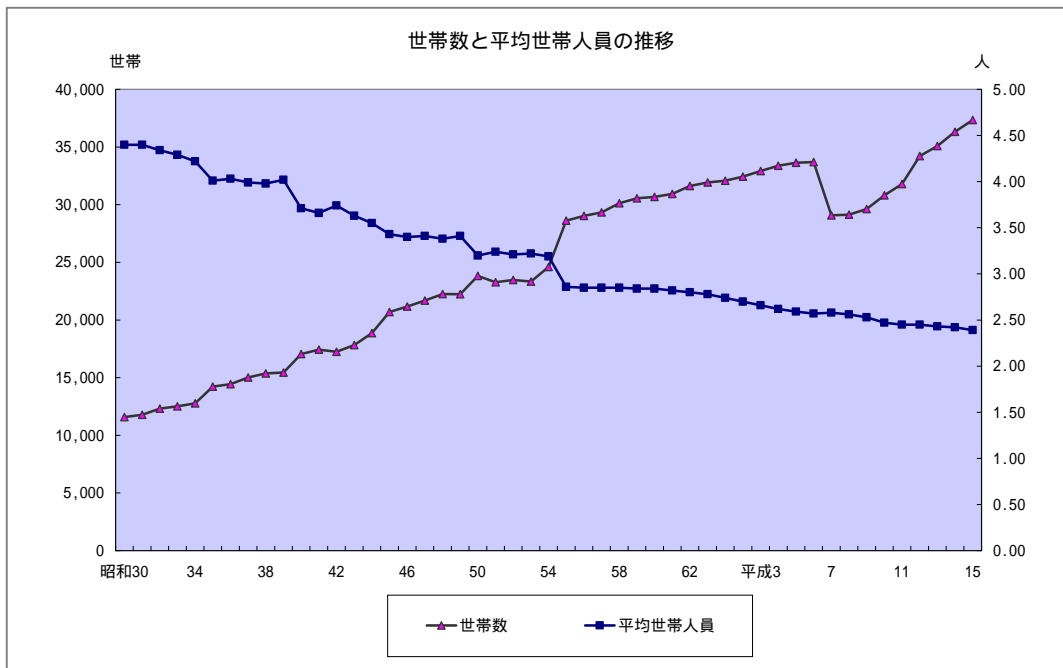
1 人口の推移

(2) 世帯数と平均世帯人員の推移

世帯数は終戦時に 7,086 世帯であったのが、人口の増加とともに世帯数も増加し、人口がピークに達した昭和 63 年（1988 年）には 31,929 世帯まで増加した。その後、人口は徐々に減少していくが、世帯数はさらに増え続け、平成 7 年（1995 年）に阪神・淡路大震災で 29,070 世帯に減少したものの、震災前の平成 6 年（1994 年）の 33,695 世帯を平成 12 年（平成 2000 年）には上回り、平成 15 年（2003 年）では 37,340 世帯にまでに回復した。

一方、平均世帯人員は昭和 30 年（1955 年）に 4.40 人であったのが徐々に減少し、昭和 55 年（1980 年）に 3 人を割り込み 2.86 人、平成 10 年（1998 年）に 2.50 人を割り込み 2.47 人、平成 15 年（2003 年）には 2.39 人と、昭和 50 年代後半から落ち込みは緩やかになっているものの、さらに減少を続けている。

グラフ 6：世帯数と平均世帯人員の推移



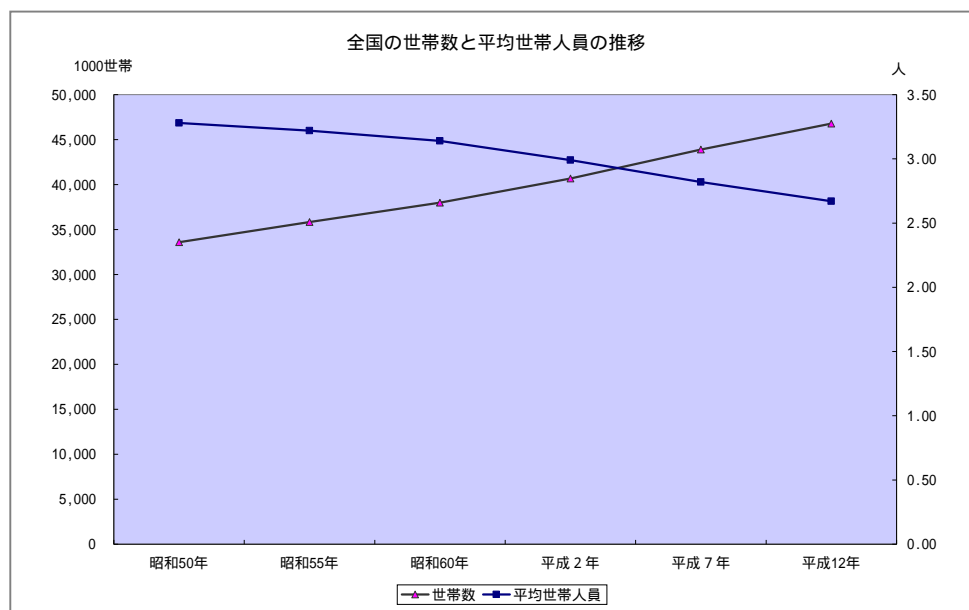
(参考) 全国の平均世帯人員の推移

表 4 : 全国の世帯数と平均世帯人員の推移

世帯人員	一般世帯数(1,000世帯)					
	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
総数	33,596	35,824	37,980	40,670	43,900	46,782
1人	6,561	7,105	7,895	9,390	11,239	12,911
2人	5,257	6,001	6,985	8,370	10,080	11,743
3人	6,259	6,475	6,813	7,351	8,131	8,810
4人	8,301	9,070	8,988	8,788	8,277	7,924
5人	3,904	3,982	4,201	3,805	3,512	3,167
6人	2,037	2,033	1,985	1,903	1,713	1,449
7人以上	1,277	1,157	1,113	1,064	948	776
1世帯当たり 平均世帯人員	3.28	3.22	3.14	2.99	2.82	2.67

資料：総務省統計局「国勢調査結果」

グラフ 7 : 全国の世帯数と平均世帯人員の推移



1 人口の推移

(3) 自然動態の推移

本市の出生数は、昭和47年度(1972年度)の1,397人から徐々に減少し、昭和61年度(1986年度)には1,000人を割り込み、平成7年度(1995年度)には575人にまで落ち込んだが、その後回復してきている。

一方、死亡数は昭和46年度(1971年度)の375人から徐々に増加し、平成6年度(1994年度)には震災の影響で974人もの死亡数を記録したが、その後は横這いが続いている。

人口1,000人あたりの出生率や死亡率も、出生数、死亡数と同様の傾向で推移している。

表5：自然動態の推移

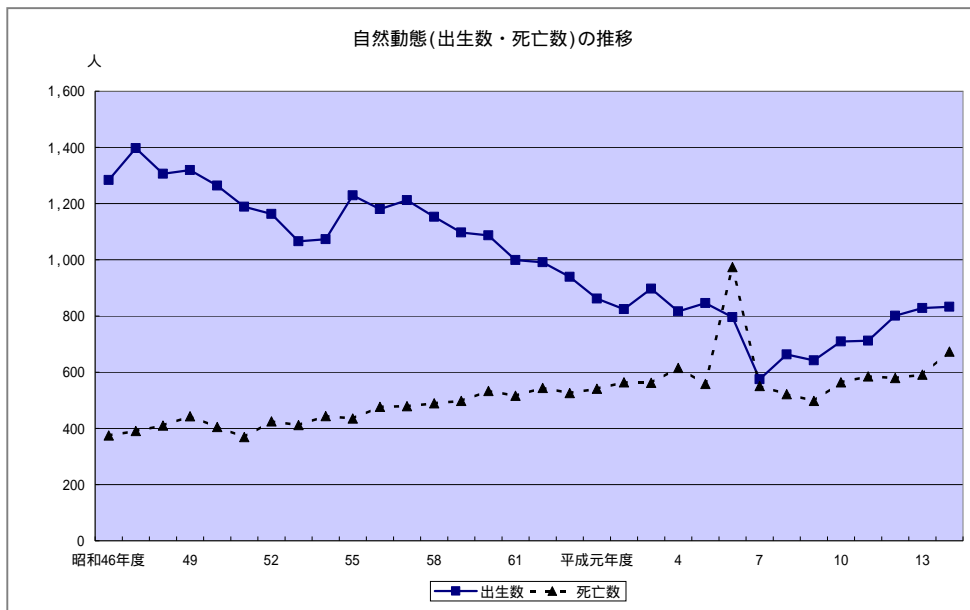
区分 年次	自然動態			人口1,000人当たりの比率	
	出生数	死亡数	自然増減	出生率	死亡率
昭和46年度	人 1,284	人 375	人 909	‰ 17.8	‰ 5.2
47	1,397	391	1,006	18.9	5.3
48	1,306	410	896	17.4	5.9
49	1,319	443	876	17.4	5.8
50	1,264	405	859	16.6	5.3
51	1,189	369	820	15.8	4.9
52	1,163	425	738	15.4	5.5
53	1,066	412	654	14.2	5.5
54	1,073	444	629	13.7	5.6
55	1,229	435	794	15.0	5.3
56	1,180	477	703	14.3	5.8
57	1,212	479	733	14.5	5.7
58	1,153	489	664	13.5	5.7
59	1,097	498	599	12.6	5.7
60	1,087	533	554	12.5	6.1
61	999	516	483	11.5	5.9
62	991	544	447	11.2	6.1
63	939	526	413	10.6	5.9
平成元年度	862	541	321	9.8	6.2
2	824	564	260	9.4	6.4
3	897	562	335	10.2	6.4
4	816	615	201	9.3	7.0
5	846	558	288	9.7	6.4
6	796	974	178	9.2	11.2
7	575	551	24	7.7	7.3
8	663	522	141	8.9	7.0
9	642	498	144	8.9	6.6
10	709	564	145	9.3	7.4
11	712	585	127	9.2	7.5
12	801	579	222	9.5	6.9
13	828	591	237	9.7	6.9
14	833	673	160	9.5	7.7

資料：芦屋市『芦屋市統計書』

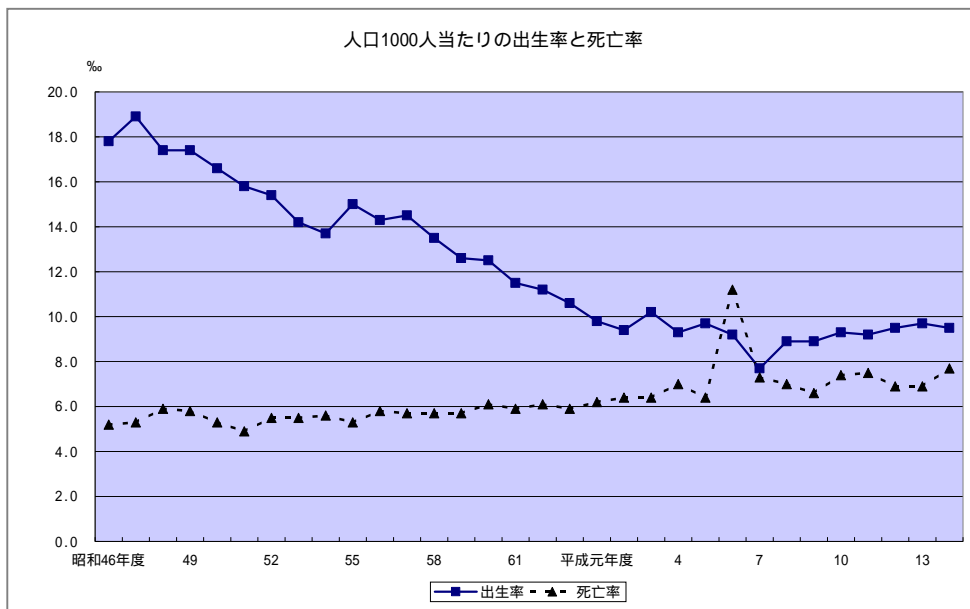
住民基本台帳法、外国人登録法及び戸籍法による諸届(職権によるものを含む。)のうち人口移動を中心として表したもの。

比率は、各年10月1日現在の人口をもとに算出。1000人当たりの割合。

グラフ 8：自然動態(出生数・死亡数)の推移



グラフ 9：人口 1000 人当たりの出生率・死亡率の推移



1 人口の推移

(4) 社会動態の推移

昭和54年(1979年)に埋立地芦屋浜シーサイドタウンの入居開始に伴い、転入数が12,774人となって転出数を大きく上回り、人口増加率(3ページ表1参照)も4.7%になった。その後、平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災により、平成6年度(1994年度)の転出数が10,394人、人口1000人当たりの転出率が120.0%になったが、平成8年度(1996年度)から数、率とも転入が上回っている。これは、復興が進むにつれ、市外へ避難していた人が戻ってきたと推測される。しかし、全体の傾向としては、転入数とも転出数とも減少傾向にある。

表6：社会動態の推移

区分 年次	社会動態				人口1,000人当たりの比率	
	転入数	転出数	その他の増減	社会増減	転入率	転出率
	人	人	人	人	%	%
昭和46年度	9,990	9,480		510	138.7	131.6
47	9,955	9,706		249	134.8	131.4
48	8,754	9,413		659	116.4	125.2
49	9,027	9,449		422	118.9	124.5
50	7,730	8,301		571	101.4	108.9
51	7,670	8,749	3	1,076	101.9	116.1
52	7,794	9,053	0	1,259	103.3	120.0
53	8,595	8,718	6	129	114.5	116.1
54	12,774	8,869	123	3,782	162.5	112.8
55	10,195	8,791	11	1,393	124.7	107.5
56	8,938	9,072	22	112	108.2	109.8
57	10,249	8,706	19	1,562	122.6	104.2
58	8,968	8,568	32	432	104.6	100.0
59	8,830	8,219	44	655	101.8	94.8
60	8,474	8,730	57	199	97.3	100.2
61	8,404	8,107	26	323	96.3	92.9
62	8,608	8,479	65	194	97.2	95.8
63	7,250	8,418	61	1,107	81.8	95.0
平成元年度	7,514	8,180	78	588	85.5	93.1
2	7,380	7,388	72	64	84.3	84.4
3	6,944	7,515	46	525	79.3	85.8
4	6,714	7,138	28	396	76.7	81.5
5	6,762	7,568	8	798	77.6	86.9
6	6,085	10,394	71	4,238	70.2	120.0
7	6,639	8,872	94	2,139	88.5	118.2
8	7,542	7,405	49	186	101.2	99.3
9	7,251	6,865	57	443	96.8	91.6
10	8,068	6,491	54	1,631	105.9	85.2
11	7,808	6,204	45	1,649	100.4	79.8
12	7,142	5,958	10	1,194	85.0	70.9
13	7,114	5,431	36	1,719	82.9	63.3
14	7,384	5,657	53	1,780	84.1	64.4

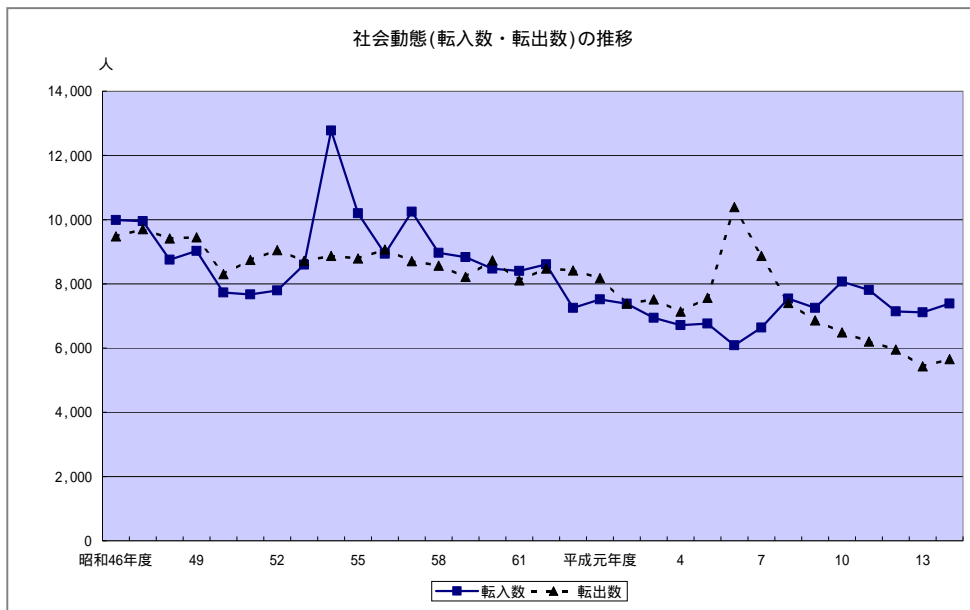
資料：芦屋市『芦屋市統計書』

住民基本台帳法、外国人登録法及び戸籍法による諸届(職権によるものを含む。)のうち人口移動を中心として表したもの。

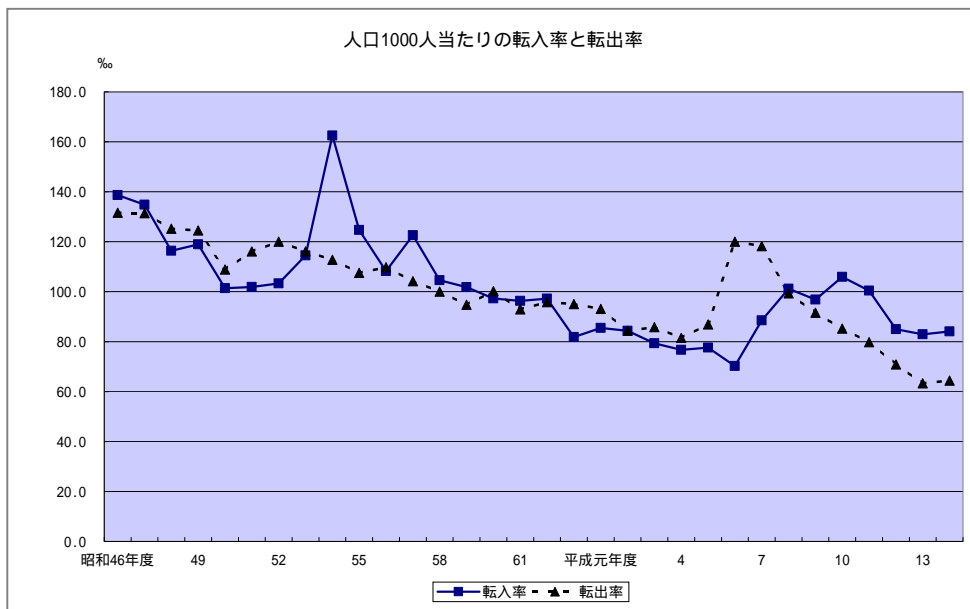
比率は、各年10月1日現在の人口をもとに算出。1000人当たりの割合。

その他の増減とは、職権記載、住所設定、職権回復、帰化、転出取消、職権消除、国籍喪失等によるもの。

グラフ 10：社会動態(転入数・転出数)の推移



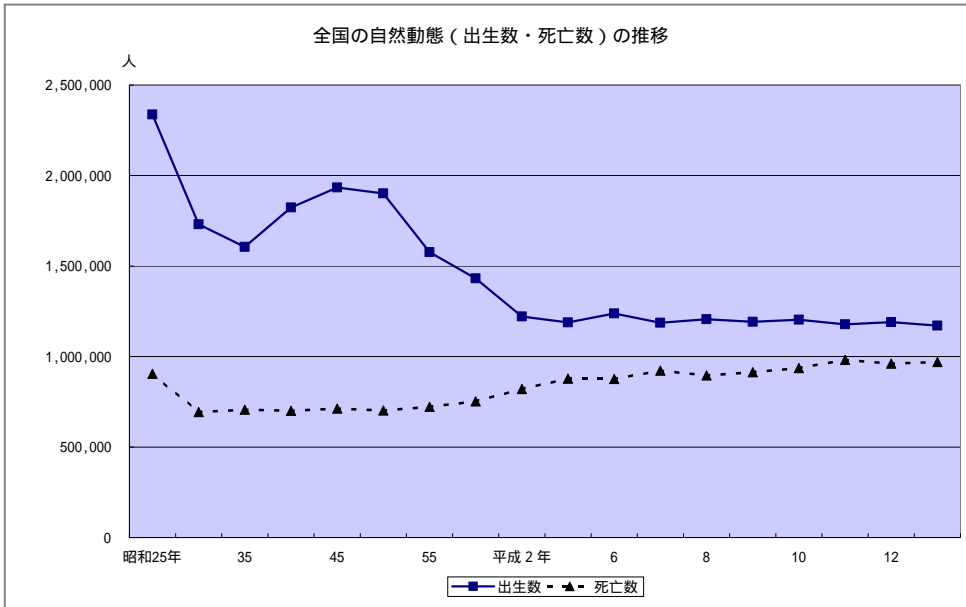
グラフ 11：人口1000人当たりの転入率と転出率の推移



1 人口の推移

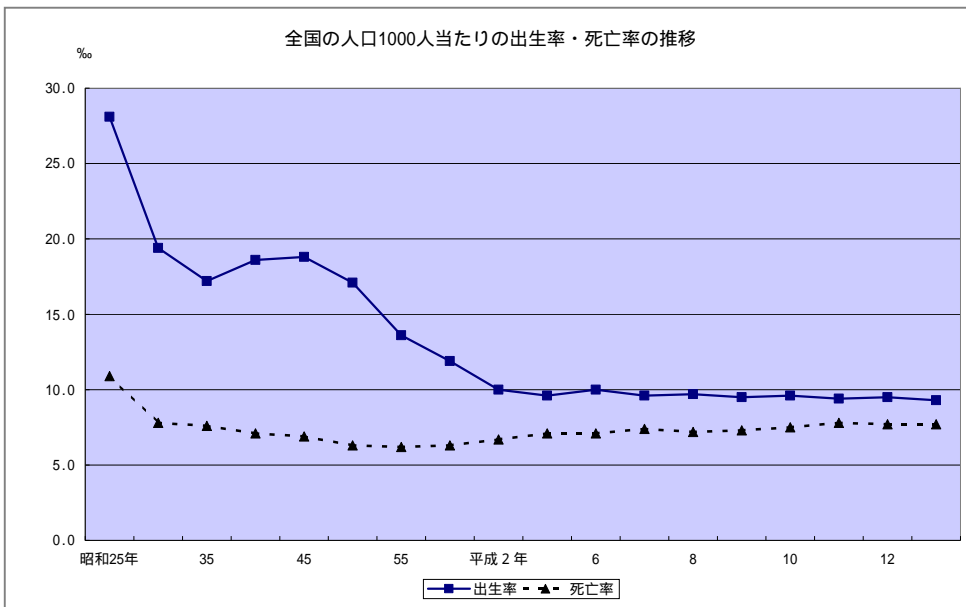
(参考) 全国の自然動態の推移

グラフ 12：全国の自然動態(出生数・死亡数)の推移



資料：厚生労働省統計情報部「平成13年人口動態統計」

グラフ 13：全国の人口1000人当たりの出生率・死亡率の推移



資料：厚生労働省統計情報部「平成13年人口動態統計」

表 7：町別人口の推移（住民基本台帳と外国人登録による）

（各年10月1日現在）単位：人

町名	平成6～15年 増減	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10 年	平成11 年	平成12 年	平成13 年	平成14 年	平成15 年
奥山	2	474	498	513	531	508	529	523	511	484	476
奥池町	80	469	469	474	476	465	477	519	521	558	549
奥池南町	14	780	774	784	787	783	766	759	749	760	766
六麓荘町	47	641	644	659	674	681	663	635	629	607	594
剣谷	0	0	10	8	10	0	0	0	0	0	0
朝日ヶ丘町	1,493	5,905	5,998	5,918	5,865	6,186	6,368	6,544	7,131	7,269	7,398
山手町	192	1,486	1,441	1,401	1,417	1,413	1,444	1,495	1,491	1,495	1,678
山芦屋町	13	1,256	1,168	1,169	1,214	1,197	1,217	1,241	1,279	1,275	1,269
岩園町	226	3,259	3,155	3,139	3,121	3,049	2,937	2,879	2,913	2,901	3,033
東山町	103	2,528	2,467	2,407	2,357	2,317	2,375	2,428	2,437	2,463	2,425
東芦屋町	110	2,145	1,938	1,922	1,864	1,960	1,982	2,029	2,047	2,034	2,035
西山町	162	1,120	1,029	1,018	1,112	1,159	1,173	1,222	1,248	1,258	1,282
三条町	412	1,565	1,436	1,435	1,416	1,517	1,632	1,702	1,771	1,885	1,977
翠ヶ丘町	58	4,520	4,165	4,200	4,306	4,418	4,562	4,513	4,585	4,549	4,462
親王塚町	15	1,421	1,224	1,245	1,290	1,343	1,320	1,314	1,337	1,461	1,406
大原町	4	2,326	1,958	1,987	2,006	2,120	2,162	2,283	2,288	2,355	2,322
船戸町	137	921	841	855	833	784	810	785	800	792	784
松ノ内町	79	1,037	1,017	1,006	1,004	1,010	1,092	1,162	1,133	1,135	1,116
月若町	5	593	608	586	617	598	601	633	614	594	588
西芦屋町	104	491	470	469	464	466	484	461	435	553	595
三条南町	77	989	847	827	858	851	859	899	949	927	912
楠町	152	2,571	2,218	2,143	2,242	2,362	2,501	2,446	2,470	2,416	2,419
上宮川町	41	424	432	418	414	459	474	471	469	464	465
業平町	223	789	593	593	642	935	936	940	926	984	1,012
前田町	310	731	638	550	511	448	428	359	370	395	421
清水町	342	906	667	629	612	511	493	415	478	546	564
春日町	270	1,941	1,700	1,647	1,566	1,487	1,644	1,781	1,767	1,696	1,671
打出小槌町	92	1,345	1,201	1,183	1,209	1,383	1,424	1,469	1,494	1,481	1,437
宮塚町	47	1,139	1,068	1,047	1,072	1,129	1,161	1,131	1,220	1,206	1,186
茶屋之町	108	940	824	783	792	749	758	764	838	859	832
大榭町	195	783	676	592	543	382	368	397	468	524	588
公光町	79	600	523	494	429	294	290	363	396	411	521
川西町	306	953	805	904	1,013	970	1,003	1,074	1,068	1,217	1,259
津知町	229	1,232	1,020	1,055	1,050	934	905	896	930	974	1,003
打出町	173	621	497	473	456	427	435	454	462	462	448
南宮町	1,075	2,848	2,620	2,998	3,022	3,230	3,233	3,262	3,357	3,788	3,923
若宮町	222	915	823	786	736	605	607	628	641	678	693
宮川町	3	629	578	591	640	663	635	647	644	634	626
竹園町	17	762	634	626	666	682	726	743	742	744	745
精道町	83	920	876	877	869	931	999	991	981	1,006	1,003
浜芦屋町	184	852	778	924	926	914	922	1,043	1,070	1,075	1,036
平田北町	79	574	384	344	335	367	499	601	624	633	653
大東町	168	4,026	3,489	3,165	3,419	3,416	3,402	3,780	3,776	3,838	3,858
浜町	369	2,105	1,903	1,915	1,950	1,991	2,016	2,139	2,213	2,191	2,474
西蔵町	43	2,341	2,166	2,118	2,200	2,342	2,433	2,380	2,439	2,365	2,298
呉川町	698	2,151	1,992	2,212	2,250	2,198	2,288	2,248	2,122	2,624	2,849
伊勢町	373	1,412	1,326	1,328	1,582	1,631	1,724	1,801	1,812	1,804	1,785
松浜町	448	1,505	1,522	1,558	1,494	1,472	1,496	1,460	1,483	1,931	1,953
平浜町	13	928	899	905	894	956	985	972	921	904	941
新浜町	657	947	938	1,055	1,043	1,250	1,295	1,285	1,320	1,593	1,604
浜風町	230	1,663	1,691	1,652	1,640	1,546	1,527	1,525	1,490	1,465	1,433
高浜町	958	5,486	5,536	5,391	5,052	4,477	4,243	4,425	4,536	4,524	4,528
若葉町	853	4,522	4,355	4,239	4,033	3,630	3,456	3,478	3,584	3,644	3,669
緑町	269	2,233	2,245	2,146	2,140	2,068	2,049	2,029	2,020	1,971	1,964
潮見町	120	1,414	1,476	1,417	1,476	1,361	1,351	1,332	1,305	1,304	1,294
陽光町	2,013	0	0	0	0	1,405	1,834	1,887	1,882	1,892	2,013
海洋町	240	0	0	0	0	0	0	0	0	0	240
総計	3,941	87,134	81,250	80,780	81,140	82,430	83,993	85,642	87,186	89,598	91,075

資料：芦屋市生活環境部市民課

1 人口の推移

(6) 町別人口増減率の推移 (住民基本台帳と外国人登録による)

震災直前の平成6年(1994年)から平成15年(2003年)までの9年間の町別人口増減率を表した。

グラフ15を見ると、この9年間に、朝日ヶ丘町、三条町、西芦屋町、業平町、川西町、南宮町、浜芦屋町、呉川町、伊勢町、松浜町、新浜町の11町は20%以上の人口が増加した。一方、前田町、清水町、大榎町、打出町、若宮町の5町は20%以上の人口が減少している。

町別人口増減率を23ページの図2で地図上に表している。

グラフ15：町別人口増減率 - 平成6年から平成15年の増減 -

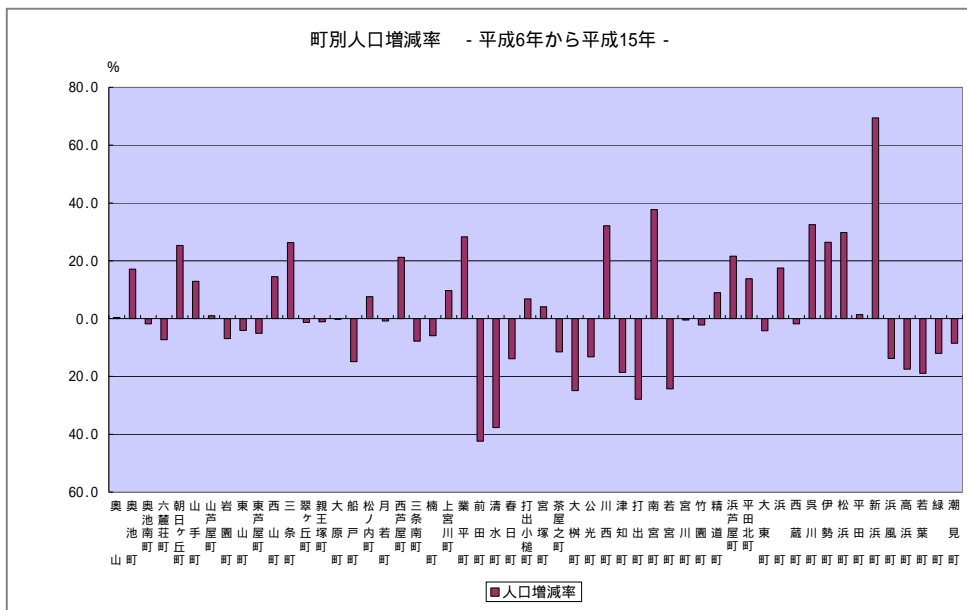


表 8：町別人口増減率の推移（住民基本台帳と外国人登録による）

（各年10月1日現在）単位：％

町名	平成6～15年 増減率	H6～7	H7～8	H8～9	H9～10	H10～11	H11～12	H12～13	H13～14	H14～15
奥山	0.4	5.1	3.0	3.5	4.3	4.1	1.1	2.3	5.3	1.7
奥池町	17.1	0.0	1.1	0.4	2.3	2.6	8.8	0.4	7.1	1.6
奥池南町	1.8	0.8	1.3	0.4	0.5	2.2	0.9	1.3	1.5	0.8
六麓荘町	7.3	0.5	2.3	2.3	1.0	2.6	4.2	0.9	3.5	2.1
朝日ヶ丘町	25.3	1.6	1.3	0.9	5.5	2.9	2.8	9.0	1.9	1.8
山手町	12.9	3.0	2.8	1.1	0.3	2.2	3.5	0.3	0.3	12.2
山芦屋町	1.0	7.0	0.1	3.8	1.4	1.7	2.0	3.1	0.3	0.5
岩園町	6.9	3.2	0.5	0.6	2.3	3.7	2.0	1.2	0.4	4.6
東山町	4.1	2.4	2.4	2.1	1.7	2.5	2.2	0.4	1.1	1.5
東芦屋町	5.1	9.7	0.8	3.0	5.2	1.1	2.4	0.9	0.6	0.0
西山町	14.5	8.1	1.1	9.2	4.2	1.2	4.2	2.1	0.8	1.9
三条町	26.3	8.2	0.1	1.3	7.1	7.6	4.3	4.1	6.4	4.9
翠ヶ丘町	1.3	7.9	0.8	2.5	2.6	3.3	1.1	1.6	0.8	1.9
親王塚町	1.1	13.9	1.7	3.6	4.1	1.7	0.5	1.8	9.3	3.8
大原町	0.2	15.8	1.5	1.0	5.7	2.0	5.6	0.2	2.9	1.4
船戸町	14.9	8.7	1.7	2.6	5.9	3.3	3.1	1.9	1.0	1.0
松ノ内町	7.6	1.9	1.1	0.2	0.6	8.1	6.4	2.5	0.2	1.7
月若町	0.8	2.5	3.6	5.3	3.1	0.5	5.3	3.0	3.3	1.0
西芦屋町	21.2	4.3	0.2	1.1	0.4	3.9	4.8	5.6	27.1	7.6
三条南町	7.8	14.4	2.4	3.7	0.8	0.9	4.7	5.6	2.3	1.6
楠町	5.9	13.7	3.4	4.6	5.4	5.9	2.2	1.0	2.2	0.1
上宮川町	9.7	1.9	3.2	1.0	10.9	3.3	0.6	0.4	1.1	0.2
業平町	28.3	24.8	0.0	8.3	45.6	0.1	0.4	1.5	6.3	2.8
前田町	42.4	12.7	13.8	7.1	12.3	4.5	16.1	3.1	6.8	6.6
清水町	37.7	26.4	5.7	2.7	16.5	3.5	15.8	15.2	14.2	3.3
春日町	13.9	12.4	3.1	4.9	5.0	10.6	8.3	0.8	4.0	1.5
打出小槌町	6.8	10.7	1.5	2.2	14.4	3.0	3.2	1.7	0.9	3.0
宮塚町	4.1	6.2	2.0	2.4	5.3	2.8	2.6	7.9	1.1	1.7
茶屋之町	11.5	12.3	5.0	1.1	5.4	1.2	0.8	9.7	2.5	3.1
大榭町	24.9	13.7	12.4	8.3	29.7	3.7	7.9	17.9	12.0	12.2
公光町	13.2	12.8	5.5	13.2	31.5	1.4	25.2	9.1	3.8	26.8
川西町	32.1	15.5	12.3	12.1	4.2	3.4	7.1	0.6	14.0	3.5
津知町	18.6	17.2	3.4	0.5	11.0	3.1	1.0	3.8	4.7	3.0
打出町	27.9	20.0	4.8	3.6	6.4	1.9	4.4	1.8	0.0	3.0
南宮町	37.7	8.0	14.4	0.8	6.9	0.1	0.9	2.9	12.8	3.6
若宮町	24.3	10.1	4.5	6.4	17.8	0.3	3.5	2.1	5.8	2.2
宮川町	0.5	8.1	2.2	8.3	3.6	4.2	1.9	0.5	1.6	1.3
竹園町	2.2	16.8	1.3	6.4	2.4	6.5	2.3	0.1	0.3	0.1
精道町	9.0	4.8	0.1	0.9	7.1	7.3	0.8	1.0	2.5	0.3
浜芦屋町	21.6	8.7	18.8	0.2	1.3	0.9	13.1	2.6	0.5	3.6
平田北町	13.8	33.1	10.4	2.6	9.6	36.0	20.4	3.8	1.4	3.2
大東町	4.2	13.3	9.3	8.0	0.1	0.4	11.1	0.1	1.6	0.5
浜町	17.5	9.6	0.6	1.8	2.1	1.3	6.1	3.5	1.0	12.9
西蔵町	1.8	7.5	2.2	3.9	6.5	3.9	2.2	2.5	3.0	2.8
呉川町	32.5	7.4	11.0	1.7	2.3	4.1	1.7	5.6	23.7	8.6
伊勢町	26.4	6.1	0.2	19.1	3.1	5.7	4.5	0.6	0.4	1.1
松浜町	29.8	1.1	2.4	4.1	1.5	1.6	2.4	1.6	30.2	1.1
平田町	1.4	3.1	0.7	1.2	6.9	3.0	1.3	5.2	1.8	4.1
新浜町	69.4	1.0	12.5	1.1	19.8	3.6	0.8	2.7	20.7	0.7
浜風町	13.8	1.7	2.3	0.7	5.7	1.2	0.1	2.3	1.7	2.2
高浜町	17.5	0.9	2.6	6.3	11.4	5.2	4.3	2.5	0.3	0.1
若葉町	18.9	3.7	2.7	4.9	10.0	4.8	0.6	3.0	1.7	0.7
緑町	12.0	0.5	4.4	0.3	3.4	0.9	1.0	0.4	2.4	0.4
潮見町	8.5	4.4	4.0	4.2	7.8	0.7	1.4	2.0	0.1	0.8
総計	4.5	6.8	0.6	0.4	1.6	1.9	2.0	1.8	2.8	1.6

資料：芦屋市生活環境部市民課

1 人口の推移

図 1：町別人口の推移(住民基本台帳と外国人登録による) - 平成 6 年と平成 15 年の増減 -

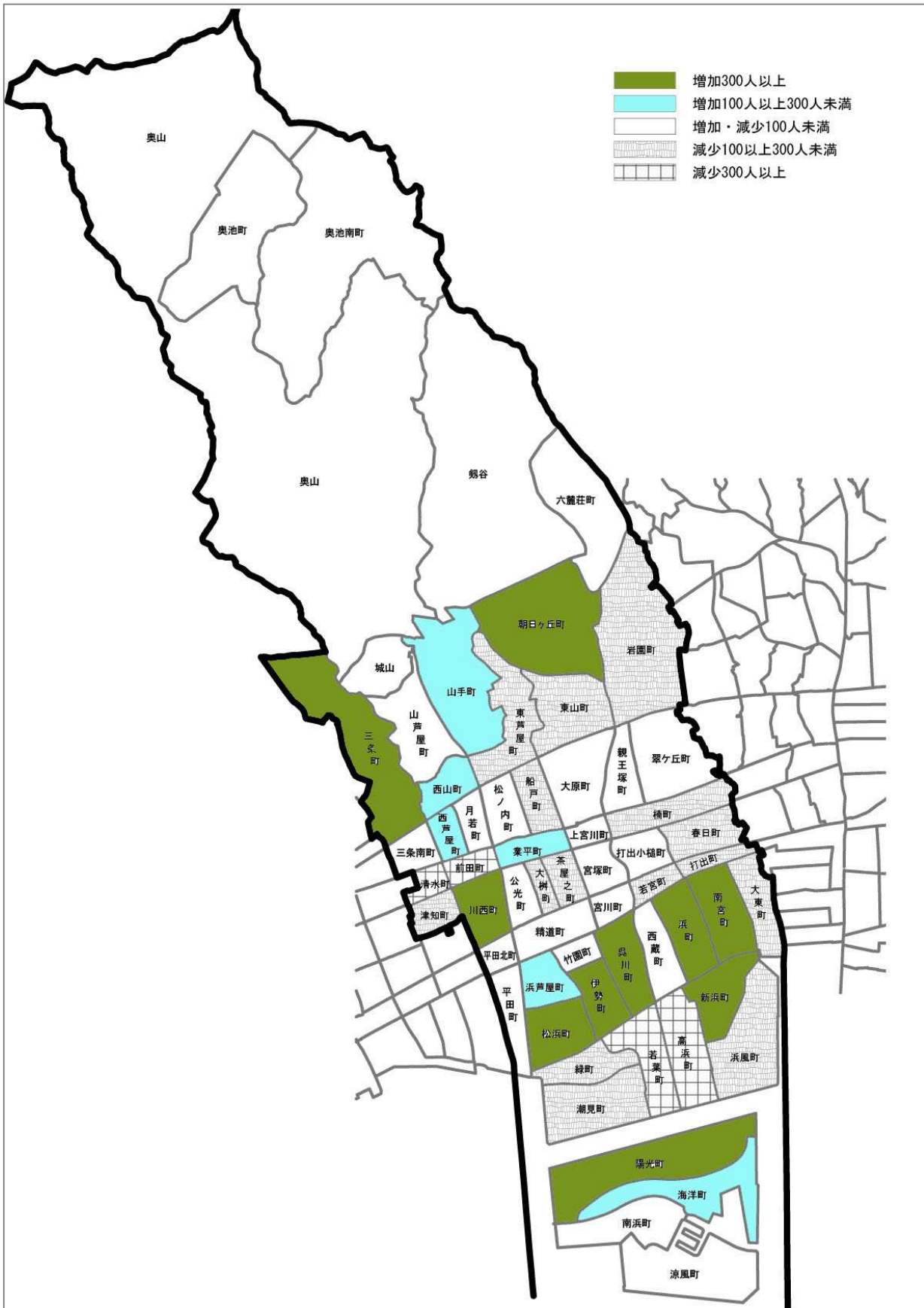
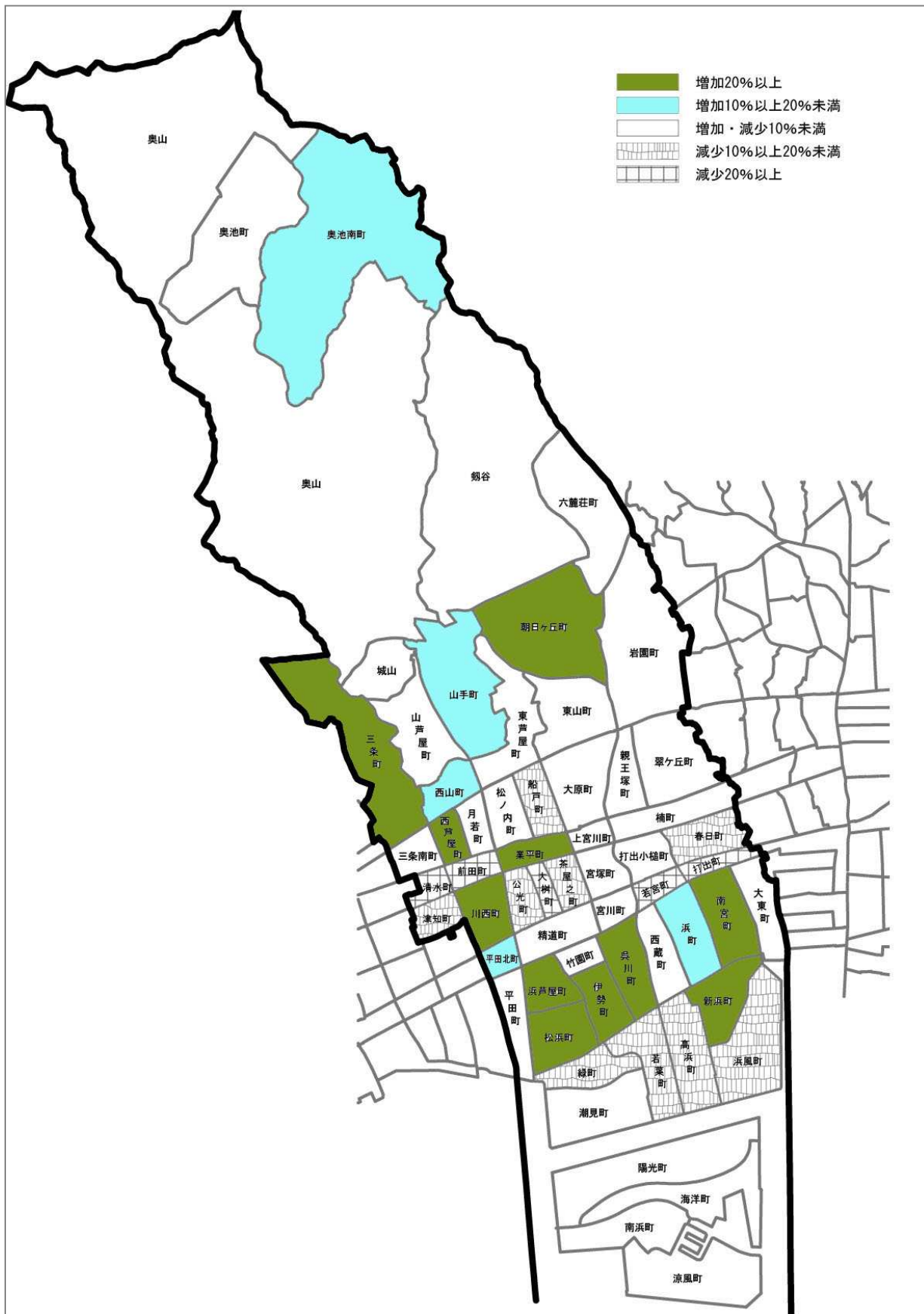


図 2：町別人口増減率(住民基本台帳と外国人登録による) - 平成 6 年から平成 15 年の増減 -



1 人口の推移

(7) 町別年齢3区分別人口の推移（住民基本台帳と外国人登録による）

震災直前の平成6年（1994年）から平成15年（2003年）までの9年間の町別年齢3区分別人口の構成割合の推移を表した。

市全体については下記のグラフ16で見ると、年少人口（14歳以下）では、平成6年（1994年）が14.92%であったのが、平成15年（2003年）では、12.64%に、同じく生産年齢人口（15歳～64歳）は、70.48%が68.00%に減少した。一方、老年人口（65歳以上）は、14.60%から19.36%に増加し、高齢化が進んでいることがわかる。

また、右ページの表9を見ると、町別では、奥池南町、浜風町、緑町、潮見町の4町で老年人口の割合が大幅に増加している。

平成15年（2003年）では、奥山、潮見町、海洋町の3町は老年人口の割合が10%以下になっているが、一方で21%を超える町が21町になっており、中でも、奥池南町と陽光町は30%を超えている。

平成15年（2003年）の町別老年人口の割合について、26ページの図3で地図上に表している。

グラフ16：年齢3区分別人口割合の推移 - 平成6年から平成15年の増減 -

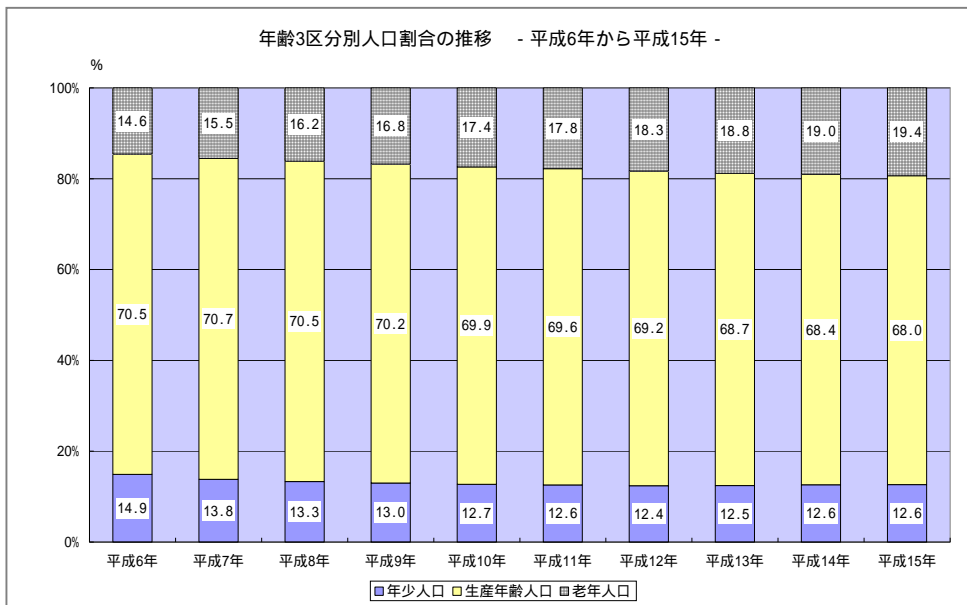


表 9：町別年齢3区分別人口構成割合の推移（住民基本台帳と外国人登録による）

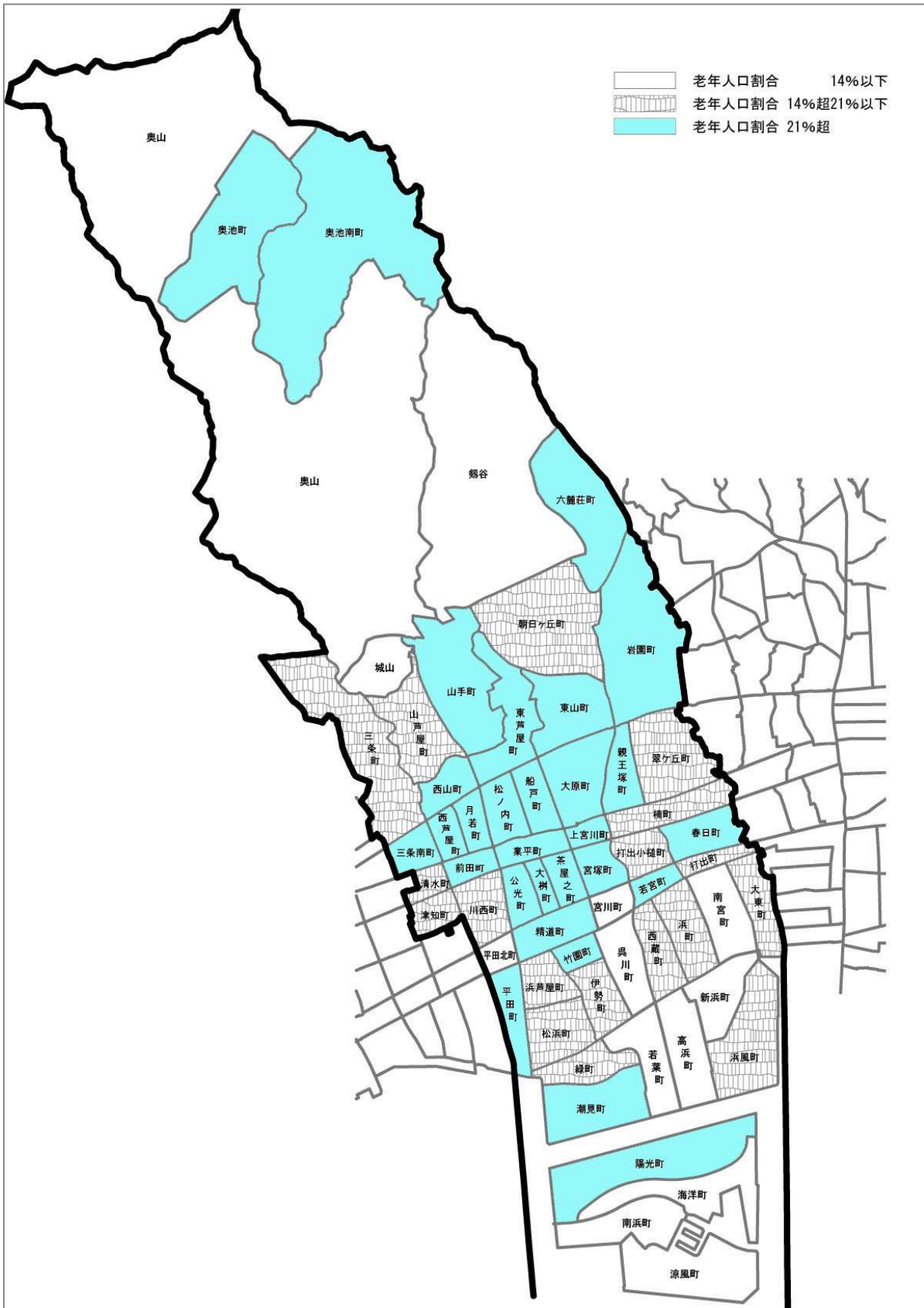
（各年10月1日現在）単位：%

町名	平成6年と平成15年の増減			平成6年			平成15年		
	年少人口 0～14	生産年齢人口 15～64	老年人口 65～	年少人口 0～14	生産年齢人口 15～64	老年人口 65～	年少人口 0～14	生産年齢人口 15～64	老年人口 65～
奥山	4.91	0.14	5.05	16.25	78.90	4.85	11.34	78.76	9.90
奥池町	0.26	6.63	6.37	9.39	71.85	18.76	9.65	65.22	25.13
奥池南町	3.07	10.57	13.64	10.90	72.71	16.39	7.83	62.14	30.03
六麓荘町	0.05	1.07	1.02	9.04	63.19	27.77	9.09	62.12	28.79
朝日ヶ丘町	2.30	1.04	3.34	16.93	69.52	13.55	14.63	68.48	16.89
山手町	0.48	2.76	2.28	10.37	70.04	19.59	10.85	67.28	21.87
山芦屋町	0.44	1.26	1.70	12.82	69.82	17.36	12.38	68.56	19.06
岩園町	0.62	6.27	6.89	13.28	67.63	19.09	12.66	61.36	25.98
東山町	3.17	2.99	6.16	14.72	68.24	17.04	11.55	65.25	23.20
東芦屋町	2.19	4.31	6.50	12.26	72.01	15.73	10.07	67.70	22.23
西山町	1.42	1.89	0.47	11.25	64.64	24.11	9.83	66.53	23.64
三条町	1.22	0.80	2.02	11.11	67.99	20.90	12.33	68.79	18.88
翠ヶ丘町	1.71	3.96	5.67	16.30	69.13	14.57	14.59	65.17	20.24
親王塚町	0.40	0.16	0.24	10.91	66.72	22.37	11.31	66.56	22.13
大原町	1.02	2.41	3.43	10.92	69.12	19.96	9.90	66.71	23.39
船戸町	2.40	5.46	7.86	9.67	70.78	19.55	7.27	65.32	27.41
松ノ内町	1.57	0.18	1.39	11.96	65.68	22.36	10.39	65.86	23.75
月若町	1.26	0.65	0.61	9.11	68.82	22.07	10.37	68.17	21.46
西芦屋町	3.82	1.12	4.94	9.97	62.92	27.11	13.79	64.04	22.17
三条南町	0.76	1.47	0.71	11.52	67.94	20.54	12.28	66.47	21.25
楠町	3.52	3.75	7.27	16.34	70.16	13.50	12.82	66.41	20.77
上宮川町	0.45	5.47	5.92	12.50	69.57	17.93	12.05	64.10	23.85
業平町	3.32	1.27	2.05	11.03	68.69	20.28	7.71	69.96	22.33
前田町	1.33	4.10	5.43	7.52	71.55	20.93	6.19	67.45	26.36
清水町	3.20	3.93	0.73	10.81	72.18	17.01	14.01	68.25	17.74
春日町	2.76	3.72	6.48	12.57	71.72	15.71	9.81	68.00	22.19
打出小槌町	1.22	2.28	3.50	12.63	70.62	16.75	11.41	68.34	20.25
宮塚町	2.70	0.42	2.28	12.65	67.79	19.56	9.95	68.21	21.84
茶屋之町	1.38	3.39	4.77	10.64	71.07	18.29	9.26	67.68	23.06
大榭町	5.30	0.84	6.14	13.29	69.86	16.85	7.99	69.02	22.99
公光町	0.53	0.62	0.09	9.84	68.18	21.98	10.37	67.56	22.07
川西町	1.72	1.51	0.21	11.54	71.80	16.66	13.26	70.29	16.45
津知町	1.37	1.47	0.10	12.99	70.46	16.55	14.36	68.99	16.65
打出町	0.15	1.53	1.38	8.86	73.25	17.89	8.71	74.78	16.51
南宮町	0.43	0.27	0.70	17.21	71.66	11.13	16.78	71.39	11.83
若宮町	1.91	1.56	3.47	11.14	65.91	22.95	9.23	64.35	26.42
宮川町	2.34	1.77	0.57	12.41	69.64	17.95	10.07	71.41	18.52
竹園町	0.13	3.25	3.12	11.82	69.43	18.75	11.95	66.18	21.87
精道町	0.47	3.28	3.75	10.54	70.98	18.48	10.07	67.70	22.23
浜芦屋町	2.15	1.65	0.50	10.68	70.66	18.66	12.83	69.01	18.16
平田北町	1.02	1.99	0.97	16.02	69.68	14.30	15.00	71.67	13.33
大東町	3.62	3.50	7.12	18.88	69.96	11.16	15.26	66.46	18.28
浜町	0.44	5.57	6.01	14.59	70.73	14.68	14.15	65.16	20.69
西蔵町	1.36	6.25	4.89	12.60	75.87	11.53	13.96	69.62	16.42
呉川町	0.60	0.77	1.37	16.18	71.69	12.13	15.58	70.92	13.50
伊勢町	0.42	0.41	0.83	14.87	65.65	19.48	15.29	66.06	18.65
松浜町	2.65	1.66	0.99	18.01	67.32	14.67	15.36	68.98	15.66
平田町	0.36	4.49	4.85	10.99	70.81	18.20	10.63	66.32	23.05
新浜町	8.63	5.36	3.27	25.03	70.22	4.75	16.40	75.58	8.02
浜風町	7.95	2.84	10.79	16.60	75.84	7.56	8.65	73.00	18.35
高浜町	7.96	0.54	8.50	21.04	73.73	5.23	13.08	73.19	13.73
若葉町	7.81	0.31	8.12	22.44	72.50	5.06	14.63	72.19	13.18
緑町	11.30	0.27	11.03	18.63	73.72	7.65	7.33	73.99	18.68
潮見町	5.75	10.60	16.35	13.09	77.21	9.70	7.34	66.61	26.05
陽光町							12.82	53.29	33.89
海洋町							20.41	71.24	8.35
総計	2.28	2.48	4.76	14.92	70.48	14.60	12.64	68.00	19.36

資料：芦屋市生活環境部市民課

1 人口の推移

図 3：町別老年人口割合（平成 15 年 10 月）



(参考) 全国の年齢3区分別人口の推移

国勢調査結果をもとに、全国の年齢3区分別人口の推移を表した。

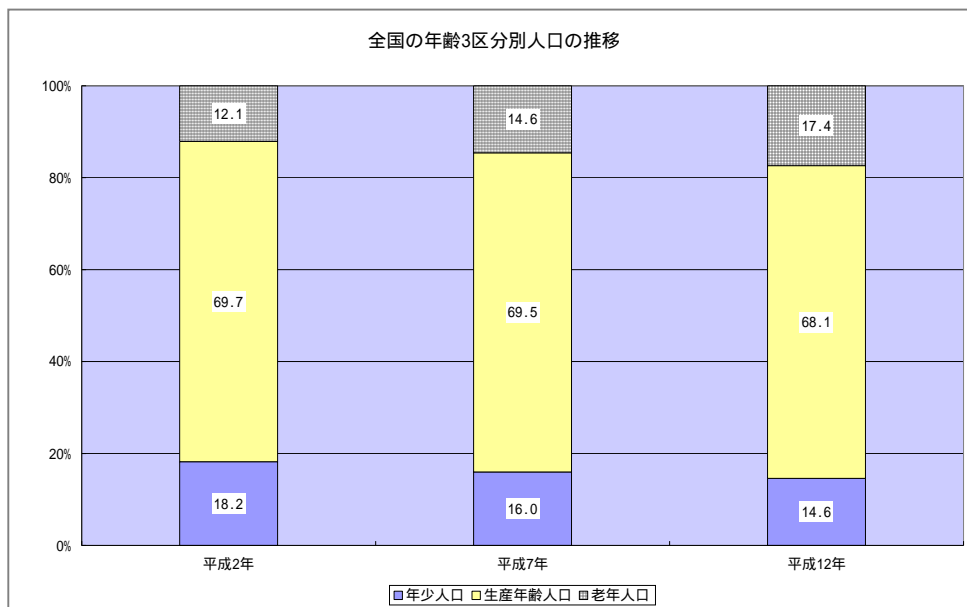
本市と同じく、老年人口の割合が年々増加し、年少人口と生産年齢人口が減少している。本市の老年人口の割合は、全国とほぼ同程度で推移しているが、年少人口の割合は全国に比べて少ないことがわかる。

表 10：全国の年齢3区分別人口の推移

区 分	平成2年			平成7年			平成12年		
	年少人口 0～14	生産年齢人口 15～64	老年人口 65～	年少人口 0～14	生産年齢人口 15～64	老年人口 65～	年少人口 0～14	生産年齢人口 15～64	老年人口 65～
人 数(千人)	22,486	85,904	14,895	20,014	87,165	18,261	18,472	86,220	22,005
構成割合(%)	18.2	69.7	12.1	16.0	69.5	14.6	14.6	68.1	17.4

資料：総務省統計局「国勢調査結果」

グラフ 17：全国の年齢3区分別人口の推移



1 人口の推移

(8) 町別世帯数と平均世帯人員の推移（住民基本台帳と外国人登録による）

震災直前の平成6年（1992年）から平成15年（2003年）までの9年間の町別人口・世帯数・平均世帯人員の増減数を表した。

平均世帯人員は、ほとんどの町で減少している。しかし、人口増加の町は世帯数とともに増加しているため、平均世帯人員の減少は少ない。

一方、人口が減少している町が必ずしも世帯数も減少しているとはいえない。人口が減少しているにもかかわらず世帯数が増加している町が14町あり、平均世帯人員の減少が大きい。特に、浜風町、高浜町、若葉町、潮見町の4町の平均世帯人員の減少は著しい。

人口増減と世帯数の増減については、30ページの図4で地図上に表した。

グラフ 18：町別世帯数と平均世帯人員の推移 - 平成6年から平成15年 -

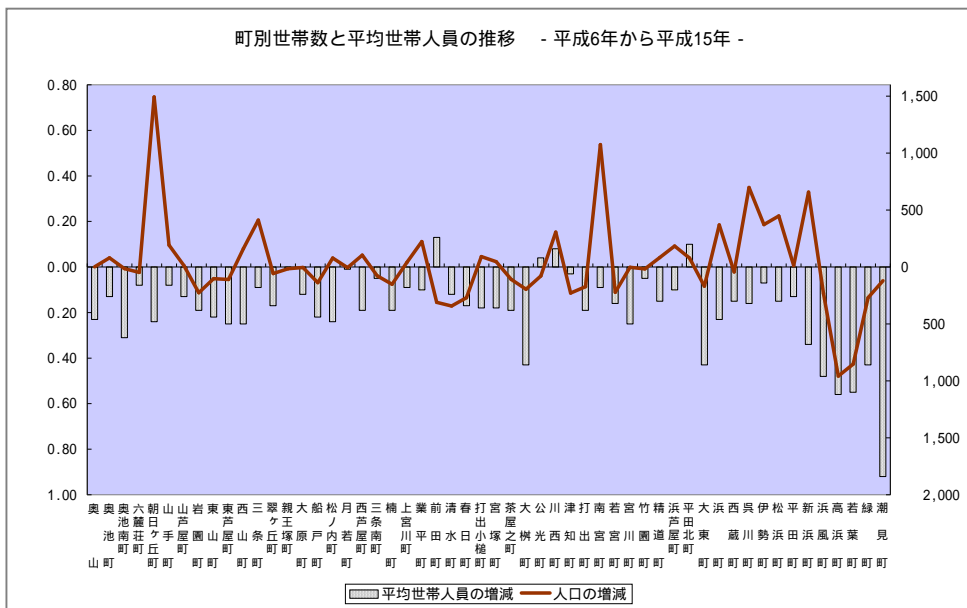


表 11：町別世帯数及び平均世帯人員の推移（住民基本台帳と外国人登録による） - 平成6年から平成15年 -

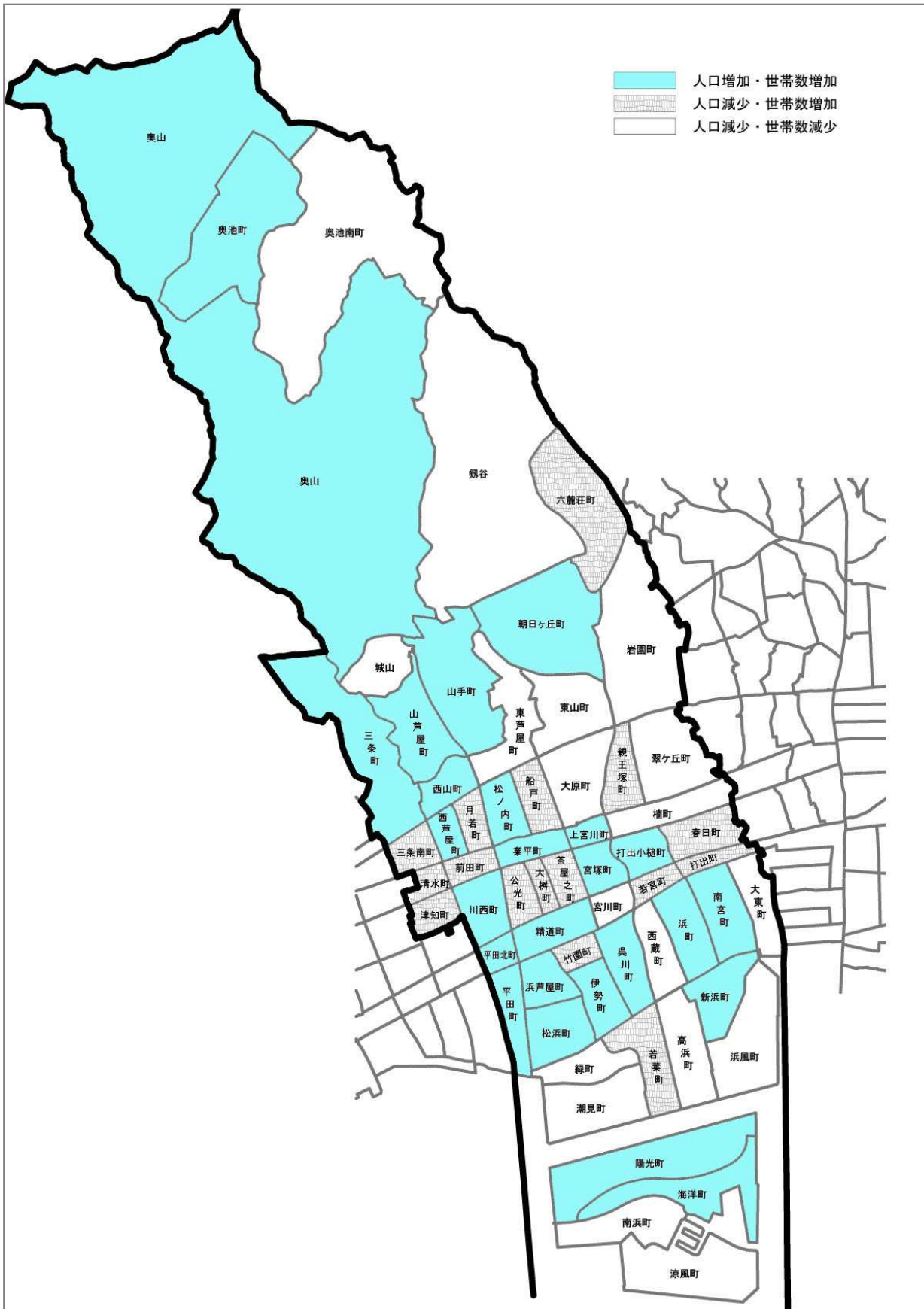
（各年10月1日現在）

町名	人口(人)			世帯数(世帯)			平均世帯人員(人口/世帯数)(人)		
	平成6年	平成15年	増減	平成6年	平成15年	増減	平成6年	平成15年	増減
奥山	474	476	2	170	186	16	2.79	2.56	0.23
奥池町	469	549	80	188	233	45	2.49	2.36	0.13
奥池南町	780	766	14	298	331	33	2.62	2.31	0.31
六麓荘町	641	594	47	274	263	11	2.34	2.26	0.08
剣谷	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
朝日ヶ丘町	5,905	7,398	1,493	2,315	3,206	891	2.55	2.31	0.24
山手町	1,486	1,678	192	586	682	96	2.54	2.46	0.08
山芦屋町	1,256	1,269	13	519	554	35	2.42	2.29	0.13
岩園町	3,259	3,033	226	1,276	1,284	8	2.55	2.36	0.19
東山町	2,528	2,425	103	1,028	1,085	57	2.46	2.24	0.22
東芦屋町	2,145	2,035	110	917	973	56	2.34	2.09	0.25
西山町	1,120	1,282	162	473	605	132	2.37	2.12	0.25
三条町	1,565	1,977	412	656	860	204	2.39	2.30	0.09
翠ヶ丘町	4,520	4,462	58	1,786	1,894	108	2.53	2.36	0.17
親王塚町	1,421	1,406	15	642	638	4	2.21	2.20	0.01
大原町	2,326	2,322	4	1,041	1,101	60	2.23	2.11	0.12
船戸町	921	784	137	438	418	20	2.10	1.88	0.22
松ノ内町	1,037	1,116	79	445	533	88	2.33	2.09	0.24
月若町	593	588	5	252	251	1	2.35	2.34	0.01
西芦屋町	491	595	104	199	261	62	2.47	2.28	0.19
三条南町	989	912	77	420	396	24	2.35	2.30	0.05
楠町	2,571	2,419	152	1,058	1,082	24	2.43	2.24	0.19
上宮川町	424	465	41	208	238	30	2.04	1.95	0.09
業平町	789	1,012	223	390	528	138	2.02	1.92	0.10
前田町	731	421	310	361	196	165	2.02	2.15	0.13
清水町	906	564	342	401	263	138	2.26	2.14	0.12
春日町	1,941	1,671	270	806	747	59	2.41	2.24	0.17
打出小槌町	1,345	1,437	92	550	633	83	2.45	2.27	0.18
宮塚町	1,139	1,186	47	537	610	73	2.12	1.94	0.18
茶屋之町	940	832	108	443	430	13	2.12	1.93	0.19
大榭町	783	588	195	325	297	28	2.41	1.98	0.43
公光町	600	521	79	275	235	40	2.18	2.22	0.04
川西町	953	1,259	306	439	559	120	2.17	2.25	0.08
津知町	1,232	1,003	229	511	421	90	2.41	2.38	0.03
打出町	621	448	173	289	228	61	2.15	1.96	0.19
南宮町	2,848	3,923	1,075	1,098	1,569	471	2.59	2.50	0.09
若宮町	915	693	222	382	309	73	2.40	2.24	0.16
宮川町	629	626	3	262	291	29	2.40	2.15	0.25
竹園町	762	745	17	326	325	1	2.34	2.29	0.05
精道町	920	1,003	83	393	457	64	2.34	2.19	0.15
浜芦屋町	852	1,036	184	363	460	97	2.35	2.25	0.10
平田北町	574	653	79	268	292	24	2.14	2.24	0.10
大東町	4,026	3,858	168	1,444	1,637	193	2.79	2.36	0.43
浜町	2,105	2,474	369	866	1,125	259	2.43	2.20	0.23
西蔵町	2,341	2,298	43	955	997	42	2.45	2.30	0.15
呉川町	2,151	2,849	698	860	1,215	355	2.50	2.34	0.16
伊勢町	1,412	1,785	373	554	721	167	2.55	2.48	0.07
松浜町	1,505	1,953	448	580	800	220	2.59	2.44	0.15
平田町	928	941	13	401	432	31	2.31	2.18	0.13
新浜町	947	1,604	657	287	541	254	3.30	2.96	0.34
浜風町	1,663	1,433	230	511	518	7	3.25	2.77	0.48
高浜町	5,486	4,528	958	1,846	1,882	36	2.97	2.41	0.56
若葉町	4,522	3,669	853	1,510	1,506	4	2.99	2.44	0.55
緑町	2,233	1,964	269	691	701	10	3.23	2.80	0.43
潮見町	1,414	1,294	120	425	536	111	3.33	2.41	0.92
陽光町	0	2,013	2,013	0	1,046	1,046	0.00	1.92	1.92
海洋町	0	240	240	0	79	79	0.00	3.04	3.04
総計	87,134	91,075	3,941	34,538	39,660	3,941	2.52	2.30	0.22

資料：芦屋市生活環境部市民課

1 人口の推移

図 4：町別人口増減と世帯数の増減の関係 - 平成 6 年から平成 15 年の増減 -



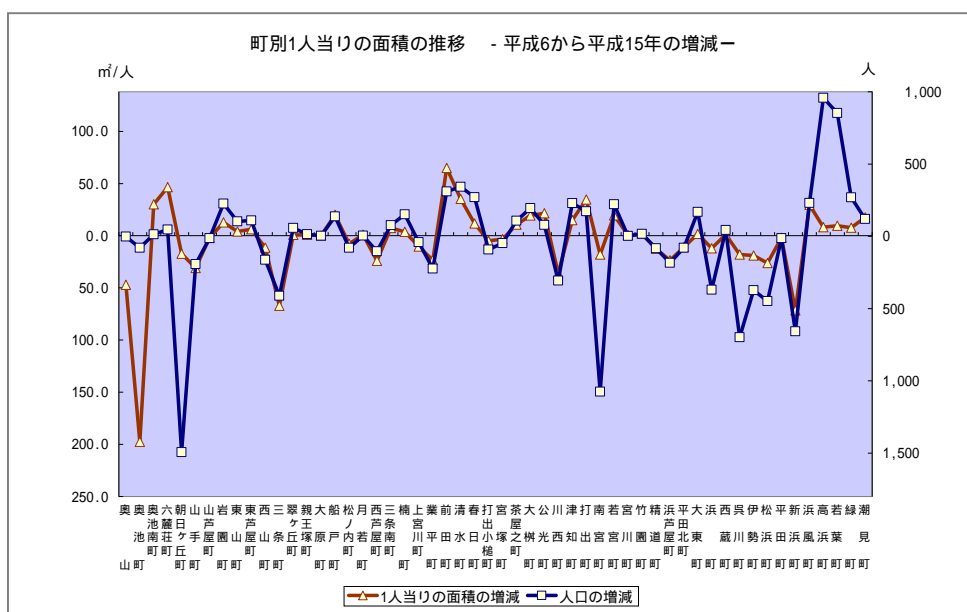
(9) 町別 1 人当たりの面積の推移 (住民基本台帳と外国人登録による)

震災直前の平成 6 年 (1992 年) から平成 15 年 (2003 年) までの 9 年間の町別 1 人当りの面積の推移について表した。

下記のグラフ 19 から平成 6 年 (1994 年) から平成 15 年 (2003 年) までの 9 年間の増減を見ると、人口が減少した町は 1 人当たりの面積が増加し、人口が増加した町は 1 人当たりの面積が減少しているが、朝日ヶ丘町と南宮町は、人口の増加に比べて 1 人当たりの面積が減少が少ない。

一方、奥池町は、人口の減少に比べて 1 人当たりの面積の減少が大きく、高浜町、若葉町、緑町は、人口の減少に比べて 1 人当たりの面積の減少が小さい。

グラフ 19 : 町別 1 人当たりの面積の推移 - 平成 6 から平成 15 年の増減 -



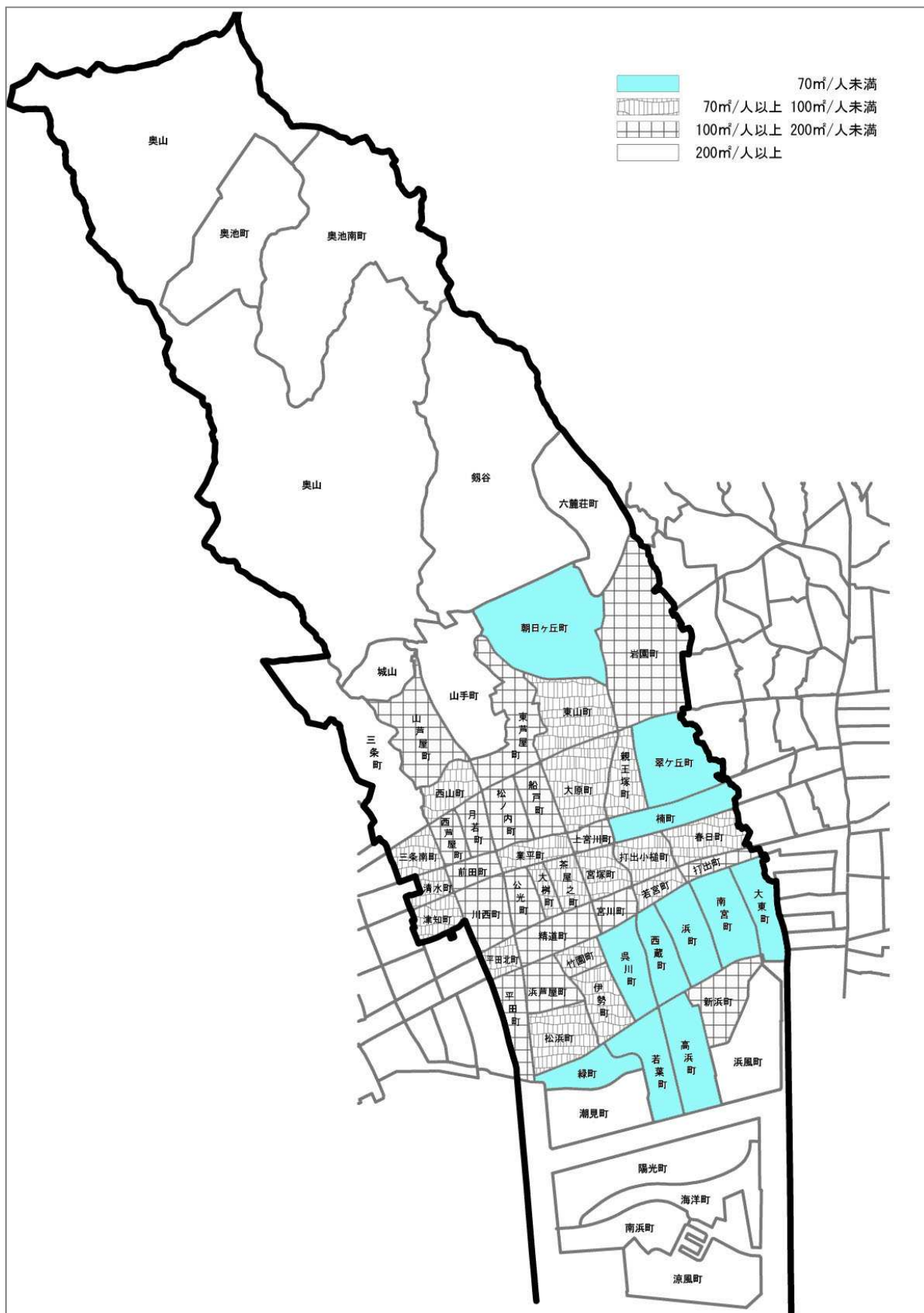
平成 15 年での町別 1 人当たりの面積を 33 ページの図 5 で地図上に表した。

1 人口の推移

表 12：町別 1 人当たりの面積の推移（住民基本台帳と外国人登録者による）

町 名	面積 (㎡)	(各年10月1日現在)					
		平成6年と平成15年の増減		平成6年		平成15年	
		人口 (人)	1人当たりの面積 (㎡/人)	人口 (人)	1人当たりの面積 (㎡/人)	人口 (人)	1人当たりの面積 (㎡/人)
奥 山	5,301,025	2	47.0	474	11,183.6	476	11,136.6
奥 池 町	635,997	80	197.6	469	1,356.1	549	1,158.5
奥池南町	1,286,380	14	30.1	780	1,649.2	766	1,679.3
六麓荘町	376,568	47	46.5	641	587.5	594	634.0
朝日ヶ丘町	505,155	1,493	17.2	5,905	85.5	7,398	68.3
山 手 町	401,658	192	30.9	1,486	270.3	1,678	239.4
山 芦 屋 町	245,779	13	2.0	1,256	195.7	1,269	193.7
岩 園 町	558,575	226	12.8	3,259	171.4	3,033	184.2
東 山 町	237,481	103	4.0	2,528	93.9	2,425	97.9
東 芦 屋 町	245,268	110	6.2	2,145	114.3	2,035	120.5
西 山 町	102,753	162	11.5	1,120	91.7	1,282	80.2
三 条 町	503,984	412	67.1	1,565	322.0	1,977	254.9
翠ヶ丘町	277,619	58	0.8	4,520	61.4	4,462	62.2
親王塚町	117,274	15	0.9	1,421	82.5	1,406	83.4
大 原 町	226,024	4	0.1	2,326	97.2	2,322	97.3
船 戸 町	105,446	137	20.0	921	114.5	784	134.5
松ノ内町	114,638	79	7.8	1,037	110.5	1,116	102.7
月 若 町	73,689	5	1.0	593	124.3	588	125.3
西 芦 屋 町	67,428	104	24.0	491	137.3	595	113.3
三 条 南 町	87,765	77	7.5	989	88.7	912	96.2
楠 町	155,622	152	3.8	2,571	60.5	2,419	64.3
上宮川町	49,250	41	10.3	424	116.2	465	105.9
業 平 町	83,988	223	23.4	789	106.4	1,012	83.0
前 田 町	64,420	310	64.9	731	88.1	421	153.0
清 水 町	52,825	342	35.4	906	58.3	564	93.7
春 日 町	141,154	270	11.8	1,941	72.7	1,671	84.5
打出小槌町	101,511	92	4.9	1,345	75.5	1,437	70.6
宮 塚 町	94,489	47	3.3	1,139	83.0	1,186	79.7
茶屋之町	77,695	108	10.7	940	82.7	832	93.4
大 榭 町	45,823	195	19.4	783	58.5	588	77.9
公 光 町	85,494	79	21.6	600	142.5	521	164.1
川 西 町	141,675	306	36.2	953	148.7	1,259	112.5
津 知 町	80,654	229	14.9	1,232	65.5	1,003	80.4
打 出 町	55,932	173	34.7	621	90.1	448	124.8
南 宮 町	187,341	1,075	18.0	2,848	65.8	3,923	47.8
若 宮 町	55,881	222	19.5	915	61.1	693	80.6
宮 川 町	62,783	3	0.5	629	99.8	626	100.3
竹 園 町	58,342	17	1.7	762	76.6	745	78.3
精 道 町	139,400	83	12.5	920	151.5	1,003	139.0
浜 芦 屋 町	112,601	184	23.5	852	132.2	1,036	108.7
平 田 北 町	51,521	79	10.9	574	89.8	653	78.9
大 東 町	150,343	168	1.7	4,026	37.3	3,858	39.0
浜 町	170,555	369	12.1	2,105	81.0	2,474	68.9
西 蔵 町	137,742	43	1.1	2,341	58.8	2,298	59.9
呉 川 町	159,490	698	18.1	2,151	74.1	2,849	56.0
伊 勢 町	128,376	373	19.0	1,412	90.9	1,785	71.9
松 浜 町	170,940	448	26.1	1,505	113.6	1,953	87.5
平 田 町	122,941	13	1.9	928	132.5	941	130.6
新 浜 町	165,617	657	71.6	947	174.9	1,604	103.3
浜 風 町	307,675	230	29.7	1,663	185.0	1,433	214.7
高 浜 町	213,137	958	8.2	5,486	38.9	4,528	47.1
若 葉 町	187,951	853	9.6	4,522	41.6	3,669	51.2
緑 町	126,827	269	7.8	2,233	56.8	1,964	64.6
潮 見 町	268,686	120	17.6	1,414	190.0	1,294	207.6
陽 光 町	432,759	2,013	-	0	-	2,013	215.0
海 洋 町	264,522	240	-	0	-	240	1,102.2
総 計	18,566,187	3,941	9.2	87,134	213	91,075	203.9

図 5：町別 1 人当たりの面積（平成 15 年 10 月）



1 人口の推移

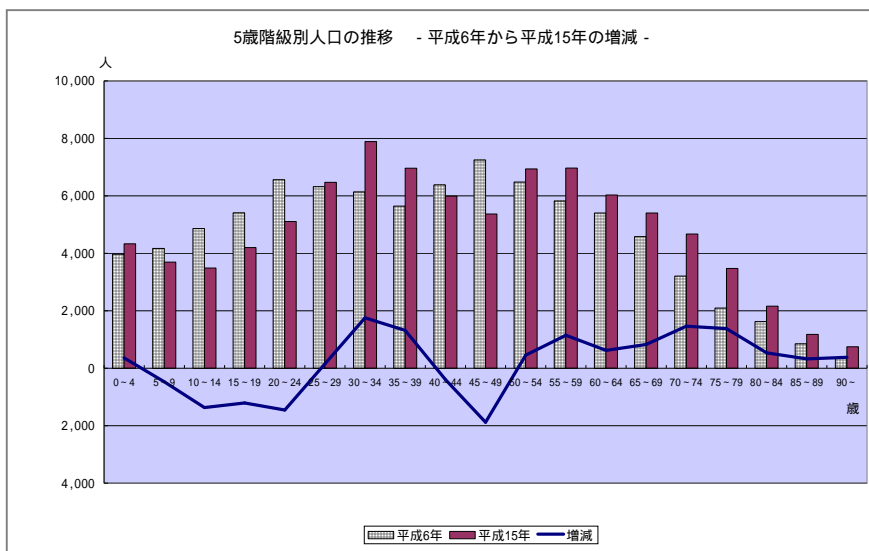
(参考) 5歳階級別人口の推移 (住民基本台帳と外国人登録による)

平成6年(1994年)から平成15年(2003年)までの9年間について、住民基本台帳人口の推移を5歳階級別に表示した。

4歳以下と30歳代及び50歳代以降が増加しているが、5歳から20歳代前半及び40歳代後半が減少しており、年齢によって人口及び構成割合の増減が大きく違うことがわかる。

なお、36ページの全国の年齢別人口の推移と同じ傾向で推移していることが伺える。

グラフ 20 : 5歳階級別人口の推移 - 平成6年から平成15年の増減 -



グラフ 21 : 5歳階級別人口構成割合の推移 - 平成6年から平成15年の増減 -

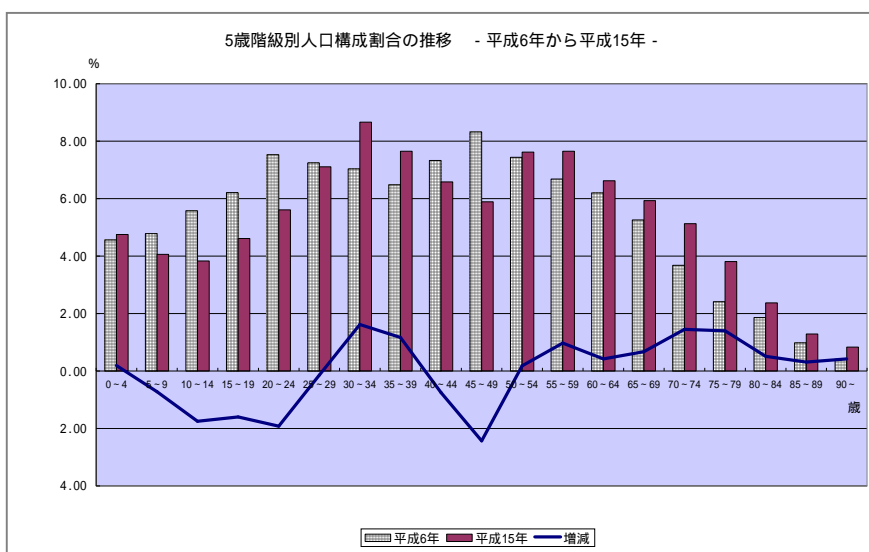


表 13：5 歳階級別人口の推移（住民基本台帳と外国人登録による） - 平成 6 年から平成 15 年の増減 -

（各年10月1日現在の比較）単位：人

町名	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
奥山	2	8	17	13	8	10	3	5	13	30	15	33	19	9	5	3	5	2	0	2
奥池町	1	10	2	5	9	1	4	14	0	3	6	10	5	3	27	11	6	5	2	80
奥池南町	2	3	20	17	11	3	4	5	3	24	3	12	25	13	43	21	14	8	3	14
六麓荘町	1	10	15	17	14	11	7	6	2	22	10	18	9	8	16	18	7	5	5	47
劔谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日ヶ丘町	88	35	41	14	27	107	233	178	102	42	116	150	76	97	129	117	66	27	14	1,493
山手町	46	1	17	16	4	7	40	39	0	6	0	3	5	3	19	27	18	7	8	192
山芦屋町	1	1	6	7	34	19	33	16	8	21	1	20	4	2	7	10	1	10	0	13
岩園町	15	0	34	86	88	60	21	43	36	95	36	13	23	1	23	54	43	25	22	226
東山町	6	42	44	11	45	58	36	5	10	39	4	15	22	14	52	59	12	7	16	103
東芦屋町	10	42	26	33	73	35	18	26	23	60	17	27	31	13	44	14	26	15	3	110
西山町	10	2	8	8	17	7	37	45	2	7	27	9	2	4	9	15	7	11	1	162
三条町	42	26	2	3	6	4	86	82	46	9	34	27	5	22	13	32	27	13	9	412
翠ヶ丘町	33	0	53	55	56	118	3	30	35	75	16	28	19	7	58	114	38	32	10	58
親王塚町	13	18	27	24	25	20	26	8	11	30	12	14	16	28	0	15	5	8	9	15
大原町	23	1	46	36	56	1	37	44	8	48	23	27	5	17	26	37	15	5	13	4
船戸町	7	20	5	26	43	6	2	6	7	35	13	9	5	27	1	10	3	3	3	137
松ノ内町	5	7	4	2	30	10	2	42	28	24	4	5	19	2	0	20	11	5	5	79
月若町	1	10	4	11	20	13	3	23	11	3	16	4	15	2	9	8	6	6	4	5
西芦屋町	22	8	3	6	11	1	34	39	28	5	16	2	0	5	1	12	6	6	3	104
三条南町	4	7	1	8	44	15	24	11	4	24	2	13	3	6	11	3	11	7	7	77
楠町	21	40	49	58	62	0	48	27	67	51	18	9	8	16	56	45	17	14	8	152
上宮川町	4	2	3	7	9	6	21	15	5	7	2	8	3	14	17	0	4	4	4	41
業平町	13	14	8	10	5	19	36	50	14	8	24	34	2	15	5	23	10	7	6	223
前田町	6	6	17	31	106	11	0	1	19	41	11	14	7	21	13	3	9	8	6	310
清水町	13	13	19	32	52	25	16	3	35	35	34	35	34	12	8	15	10	7	2	342
春日町	4	30	46	41	72	7	18	16	45	69	20	14	22	6	16	24	1	0	19	270
打出小椋町	26	5	27	5	33	29	50	23	3	14	12	20	7	3	37	18	17	6	3	92
宮塚町	7	6	13	1	6	22	11	35	1	9	23	24	19	18	17	13	15	8	1	47
茶屋之町	4	17	10	21	42	1	19	25	2	23	16	18	30	8	13	9	2	0	6	108
大槻町	10	25	22	16	22	6	11	12	17	34	22	22	25	15	5	2	12	2	7	195
公光町	5	5	5	10	26	2	17	14	7	14	23	6	14	13	1	8	11	5	3	79
川西町	25	14	18	5	11	6	49	49	20	10	34	31	18	17	10	10	6	5	0	306
津知町	4	4	16	28	40	10	21	8	14	34	6	21	36	42	5	3	1	1	1	229
打出町	14	8	6	15	33	20	7	3	4	27	3	4	24	12	9	8	6	1	1	173
南宮町	93	90	15	2	3	77	178	213	91	25	84	58	84	58	31	41	7	16	9	1,075
若宮町	16	19	35	11	31	17	10	4	33	45	14	10	2	20	4	7	13	4	7	222
宮川町	2	2	15	5	10	7	17	14	9	5	1	1	12	3	4	11	7	9	7	3
竹園町	1	1	3	11	32	5	1	4	24	1	4	4	20	3	10	17	4	0	6	17
精道町	0	17	13	4	7	16	24	16	19	3	4	6	21	2	15	11	5	10	10	83
浜芦屋町	18	21	3	12	7	23	33	36	28	4	9	12	5	3	10	17	7	2	4	184
平田北町	15	4	13	9	9	14	20	39	19	2	3	15	14	9	6	4	6	4	0	79
大東町	59	64	166	109	94	77	145	36	134	172	11	64	17	11	96	84	34	26	5	168
浜町	4	25	14	13	46	16	72	84	6	9	25	34	20	6	56	40	35	17	49	369
西蔵町	61	0	35	82	93	19	87	39	44	89	38	9	54	57	15	23	1	1	10	43
呉川町	56	21	19	2	1	58	82	104	83	24	56	45	30	38	36	28	5	0	16	698
伊勢町	26	33	4	4	9	18	54	46	21	10	50	54	6	24	39	24	10	3	6	373
松浜町	38	23	14	35	11	20	46	61	10	24	54	46	27	27	11	8	20	11	8	448
平田町	7	1	10	28	24	3	27	19	14	50	11	13	10	10	10	19	1	5	5	13
新浜町	10	4	12	65	50	81	41	3	32	52	90	87	52	26	24	13	14	4	3	657
浜風町	18	49	85	69	23	13	10	22	83	112	27	63	35	32	69	26	6	1	3	230
高浜町	175	185	202	198	107	10	82	104	216	241	24	96	134	131	82	75	27	13	8	958
若葉町	168	158	152	143	30	35	136	112	197	188	6	83	122	104	76	41	20	16	2	853
緑町	25	107	140	75	24	51	26	67	140	134	23	73	74	92	49	38	8	2	7	269
潮見町	4	28	58	90	47	22	6	4	37	98	71	20	61	46	50	31	18	20	35	120
陽光町	97	103	58	78	66	89	166	123	82	76	109	143	141	196	210	122	91	38	25	2,013
海洋町	20	15	14	14	12	20	24	23	20	7	20	22	9	8	5	3	1	3	0	240
総計	361	472	1,370	1,209	1,456	153	1,752	1,319	392	1,881	455	1,147	623	825	1,465	1,378	534	328	381	3,941

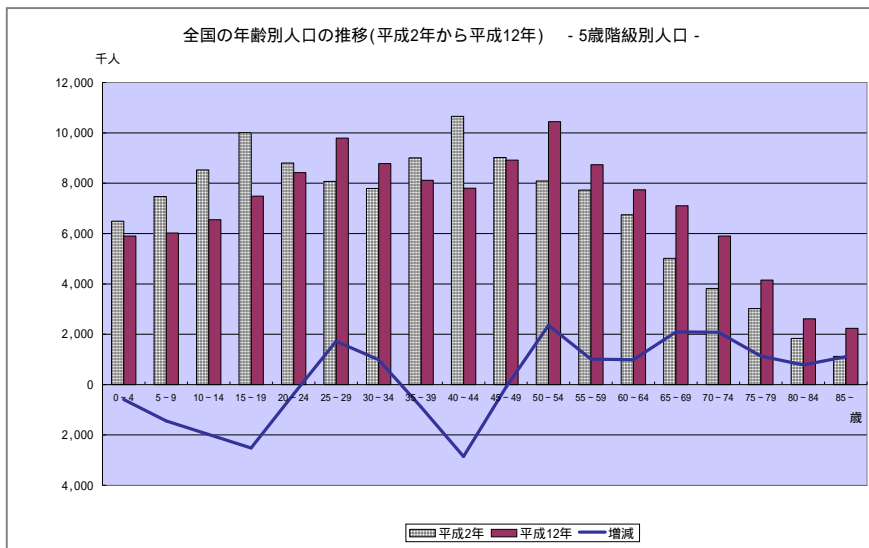
資料：芦屋市生活環境部市民課

1 人口の推移

(参考) 全国の5歳階級別人口の推移

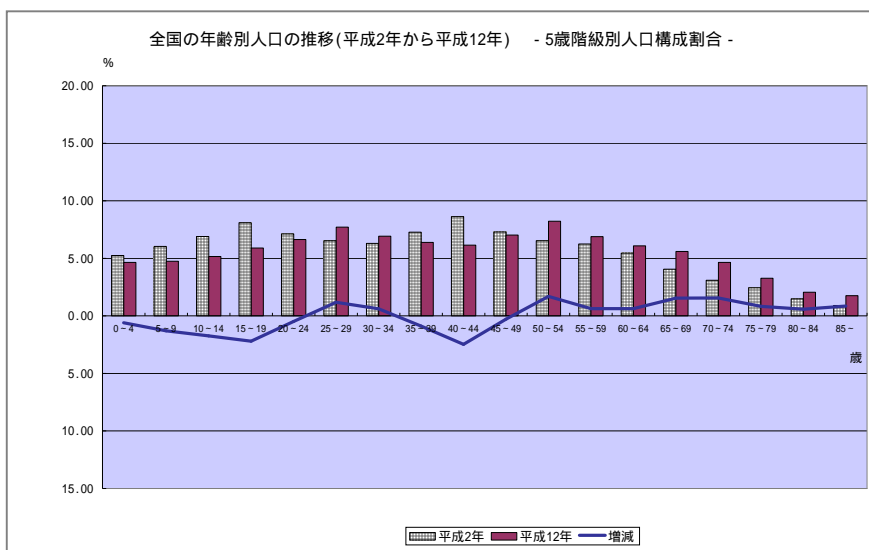
全国の5歳階級別人口の推移を、平成2年(1990年)と平成12年(2000年)の国勢調査結果で表してみた。全国の傾向としては、20歳代後半から30歳代前半及び50歳代以降の人口と構成割合が増加し、20歳代前半までと30歳代後半から40歳代の減少が見られる。

グラフ 22：全国の5歳階級別人口の推移 - 平成2年から平成12年 -



資料：総務省統計局「国勢調査結果」による

グラフ 23：全国の年齢別人口の推移(平成2年から平成12年) - 5歳階級別人口構成割合 -



資料：総務省統計局「国勢調査結果」による

(参考)「広報あしや」郵送部数の推移

本市の広報紙「広報あしや」は、通常、新聞折込で市内世帯に配布されているが、震災後、多くの市民が一時的に市外に避難したため、希望者に郵送することとした。

平成9年には1,738部を郵送していたが、その後減少し、平成11年度末に引き続き郵送を希望する場合は郵送料を自己負担してもらうことを通知し、改めて希望者を募ったところ、平成12年度の郵送部数は369部になった。

表 14 : 「広報あしや」郵送部数の推移

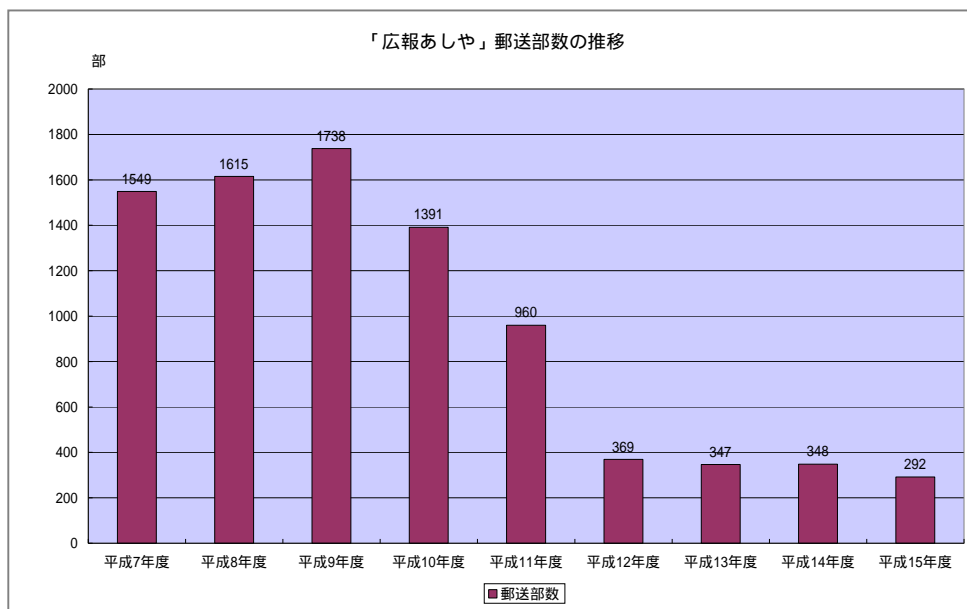
(各年度末現在)									
区 分	平成7年度	平成8年度	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
「広報あしや」郵送部数									
郵送部数(部)	1,549	1,615	1,738	1,391	960	369	347	348	292

資料：芦屋市総務部広報課

郵送先は市外，市内とも含まれる。

平成11年度末に，引き続き郵送を希望する場合は郵送料を自己負担してもらう旨を通知した。

グラフ 24 : 「広報あしや」郵送部数の推移



2 住宅の推移

2 住宅の推移

(1) 住宅・土地統計調査から見る住宅の推移

総務省が5年ごとに行う「住宅・土地統計調査」から、本市の住宅の推移を表した。

下記のグラフ25を見ると、昭和63年(1988年)に29,520戸と推定された住宅の総数が、平成5年(1993年)には30,790戸に増加したが、平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災後の調査である平成10年(1998年)には30,400戸に減少している。

平成16年(2004年)6月時点では平成15年(2003年)の調査結果が公表されていないが、46ページの表16の固定資産税の評価対象となる家屋の評価床面積が平成10年度(1998年度)以降増加し、平成11年度(1999年度)には平成5年(1993年)を上回っていることから、平成15年(2000年)の調査結果では、平成5年(1993年)を上回っていると推測される。

グラフ25：住宅・土地統計調査 - 住宅の総数の推移 -

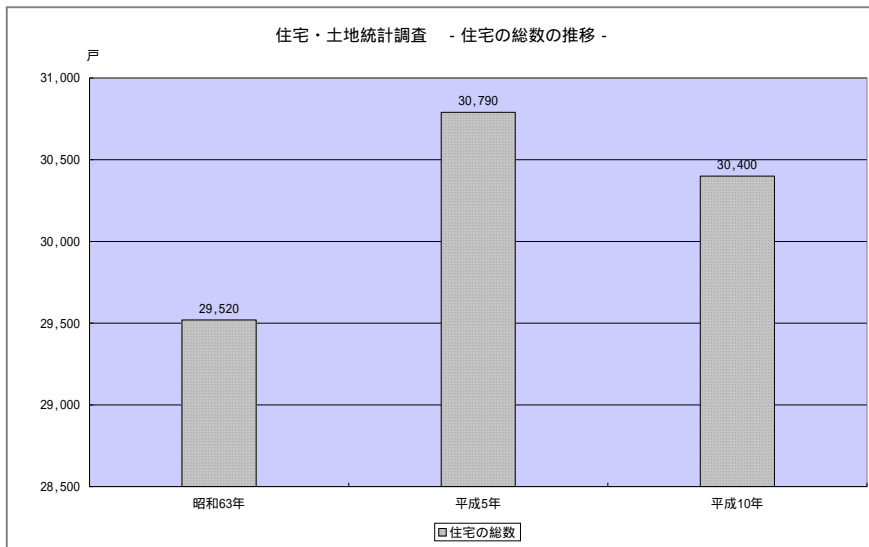


表 15：住宅・土地統計調査

区 分		昭和63年	平成5年度	平成10年度
建築の時期（7区分）別住宅数（戸）				
住宅の総数	住宅の総数	29,520	30,790	30,400
	終戦前 ~ 1945	1,680	1,460	270
	終戦時～昭和45年 1945～1970	9,700	8,460	3,800
	昭和46年～55年 1971～1980	10,190	10,060	6,870
	昭和56年～平成2年 1981～1990	6,590	9,020	8,230
	平成3年～7年 1991～1995	0	1,280	3,650
	平成8年～平成10年9月 1996～	0	0	6,400
不詳	1,360	510	1,180	
建築の時期（7区分）別住宅の割合（％）				
住宅の総数	住宅の総数	100.0	100.0	100.0
	終戦前 ~ 1945	5.7	4.7	0.9
	終戦時～昭和45年 1945～1970	32.9	27.5	12.5
	昭和46年～55年 1971～1980	34.5	32.6	22.6
	昭和56年～平成2年 1981～1990	22.3	29.3	27.0
	平成3年～7年 1991～1995	0.0	4.2	12.0
	平成8年～平成10年9月 1996～	0.0	0.0	21.1
不詳	4.6	1.7	3.9	
建て替え・購入・新築等（6区分）別前回調査以降に建築された持ち家数（戸）				
総数	総数	2,260	2,170	5,210
	新築の住宅を購入	980	1,200	1,620
	中古住宅を購入	70	80	120
	新築(建て替えを除く)	750	230	850
	建て替え	410	610	2,550
	相続・贈与	30	20	40
その他	20	30	30	
建て替え・購入・新築等（6区分）別前回調査以降に建築された持ち家の割合（％）				
総数	総数	100.0	100.0	100.0
	新築の住宅を購入	43.4	55.3	31.1
	中古住宅を購入	3.1	3.7	2.3
	新築(建て替えを除く)	33.2	10.6	16.3
	建て替え	18.1	28.1	48.9
	相続・贈与	1.3	0.9	0.8
その他	0.9	1.4	0.6	
住宅の構造（3区分）別住宅数（戸）				
住宅の総数	住宅の総数	29,520	30,790	30,400
	木造	3,570	5,320	5,840
	防火木造	8,740	4,980	3,070
	非木造	17,210	20,490	21,490
住宅の構造（3区分）別住宅の割合（％）				
住宅の総数	住宅の総数	100.0	100.0	100.0
	木造	12.1	17.3	19.2
	防火木造	29.6	16.2	10.1
	非木造	58.3	66.5	70.7
住宅の所有の関係（2区分）別住宅数（戸）				
総数	総数	29,520	30,790	30,400
	持ち家	15,750	16,690	16,940
	借家	12,520	13,920	12,560
住宅の所有の関係（2区分）別住宅の割合（％）				
総数	総数	100.0	100.0	100.0
	持ち家	55.7	54.5	57.4
	借家	44.3	45.5	42.6

資料：総務省「住宅・土地統計調査」

総務省が5年ごとの実施している「住宅・土地統計調査」から、昭和63年、平成5年、平成10年の「市、区及び一定規模以上の町村に関する結果」から本市の数値を表にしたものです。

ここで掲げた統計表は、標本調査による推定値であるため、1位を四捨五入して10位まで有効数字として表章しているため、表中の個々の数字の合計が必ずしも総数とは一致しない。

2 住宅の推移

次に、建築時期を下記の7区分の分類で推移を表した。

昭和63年(1988年)から平成5年(1993年)までの変化に比べ、平成5年(1993年)から平成10年(1998年)までの変化が大きい。特に、平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災後の調査である平成10年(1998年)には、建築時期が昭和45年(1970年)以前のものは激減している。

終戦(1945年)前

終戦時(1946年)から昭和45年(1970年)

昭和46年(1971年)～55年(1980年)

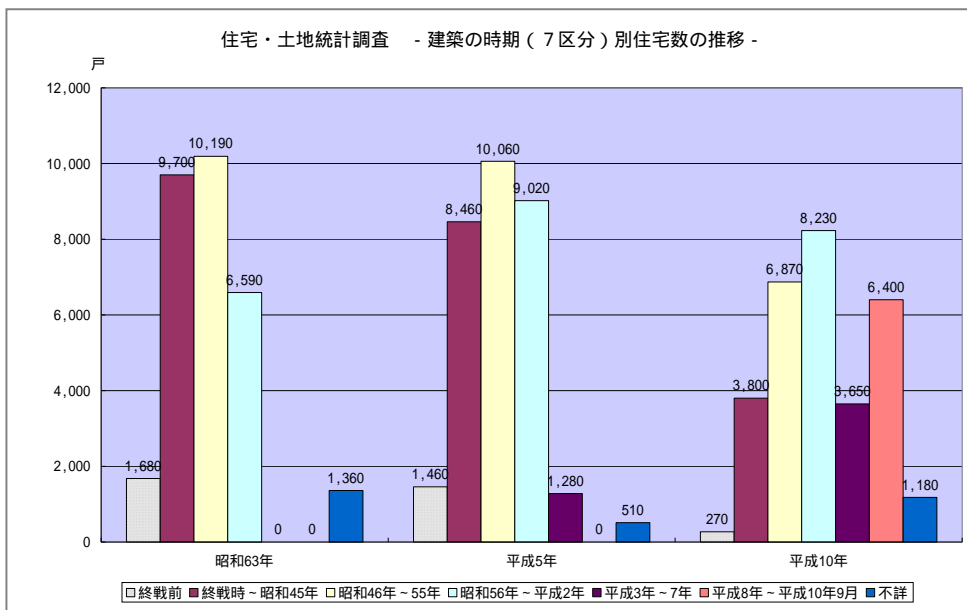
昭和56年(1981年)～平成2年(1990年)

平成3年(1991年)～7年(1995年)

平成8年(1996年)～平成10年(1998年)9月

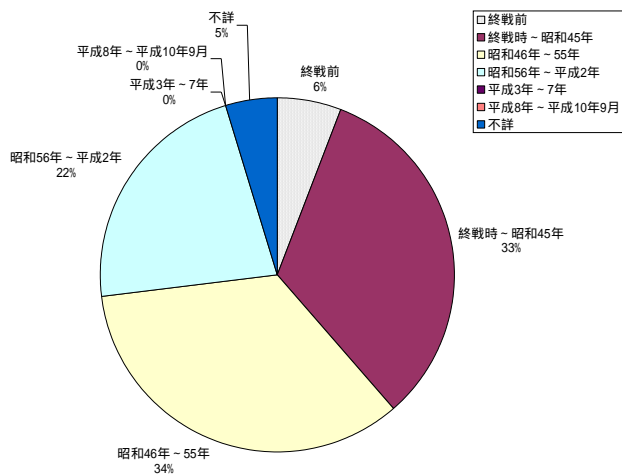
不詳

グラフ 26：住宅・土地統計調査 - 建築時期(7区分)別住宅数の推移 -

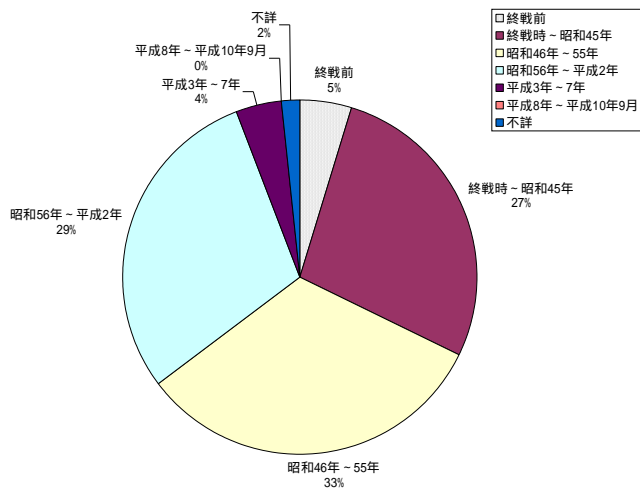


グラフ 27：住宅・土地統計調査 - 建築時期（7区分）別住宅の割合 -

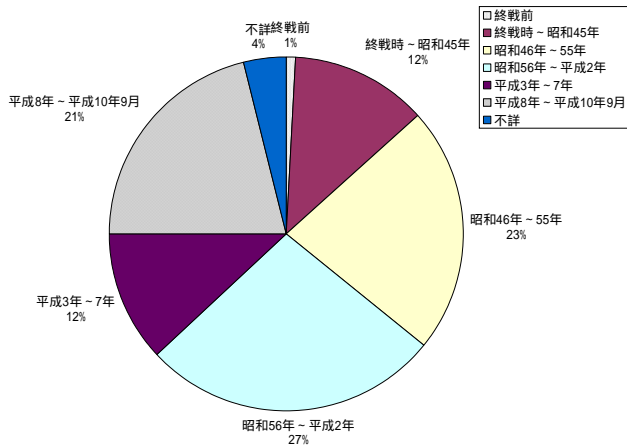
住宅・土地統計調査 - 建築の時期（7区分）別住宅の割合（昭和63年） -



住宅・土地統計調査 - 建築の時期（7区分）別住宅の割合（平成5年） -



住宅・土地統計調査 - 建築の時期（7区分）別住宅の割合（平成10年） -



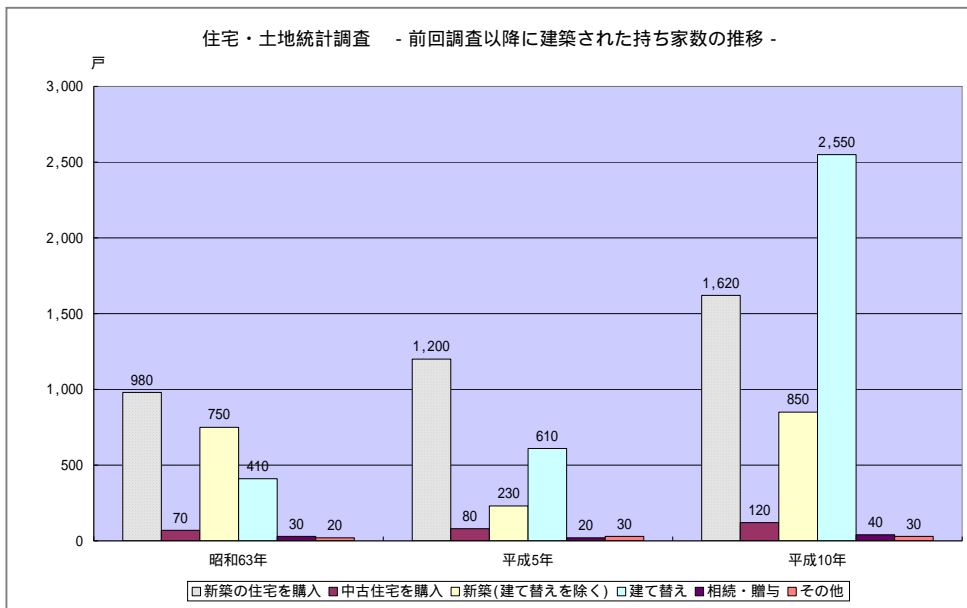
2 住宅の推移

次に、前回調査以降建築された持ち家の数を下記の6区分の分類で推移を表した。

右ページのグラフ 29 を見ると、昭和 63 年（1988 年）、平成 5 年（1993 年）は「新築の住宅を購入」が 4 割から 5 割以上を占めていたが、平成 7 年（1995 年）の阪神・淡路大震災後の調査である平成 10 年（1998 年）では、「建て替え」がほぼ 5 割あることがわかる。

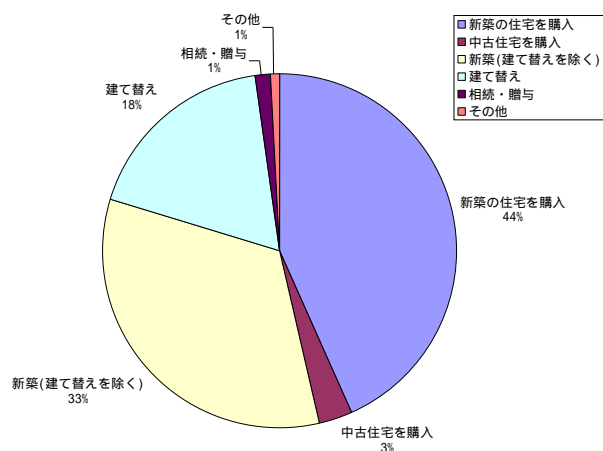
- 新築の住宅を購入
- 中古住宅を購入
- 新築（建て替えを除く）
- 建て替え
- 相続・贈与
- その他

グラフ 28：住宅・土地統計調査 - 前回調査以降に建築された持ち家数の推移 -

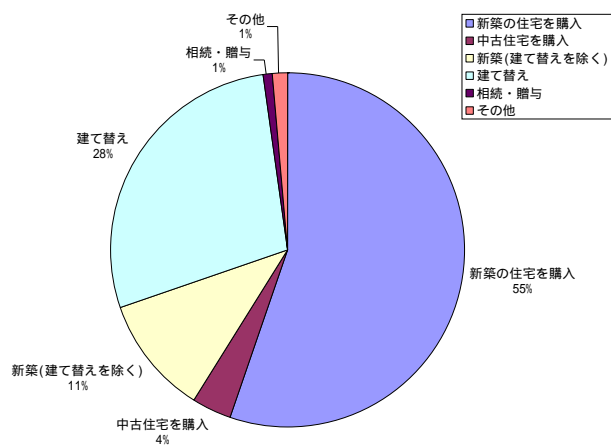


グラフ 29：住宅・土地統計調査 - 前回調査以降に建築された持ち家の割合 -

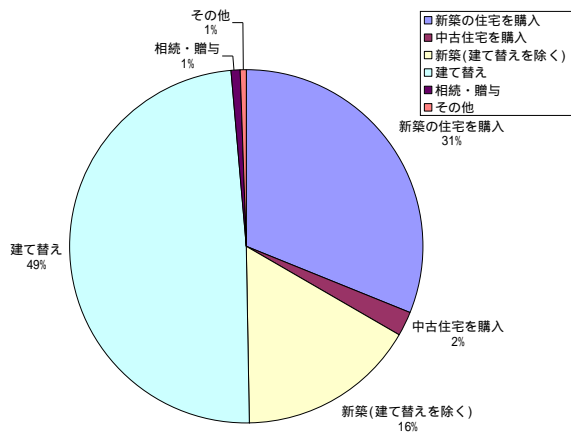
住宅・土地統計調査 - 前回調査以降に建築された持ち家の割合（昭和63年） -



住宅・土地統計調査 - 前回調査以降に建築された持ち家の割合（平成5年） -



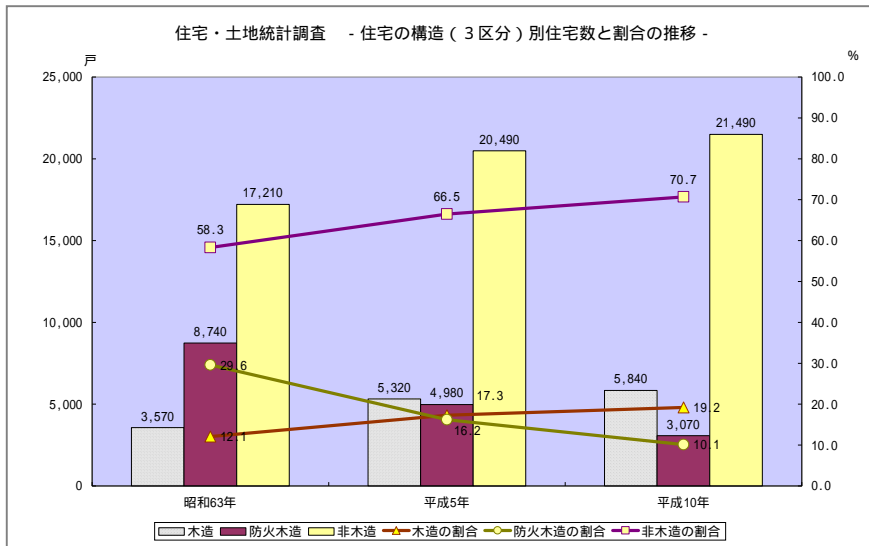
住宅・土地統計調査 - 前回調査以降に建築された持ち家の割合（平成10年） -



2 住宅の推移

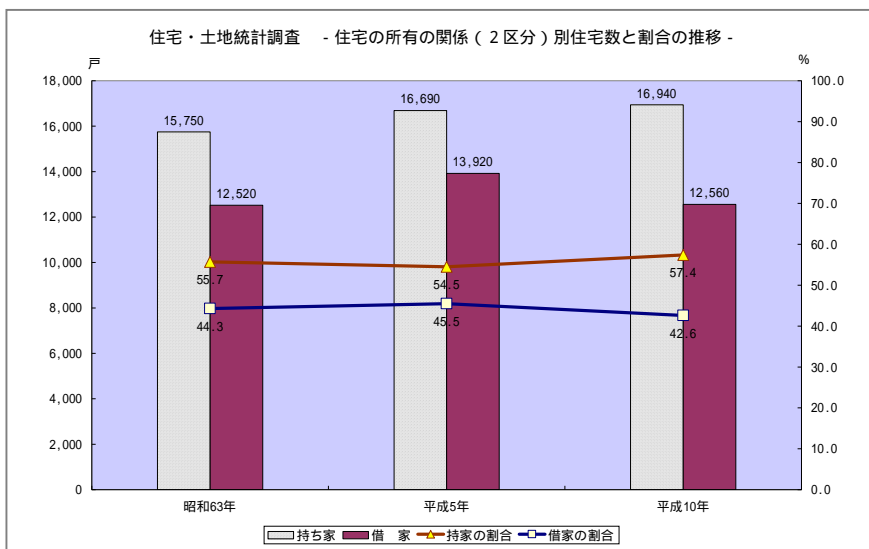
住宅の構造（3区分）別住宅数と割合の推移について、下記のグラフ 30 を見ると、非木造が増加している。一方、防火木造は減少し、木造が増加している。

グラフ 30：住宅・土地統計調査 - 住宅の構造（3区分）別住宅数と割合の推移 -



住宅の所有の関係（2区分）別住宅数と割合の推移について、下記のグラフ 31 を見ると、平成 10 年（1998 年）の調査では持ち家の戸数と割合が微増し、借家の戸数と割合が減少している。

グラフ 31：住宅・土地統計調査 - 住宅の所有の関係（2区分）別住宅数と割合の推移 -

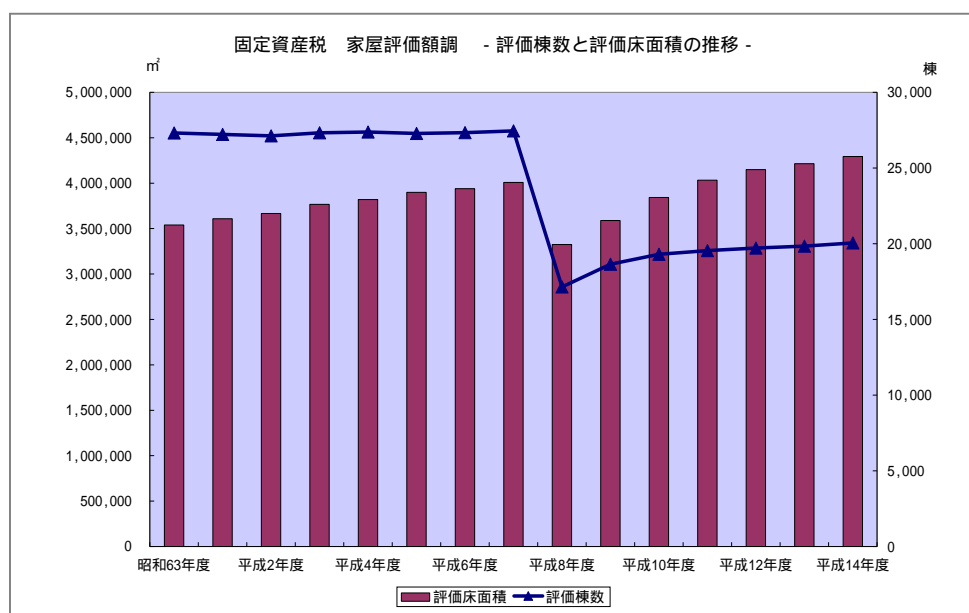


(2) 固定資産税の課税状況から見る住宅の推移

本市の住宅の推移として、固定資産税で賦課される家屋の床面積の推移を表した。

グラフ 32 を見ると、震災前の傾向として棟数はあまり増減が見られないが、評価床面積は増加傾向にあり、集合化の傾向があったとみられる。平成 7 年（1995 年）の震災で平成 8 年度（1996 年度）の評価対象となる家屋が激減したが、その後、評価床面積は震災前からの増加傾向にもどりつつあるが、評価棟数はあまり伸びていない。このことから、震災後、家屋 1 棟当たりの評価床面積が大きくなったことが伺え、住宅の高度化、集合化が進んだことが推測される。

グラフ 32：固定資産税 家屋評価額調 - 評価棟数と評価床面積の推移 -



2 住宅の推移

表 16：固定資産税家屋評価額調

区 分		昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	
評価棟数（棟）								
	構造別合計	27,319	27,220	27,126	27,323	27,378	27,286	
	木造	16,301	16,050	15,775	15,166	14,975	14,814	
	非木造	11,018	11,170	11,351	12,157	12,403	12,472	
評価床面積（㎡）								
	構造別合計	3,539,811	3,607,925	3,666,245	3,766,396	3,819,635	3,898,389	
	木造	1,471,312	1,462,011	1,450,682	1,442,211	1,435,518	1,430,983	
	非木造	2,068,499	2,145,914	2,215,563	2,324,185	2,384,117	2,467,406	
家屋異動件数（戸）								
	異動理由	3,482	3,777	3,607	2,160	1,894	1,895	
	戸数の異動	表示	954	863	1,223	753	725	511
		滅失	704	606	780	505	516	336
		分割	250	255	428	248	209	173
			0	2	15	0	0	2
	床面積の異動	増築	20	20	40	10	25	34
		面積訂正	11	19	38	10	25	30
			9	1	2	0	0	4
	所有権の異動	2,178	2,881	2,330	1,381	1,127	1,330	
	その他の異動 (地番変更・家屋番号変更等)	330	13	14	16	17	20	

資料：芦屋市『事務報告書』

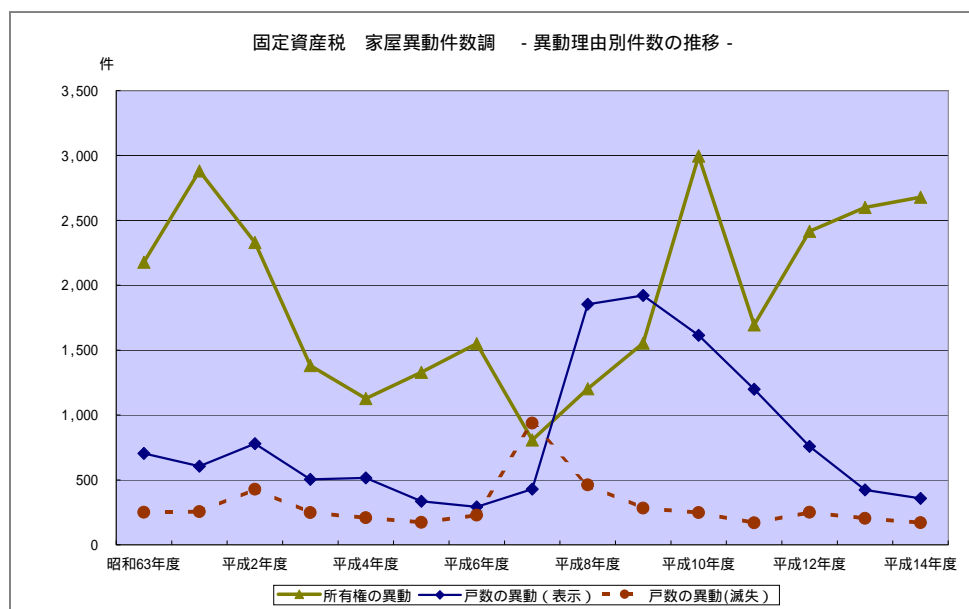
次に、表 16 のうち、法務局から通知のある家屋異動件数の推移を次ページのグラフ 33 で表した。これを見ると、平成 2 年（1990 年）から平成 3 年（1991 年）にかけて所有権の異動の届出が激減し、表示や滅失も減少傾向にあったが、震災のあった平成 7 年度（1995 年度）は滅失の届出が増大し、その翌年度から表示が激増したが、平成 13 年度（2001 年度）あたりから表示や滅失は震災前の傾向にもどりつつある。

一方、所有権の異動が震災以降は激増している。

なお、平成 7 年度（1995 年度）から平成 14 年度（2002 年度）までの滅失の合計は、2,721 戸であるのに対し、8,556 戸の表示があった。

平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	
27,331	27,449	17,143	18,643	19,307	19,544	19,711	19,845	20,056	
14,659	14,553	10,695	11,370	11,636	11,651	11,674	11,688	11,795	
12,672	12,896	6,448	7,273	7,671	7,893	8,037	8,157	8,261	
3,938,863	4,007,300	3,323,842	3,589,145	3,843,162	4,032,412	4,149,478	4,214,308	4,292,874	
1,423,240	1,432,428	899,862	1,011,440	1,057,191	1,075,634	1,091,310	1,109,117	1,134,990	
2,515,623	2,574,872	2,423,980	2,577,705	2,785,971	2,956,778	3,058,168	3,105,191	3,157,884	
2,100	2,230	3,562	3,840	4,906	3,103	3,479	3,291	3,273	
520	1,366	2,314	2,207	1,866	1,368	1,008	626	528	平成7～14年の合計
292	429	1,853	1,922	1,614	1,199	758	423	358	8,556
228	937	461	283	248	169	250	203	170	2,721
0	0	0	2	4	0	0	0	0	
19	26	25	23	18	3	26	41	21	
13	15	18	19	17	1	6	12	4	
6	11	7	4	1	2	20	29	17	
1,550	808	1,203	1,554	2,996	1,695	2,416	2,600	2,679	
11	30	20	56	26	37	29	24	45	

グラフ 33：固定資産税 家屋異動件数調 - 異動理由別件数の推移 -



2 住宅の推移

(参考) 建築物の被災状況

参考として、震災による建築物の被災状況を下記の表 17 に表した。

全壊家屋 4,722 棟と半壊家屋 4,062 棟を合わせると、全棟数の 56.9% になり、一部損壊まであわせると約 9 割の家屋が被災したことになる。

なお、平成 8 年(1996 年)3 月 31 日までの解体申請件数は、市解体・自主解体合計 4,650 件であった。

表 17：建築物被害状況表

(平成14年12月26日現在)

区分	棟数(棟)	構成比(%)	世帯数(世帯)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)
建築物被害状況表						
合計	15,421	100.00	34,846	100.0	87,804	100.0
全壊	4,722	30.6	7,754	22.2	18,050	20.6
半壊	4,062	26.4	9,928	28.5	26,791	30.5
一部損壊	4,786	31.0	14,564	41.8	37,365	42.5
その他	1,851	12.0	2,600	7.5	5,598	6.4

資料：芦屋市「阪神・淡路大震災における被害状況及び復旧状況の概要について」
世帯数、人口は住民登録外を含む。

(参考) 応急仮設住宅

参考として、応急仮設住宅の管理状況を下記の表 18 に示した。

表 18：応急仮設住宅の管理

区分		平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
応急仮設住宅の管理(戸)							
管理戸数	市内応急仮設住宅	1,226	2,901	2,640	1,995	H10.8.26解消	H10.8.26解消
	市外応急仮設住宅	185	112	112	38	1	H11.9.30解消
入居戸数	市内応急仮設住宅		2,320	1,436	951	H10.8.26解消	H10.8.26解消
	市外応急仮設住宅		81	38	8	1	H11.9.30解消

資料：芦屋市『事務報告書』

(3) 新たな住宅供給の推移

震災後、新たに着工された住宅の状況を見るため、「兵庫県新設住宅着工統計」から本市データを下記の表 19 に表した。

表 19：兵庫県新設住宅着工統計市町別集計表

区 分	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
(1) 利用関係別 (戸)								
合計	3,217	3,574	1,557	1,195	945	1,228	1,278	984
持家系	2,278	2,107	1,032	932	681	1,074	1,183	628
持家	1,648	763	293	253	307	310	307	241
分譲住宅	630	1,344	739	679	374	764	876	387
貸家系	939	1,467	525	263	264	154	95	356
貸家	920	1,386	464	261	261	152	89	343
給与住宅	19	81	61	2	3	2	6	13
(2) 構造別 (戸)								
合計	3,217	3,574	1,557	1,195	945	1,228	1,278	984
木造	1,194	548	264	238	289	251	307	303
非木造	2,023	3,026	1,293	957	656	977	971	681
SRC	190	198	265	2	40	48	0	0
RC	743	2,189	825	771	438	782	765	510
SC	1,090	639	199	183	174	144	206	171
CB	0	0	4	0	1	3	0	0
その他	0	0	0	1	3	0	0	0
(3) 資金別 (戸)								
合計	3,217	3,574	1,557	1,195	945	1,228	1,278	984
民間住宅	2,633	1,972	1,018	840	731	1,057	938	669
公的住宅	584	1,602	539	355	214	171	340	315
公営	40	308	32	22	54	15	0	84
公庫	520	641	362	319	130	93	301	176
公団	24	247	78	0	0	15	2	0
その他	0	406	67	14	30	48	37	55
(4) 建て方 (戸)								
合計	3,217	3,574	1,557	1,195	945	1,228	1,278	984
一戸建	1,700	769	363	287	356	363	386	394
長屋建	117	104	45	49	32	28	19	32
共同住宅	1,400	2,701	1,149	859	557	837	873	558
(6) 建築主 (戸)								
合計	3,217	3,574	1,557	1,195	945	1,228	1,278	984
公共	254	1,171	323	254	55	30	2	84
国	24	247	88	0	0	15	2	0
県	190	675	203	220	1	0	0	84
市町	40	249	32	34	54	15	0	0
民間	2,963	2,403	1,234	941	890	1,198	1,276	900
会社	629	695	626	517	394	710	889	477
団体	1	160	31	22	16	19	1	1
個人	2,333	1,548	577	402	480	469	386	422

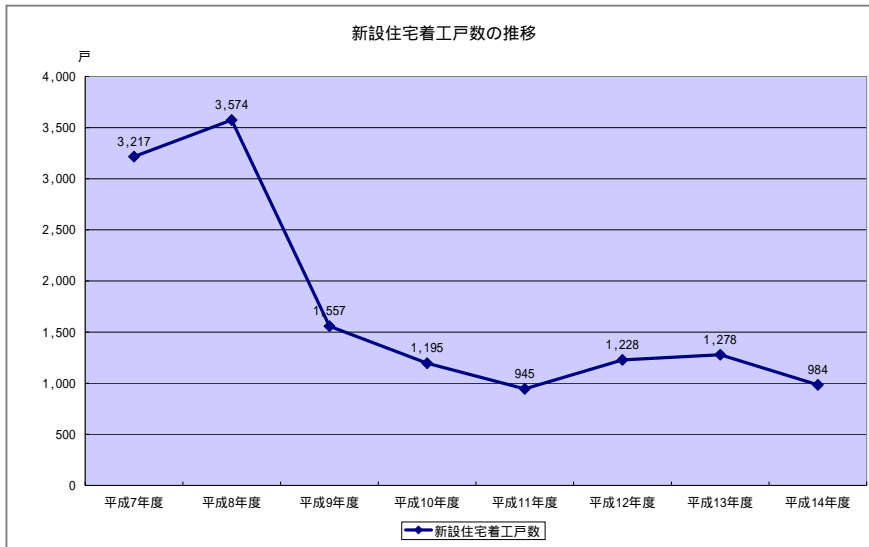
資料：「兵庫県新設住宅着工統計」市町別集計表
「兵庫県新設住宅着工統計」とは、建築基準法第15条第1項の規定により、建築主から届け出されているもののうち、兵庫県分について独自集計したもの

2 住宅の推移

次に、着工戸数の推移を下記のグラフ 34 に表した。

平成 7 年度（1995 年度）は、新設住宅着工戸数は、各年度 3,000 件を超えていたが、平成 9 年度（1997 年度）以降は、1,000 戸程度で推移している。

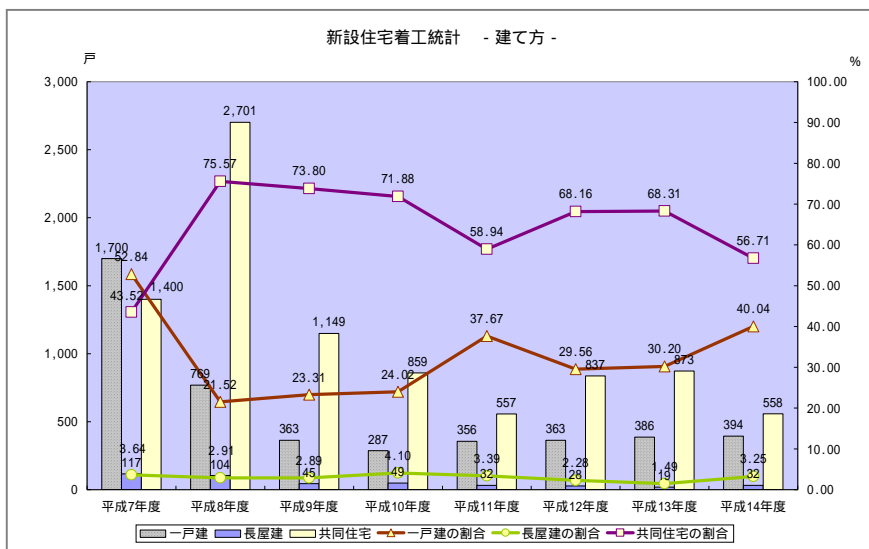
グラフ 34：新設住宅着工統計 - 着工戸数の推移 -



また、住宅の建て方について下記のグラフ 35 に表した。

震災直後の平成 7 年度（1995 年度）は共同住宅よりも一戸建の戸数が多いが、平成 8 年度（1996 年度）は共同住宅の着工が急増し、それ以降は一戸建よりも共同住宅の戸数、割合の方が多い。

グラフ 35：新設住宅着工統計 - 建て方 -

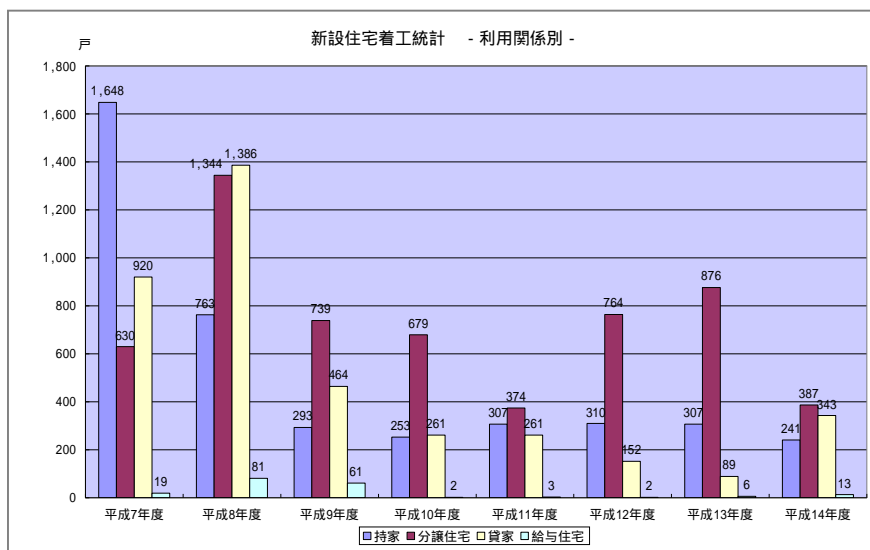


また、住宅の利用関係別について下記のグラフ 36 に表した。

震災直後の平成 7 年度（1995 年度）は「持家」が突出しているが、平成 8 年度（1996 年度）は「分譲住宅」、「貸家」が増加し、その後は「分譲住宅」が最も多くなっている。

下記のグラフ 37 と併せると、「分譲住宅」の大半を分譲マンションが占めていることがわかる。

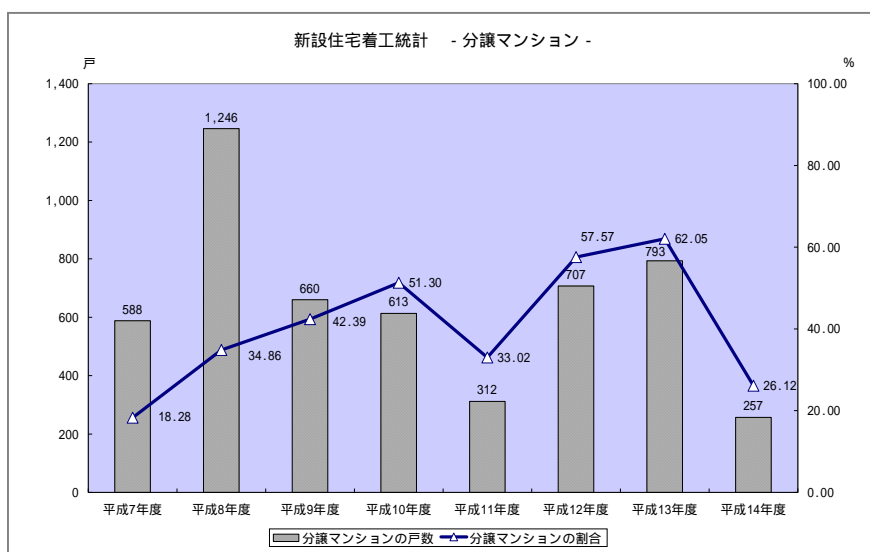
グラフ 36：新設住宅着工統計 - 利用関係別 -



また、分譲マンションについて下記のグラフ 37 に表した。

戸数は年度ごとに差異はあるものの、割合は平成 11 年度（1999 年度）を除き、平成 13 年度（2001 年度）まで増加を続けていたが、平成 14 年度（2002 年度）は戸数、割合とも減少した。

グラフ 37：新設住宅着工戸数の推移 - 分譲マンション -



2 住宅の推移

(参考) 公営住宅供給の推移

参考として、市内の公営住宅の推移について、下記の表 20 に表した。

表 20：公営住宅の状況

区 分		昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
公営住宅の状況(戸)							
総数	総戸数	3,197	3,243	3,246	3,282	3,355	3,405
	木造	25	25	25	22	17	16
	簡易耐火	167	153	125	97	77	77
	中層耐火	733	793	824	891	989	1,001
	高層耐火	2,272	2,272	2,272	2,272	2,272	2,311
市営	総戸数	691	677	680	676	732	743
	木造	13	13	13	10	5	4
	簡易耐火	143	129	101	73	53	53
	中層耐火	535	535	566	593	674	686
	高層耐火	0	0	0	0	0	0
改良住宅	総戸数	138	138	138	178	178	217
	木造	0	0	0	0	0	0
	簡易耐火	0	0	0	0	0	0
	中層耐火	34	34	34	74	74	74
	高層耐火	104	104	104	104	104	143
従前居住者住宅	総戸数						
	木造						
	簡易耐火						
	中層耐火						
	高層耐火						
市特優賃	総戸数						
	木造						
	簡易耐火						
	中層耐火						
	高層耐火						
県営	総戸数	632	692	692	692	692	692
	木造	12	12	12	12	12	12
	簡易耐火	24	24	24	24	24	24
	中層耐火	0	60	60	60	60	60
	高層耐火	596	596	596	596	596	596
県供給公社	総戸数	759	759	759	759	776	776
	木造		0	0	0	0	0
	簡易耐火		0	0	0	0	0
	中層耐火	164	164	164	164	181	181
	高層耐火	595	595	595	595	595	595
県民住宅	総戸数						
	木造						
	簡易耐火						
	中層耐火						
	高層耐火						
住宅公団	総戸数	977	977	977	977	977	977
	木造	0	0	0	0	0	0
	簡易耐火	0	0	0	0	0	0
	中層耐火	0	0	0	0	0	0
	高層耐火	977	977	977	977	977	977

資料：芦屋市『芦屋市統計書』

平成13年度末現在で、市内公営住宅の戸数は、市、県、公社、公団等あわせて5,050戸になる。

平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
3,404	3,300	3,625	4,539	4,931	4,965	5,036	5,050
16	16	16	16	16	16	16	16
53	53	53	53	53	53	53	53
965	861	1,148	1,248	1,546	1,580	1,651	1,665
2,370	2,370	2,408	3,222	3,316	3,316	3,316	3,316
741	637	890	1,290	1,290	1,290	1,290	1,290
4	4	4	4	4	4	4	4
53	53	53	53	53	53	53	53
625	521	774	774	774	774	774	774
59	59	59	459	459	459	459	459
217	217	217	217	249	283	309	309
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
74	74	74	74	106	140	166	166
143	143	143	143	143	143	143	143
		38	54	54	54	99	99
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	16	16	16	61	61
		38	38	38	38	38	38
		15	50	146	146	146	146
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		15	50	66	66	66	66
		0	0	80	80	80	80
668	668	668	1,082	1,082	1,082	1,082	1,082
12	12	12	12	12	12	12	12
0	0	0	0	0	0	0	0
60	60	60	60	60	60	60	60
596	596	596	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010
759	759	759	759	759	759	759	759
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
164	164	164	164	164	164	164	164
595	595	595	595	595	595	595	595
17	17	36	85	234	234	234	248
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
17	17	36	85	220	220	220	234
0	0	0	0	14	14	14	14
1,002	1,002	1,002	1,002	1,117	1,117	1,117	1,117
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
25	25	25	25	140	140	140	140
977	977	977	977	977	977	977	977

2 住宅の推移

(4) 水道メータから見る住宅の入居状況の推移

住宅等の入居状況を推定するため、平成11年(1999年)から平成15年(2003年)の水道メータの開栓状況の推移について表した。開栓割合が高い町は入居率が高く、閉栓割合の高い町は空家率が高いと推定される。

市全体では、一戸建て住宅の開栓割合は、平成12年の95.1%以降微減している。一方、集合住宅は、平成11年の88.9%以降増加し、平成15年には94.0%と一戸建て住宅とほぼ同じになっている。

また、水道メータの設置状況から6割近くが集合住宅と推測できる。

表 21：水道メータの使用状況の推移

区分	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
戸数(戸)					
開栓戸数	34,038	35,359	36,350	38,599	38,599
一戸建	15,140	15,432	15,592	16,358	16,358
集合住宅	18,898	19,927	20,758	22,241	22,241
閉栓戸数	3,162	2,888	2,741	2,366	2,366
一戸建	797	789	894	946	946
集合住宅	2,365	2,099	1,847	1,420	1,420
合計	37,200	38,247	39,091	40,965	40,965
一戸建	15,937	16,221	16,486	17,304	17,304
集合住宅	21,263	22,026	22,605	23,661	23,661
割合(%)					
開栓割合	91.5	92.4	93.0	94.2	94.2
一戸建	95.0	95.1	94.6	94.5	94.5
集合住宅	88.9	90.5	91.8	94.0	94.0
閉栓割合	8.5	7.6	7.0	5.8	5.8
一戸建	5.0	4.9	5.4	5.5	5.5
集合住宅	11.1	9.5	8.2	6.0	6.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
一戸建	42.8	42.4	42.2	42.2	42.2
集合住宅	57.2	57.6	57.8	57.8	57.8

資料：芦屋市水道部、芦屋市建設部住宅課 各年7月現在

グラフ 38：水道メータの使用状況の推移

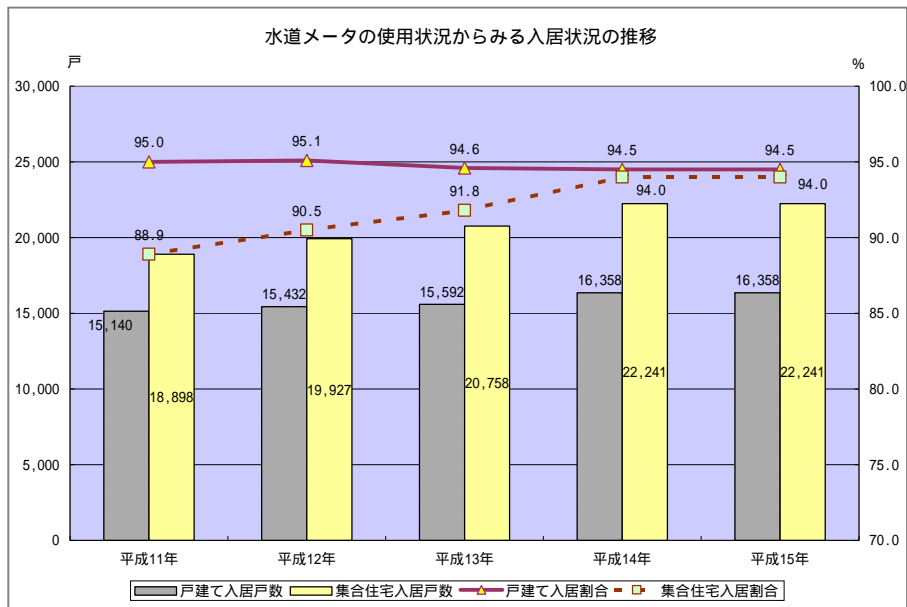
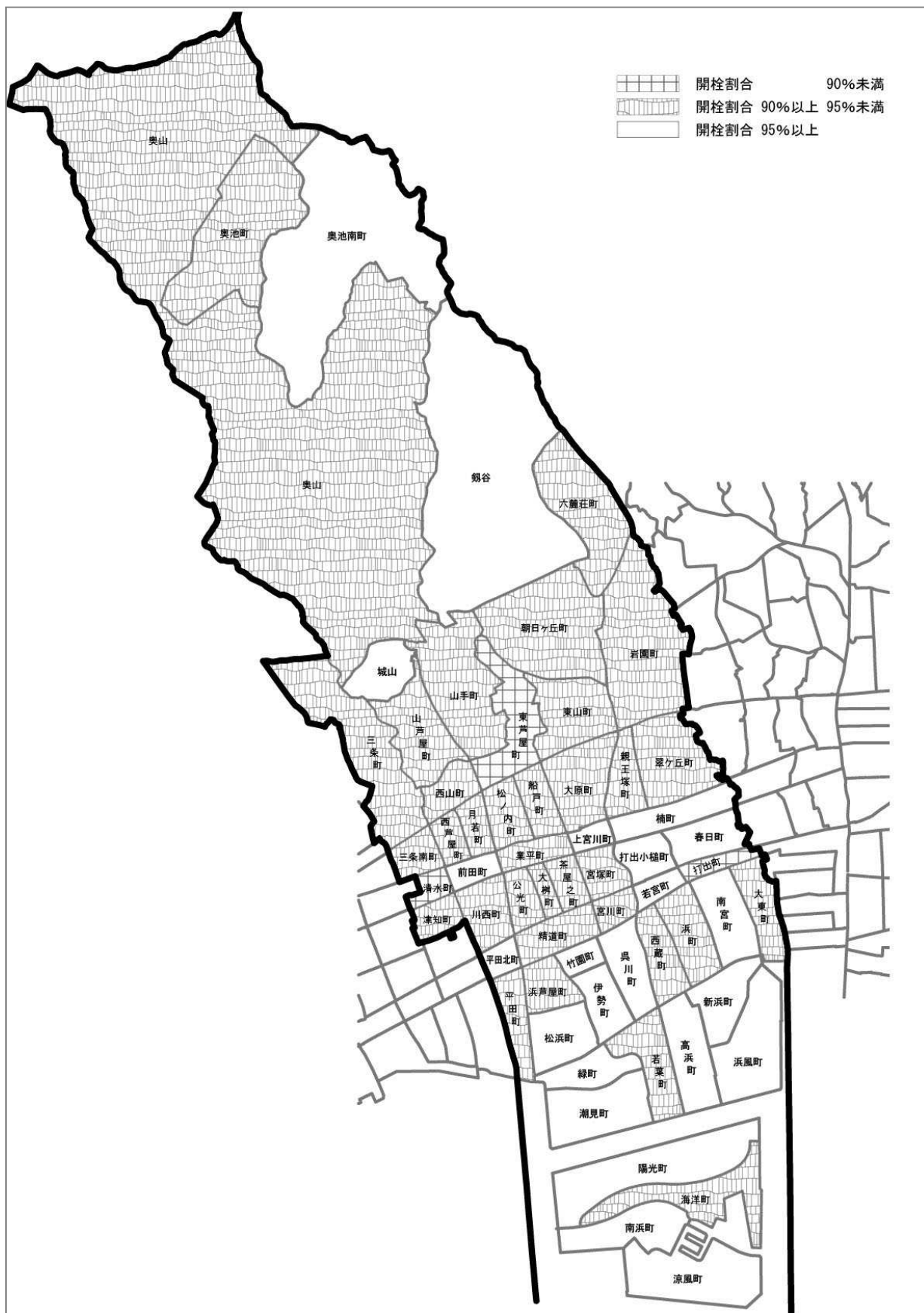


図 6：町別水道メータの開栓割合（平成 15 年 7 月）



2 住宅の推移

表 22：水道メータの使用状況 - 町別開栓割合（平成 15 年） -

町名	戸数									町名
	開栓戸数			閉栓戸数			合計			
	戸建て	集合住宅	計	戸建て	集合住宅	計	戸建て	集合住宅	計	
奥山	13	184	197	0	13	13	13	197	210	奥山
奥池町	226	16	242	14	0	14	240	16	256	奥池町
奥池南町	318	-	318	13	-	13	331	-	331	奥池南町
六麓荘町	196	6	202	17	0	17	213	6	219	六麓荘町
朝日ヶ丘町	718	2,191	2,909	27	219	246	745	2,410	3,155	朝日ヶ丘町
山手町	393	202	595	34	5	39	427	207	634	山手町
山芦屋町	414	62	476	24	20	44	438	82	520	山芦屋町
岩園町	879	343	1,222	45	59	104	924	402	1,326	岩園町
東山町	461	621	1,082	35	46	81	496	667	1,163	東山町
東芦屋町	494	488	982	26	89	115	520	577	1,097	東芦屋町
西山町	392	208	600	30	9	39	422	217	639	西山町
三条町	558	276	834	36	11	47	594	287	881	三条町
翠ヶ丘町	621	1,211	1,832	37	67	104	658	1,278	1,936	翠ヶ丘町
親王塚町	360	296	656	29	20	49	389	316	705	親王塚町
大原町	605	575	1,180	52	34	86	657	609	1,266	大原町
船戸町	200	302	502	16	37	53	216	339	555	船戸町
松ノ内町	260	349	609	16	39	55	276	388	664	松ノ内町
月若町	203	66	269	12	8	20	215	74	289	月若町
西芦屋町	197	42	239	19	0	19	216	42	258	西芦屋町
三条南町	301	102	403	23	1	24	324	103	427	三条南町
楠町	243	873	1,116	11	21	32	254	894	1,148	楠町
上宮川町	19	220	239	1	4	5	20	224	244	上宮川町
業平町	147	412	559	2	37	39	149	449	598	業平町
前田町	120	18	138	2	0	2	122	18	140	前田町
清水町	168	79	247	17	23	40	185	102	287	清水町
春日町	362	425	787	27	13	40	389	438	827	春日町
打出小槌町	221	425	646	15	19	34	236	444	680	打出小槌町
宮塚町	356	312	668	18	21	39	374	333	707	宮塚町
茶屋之町	235	231	466	12	15	27	247	246	493	茶屋之町
大榎町	172	127	299	12	13	25	184	140	324	大榎町
公光町	152	85	237	15	3	18	167	88	255	公光町
川西町	306	290	596	14	27	41	320	317	637	川西町
津知町	271	146	417	7	21	28	278	167	445	津知町
打出町	138	64	202	19	10	29	157	74	231	打出町
南宮町	502	1,036	1,538	26	23	49	528	1,059	1,587	南宮町
若宮町	167	119	286	5	2	7	172	121	293	若宮町
宮川町	224	97	321	13	6	19	237	103	340	宮川町
竹園町	257	49	306	10	0	10	267	49	316	竹園町
精道町	213	181	394	10	33	43	223	214	437	精道町
浜芦屋町	333	131	464	27	8	35	360	139	499	浜芦屋町
平田北町	103	227	330	7	5	12	110	232	342	平田北町
大東町	319	1,345	1,664	9	70	79	328	1,415	1,743	大東町
浜町	535	475	1,010	25	30	55	560	505	1,065	浜町
西蔵町	442	431	873	24	41	65	466	472	938	西蔵町
呉川町	434	679	1,113	26	21	47	460	700	1,160	呉川町
伊勢町	323	398	721	17	11	28	340	409	749	伊勢町
松浜町	303	471	774	23	11	34	326	482	808	松浜町
平田町	195	202	397	14	14	28	209	216	425	平田町
新浜町	72	450	522	1	4	5	73	454	527	新浜町
浜風町	488	11	499	11	1	12	499	12	511	浜風町
高浜町	1	1,809	1,810	0	77	77	1	1,886	1,887	高浜町
若葉町	-	1,428	1,428	-	115	115	-	1,543	1,543	若葉町
緑町	221	456	677	5	8	13	226	464	690	緑町
潮見町	426	-	426	8	-	8	434	-	434	潮見町
陽光町	9	999	1,008	0	36	36	9	1,035	1,044	陽光町
海洋町	72	-	72	5	-	5	77	-	77	海洋町
総計	16,358	22,241	38,599	946	1,420	2,366	17,304	23,661	40,965	総計

資料：芦屋市水道部

各年7月現在

町名	割						合			町名
	開栓戸数			閉栓戸数			合計			
	戸建て	集合住宅	計	戸建て	集合住宅	計	戸建て	集合住宅	計	
奥山	100.0	93.4	93.8	0.0	6.6	6.2	6.2	93.8	100.0	奥山
奥池町	94.2	100.0	94.5	5.8	0.0	5.5	93.7	6.3	100.0	奥池町
奥池南町	96.1	-	96.1	3.9	-	3.9	100.0	-	100.0	奥池南町
六麓荘町	92.0	100.0	92.2	8.0	0.0	7.8	97.3	2.7	100.0	六麓荘町
朝日ヶ丘町	96.4	90.9	92.2	3.6	9.1	7.8	23.6	76.4	100.0	朝日ヶ丘町
山手町	92.0	97.6	93.8	8.0	2.4	6.2	67.4	32.6	100.0	山手町
山芦屋町	94.5	75.6	91.5	5.5	24.4	8.5	84.2	15.8	100.0	山芦屋町
岩園町	95.1	85.3	92.2	4.9	14.7	7.8	69.7	30.3	100.0	岩園町
東山町	92.9	93.1	93.0	7.1	6.9	7.0	42.6	57.4	100.0	東山町
東芦屋町	95.0	84.6	89.5	5.0	15.4	10.5	47.4	52.6	100.0	東芦屋町
西山町	92.9	95.9	93.9	7.1	4.1	6.1	66.0	34.0	100.0	西山町
三条町	93.9	96.2	94.7	6.1	3.8	5.3	67.4	32.6	100.0	三条町
翠ヶ丘町	94.4	94.8	94.6	5.6	5.2	5.4	34.0	66.0	100.0	翠ヶ丘町
親王塚町	92.5	93.7	93.0	7.5	6.3	7.0	55.2	44.8	100.0	親王塚町
大原町	92.1	94.4	93.2	7.9	5.6	6.8	51.9	48.1	100.0	大原町
船戸町	92.6	89.1	90.5	7.4	10.9	9.5	38.9	61.1	100.0	船戸町
松ノ内町	94.2	89.9	91.7	5.8	10.1	8.3	41.6	58.4	100.0	松ノ内町
月若町	94.4	89.2	93.1	5.6	10.8	6.9	74.4	25.6	100.0	月若町
西芦屋町	91.2	100.0	92.6	8.8	0.0	7.4	83.7	16.3	100.0	西芦屋町
三条南町	92.9	99.0	94.4	7.1	1.0	5.6	75.9	24.1	100.0	三条南町
楠町	95.7	97.7	97.2	4.3	2.3	2.8	22.1	77.9	100.0	楠町
上宮川町	95.0	98.2	98.0	5.0	1.8	2.0	8.2	91.8	100.0	上宮川町
業平町	98.7	91.8	93.5	1.3	8.2	6.5	24.9	75.1	100.0	業平町
前田町	98.4	100.0	98.6	1.6	0.0	1.4	87.1	12.9	100.0	前田町
清水町	90.8	77.5	86.1	9.2	22.5	13.9	64.5	35.5	100.0	清水町
春日町	93.1	97.0	95.2	6.9	3.0	4.8	47.0	53.0	100.0	春日町
打出小槌町	93.6	95.7	95.0	6.4	4.3	5.0	34.7	65.3	100.0	打出小槌町
宮塚町	95.2	93.7	94.5	4.8	6.3	5.5	52.9	47.1	100.0	宮塚町
茶屋之町	95.1	93.9	94.5	4.9	6.1	5.5	50.1	49.9	100.0	茶屋之町
大榭町	93.5	90.7	92.3	6.5	9.3	7.7	56.8	43.2	100.0	大榭町
公光町	91.0	96.6	92.9	9.0	3.4	7.1	65.5	34.5	100.0	公光町
川西町	95.6	91.5	93.6	4.4	8.5	6.4	50.2	49.8	100.0	川西町
津知町	97.5	87.4	93.7	2.5	12.6	6.3	62.5	37.5	100.0	津知町
打出町	87.9	86.5	87.4	12.1	13.5	12.6	68.0	32.0	100.0	打出町
南宮町	95.1	97.8	96.9	4.9	2.2	3.1	33.3	66.7	100.0	南宮町
若宮町	97.1	98.3	97.6	2.9	1.7	2.4	58.7	41.3	100.0	若宮町
宮川町	94.5	94.2	94.4	5.5	5.8	5.6	69.7	30.3	100.0	宮川町
竹園町	96.3	100.0	96.8	3.7	0.0	3.2	84.5	15.5	100.0	竹園町
精道町	95.5	84.6	90.2	4.5	15.4	9.8	51.0	49.0	100.0	精道町
浜芦屋町	92.5	94.2	93.0	7.5	5.8	7.0	72.1	27.9	100.0	浜芦屋町
平田北町	93.6	97.8	96.5	6.4	2.2	3.5	32.2	67.8	100.0	平田北町
大東町	97.3	95.1	95.5	2.7	4.9	4.5	18.8	81.2	100.0	大東町
浜町	95.5	94.1	94.8	4.5	5.9	5.2	52.6	47.4	100.0	浜町
西蔵町	94.8	91.3	93.1	5.2	8.7	6.9	49.7	50.3	100.0	西蔵町
呉川町	94.3	97.0	95.9	5.7	3.0	4.1	39.7	60.3	100.0	呉川町
伊勢町	95.0	97.3	96.3	5.0	2.7	3.7	45.4	54.6	100.0	伊勢町
松浜町	92.9	97.7	95.8	7.1	2.3	4.2	40.3	59.7	100.0	松浜町
平田町	93.3	93.5	93.4	6.7	6.5	6.6	49.2	50.8	100.0	平田町
新浜町	98.6	99.1	99.1	1.4	0.9	0.9	13.9	86.1	100.0	新浜町
浜風町	97.8	91.7	97.7	2.2	8.3	2.3	97.7	2.3	100.0	浜風町
高浜町	100.0	95.9	95.9	0.0	4.1	4.1	0.1	99.9	100.0	高浜町
若葉町	-	92.5	92.5	-	7.5	7.5	-	100.0	100.0	若葉町
緑町	97.8	98.3	98.1	2.2	1.7	1.9	32.8	67.2	100.0	緑町
潮見町	98.2	-	98.2	1.8	-	1.8	100.0	-	100.0	潮見町
陽光町	100.0	96.5	96.6	0.0	3.5	3.4	0.9	99.1	100.0	陽光町
海洋町	93.5	-	93.5	6.5	-	6.5	100.0	-	100.0	海洋町
総計	94.5	94.0	94.2	5.5	6.0	5.8	42.2	57.8	100.0	総計

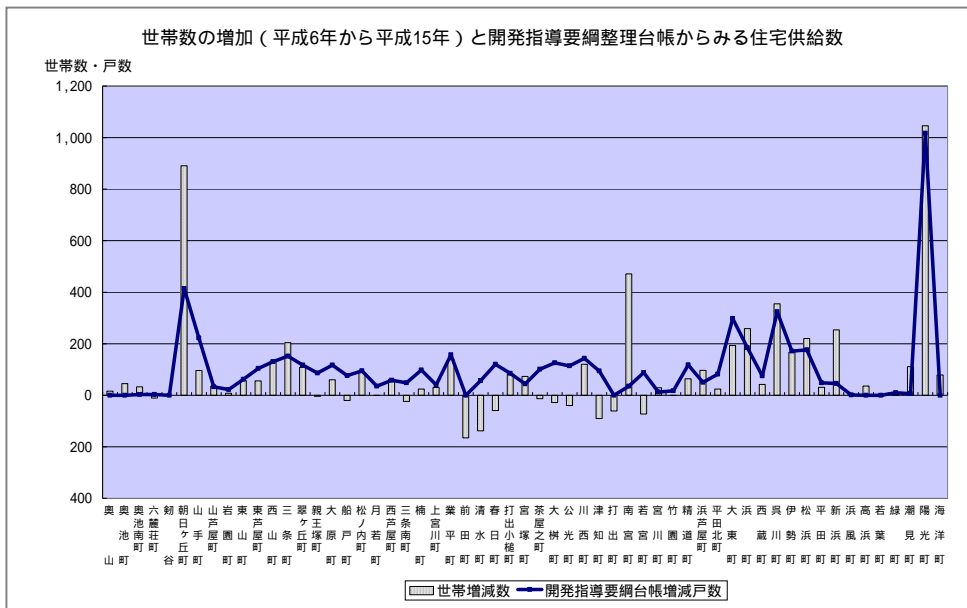
2 住宅の推移

(5) 人口と住宅供給の推移（住民基本台帳と外国人登録による）

平成6年（1994年）から平成15年（2003年）までの人口の増減と住宅供給数との関係を見た。

おおよその目安として開発指導要綱整理台帳で承認された（集合住宅，長屋住宅，宅地分割，宅地造成）住宅戸数の増減を集計し，人口の増減と比較してみた。

グラフ 39：世帯数の推移（平成6年から平成15年）と開発指導要綱整理台帳からみる住宅の供給数



住宅戸数が増加した町では，世帯数も増加していると見れるが，船戸町，三条南町，清水町，春日町，茶屋之町，大榎町，公光町，津知町，若宮町では住宅戸数が増加したにもかかわらず世帯数が減少している。

南宮町は世帯数は大きく増加しているが住宅戸数が大きく増加していない。これは集合住宅（240戸）の同規模での建替えが行われたため，住宅戸数の増減だけではわからないが，建替えで新しい住宅供給が行われたことは人口増加の要因のひとつとして考えることができる。

< 開発指導要綱整理台帳について >

開発指導要綱整理台帳とは，芦屋市住みよいまちづくり条例に基づき，宅地開発事業者や建築主が本市に届出を行い，協定を締結したもののうち，住宅を供給するものの戸数を集計して参考にした。

既存戸数と新たに開発する開発戸数の差を新たな住宅の供給数の目安としてみた。

表 23：開発指導要綱整理台帳からみる住宅の供給数（住民基本台帳と外国人登録者世帯数の推移と比較）

町名	住民基本台帳 ・外国人登録者 人口の増減 (平成6～15年度)(人)	住民基本台帳 ・外国人登録者 世帯数の増減 (平成6～15年度)(世帯数)	開発指導要綱整理台帳協定締結 住宅戸数(平成7～13年度合計)(戸)			町名
			開発戸数	既存戸数	増減	
奥山	2	16	-	-	-	奥山
奥池町	80	45	-	-	-	奥池町
奥池南町	14	33	3	0	3	奥池南町
六麓荘町	47	11	4	1	3	六麓荘町
剣谷	0	0	-	-	-	剣谷
朝日ヶ丘町	1,493	891	731	317	414	朝日ヶ丘町
山手町	192	96	225	3	222	山手町
山芦屋町	13	35	48	15	33	山芦屋町
岩園町	226	8	105	83	22	岩園町
東山町	103	57	87	25	62	東山町
東芦屋町	110	56	109	5	104	東芦屋町
西山町	162	132	172	42	130	西山町
三条町	412	204	227	75	152	三条町
翠ヶ丘町	58	108	274	157	117	翠ヶ丘町
親王塚町	15	4	149	63	86	親王塚町
大原町	4	60	250	133	117	大原町
船戸町	137	20	98	21	76	船戸町
松ノ内町	79	88	111	16	95	松ノ内町
月若町	5	1	69	34	35	月若町
西芦屋町	104	62	68	10	58	西芦屋町
三条南町	77	24	73	25	48	三条南町
楠町	152	24	343	245	98	楠町
上宮川町	41	30	44	4	40	上宮川町
業平町	223	138	242	85	157	業平町
前田町	310	165	-	-	-	前田町
清水町	342	138	59	2	57	清水町
春日町	270	59	319	199	120	春日町
打出小槌町	92	83	223	138	85	打出小槌町
宮塚町	47	73	94	50	44	宮塚町
茶屋之町	108	13	155	54	101	茶屋之町
大榭町	195	28	142	16	126	大榭町
公光町	79	40	140	26	114	公光町
川西町	306	120	172	29	143	川西町
津知町	229	90	119	25	94	津知町
打出町	173	61	-	-	-	打出町
南宮町	1,075	471	400	365	35	南宮町
若宮町	222	73	88	0	88	若宮町
宮川町	3	29	14	2	12	宮川町
竹園町	17	1	23	6	17	竹園町
精道町	83	64	142	24	118	精道町
浜芦屋町	184	97	77	27	50	浜芦屋町
平田北町	79	24	172	90	82	平田北町
大東町	168	193	829	531	298	大東町
浜町	369	259	270	86	184	浜町
西蔵町	43	42	125	50	75	西蔵町
呉川町	698	355	339	15	324	呉川町
伊勢町	373	167	178	7	171	伊勢町
松浜町	448	220	201	25	176	松浜町
平田町	13	31	51	3	48	平田町
新浜町	657	254	46	0	46	新浜町
浜風町	230	7	1	0	1	浜風町
高浜町	958	36	-	-	-	高浜町
若葉町	853	4	-	-	-	若葉町
緑町	269	10	10	0	10	緑町
潮見町	120	111	6	0	6	潮見町
陽光町	2,013	1,046	1,017	0	1,017	陽光町
海洋町	240	79	-	-	-	海洋町
総計	3,941	5,122	8,844	3,129	5,714	総計

資料：芦屋市生活環境部市民課，芦屋市建設部開発指導課

3 暮らし向きの推移

3 暮らし向きの推移

(1) 個人市民税の課税状況から見る所得の推移

個人の所得状況について見るため、毎年1月1日現在市内に居住している個人に前年の所得に対して賦課される個人市民税の納税義務者数と所得金額の推移について表した。

昭和63年度(1988年度)35,068人ではあった納税義務者数は、平成5年度(1993年度)には37,208人まで増加したが、平成7年度(1995年度)は阪神・淡路大震災による減免や、雑損控除等で27,782人に落ち込んだが、その後徐々に増加し、平成14年度(2002年度)は37,014人となり、ほぼ震災直前の納税義務者数と同程度まで回復した。

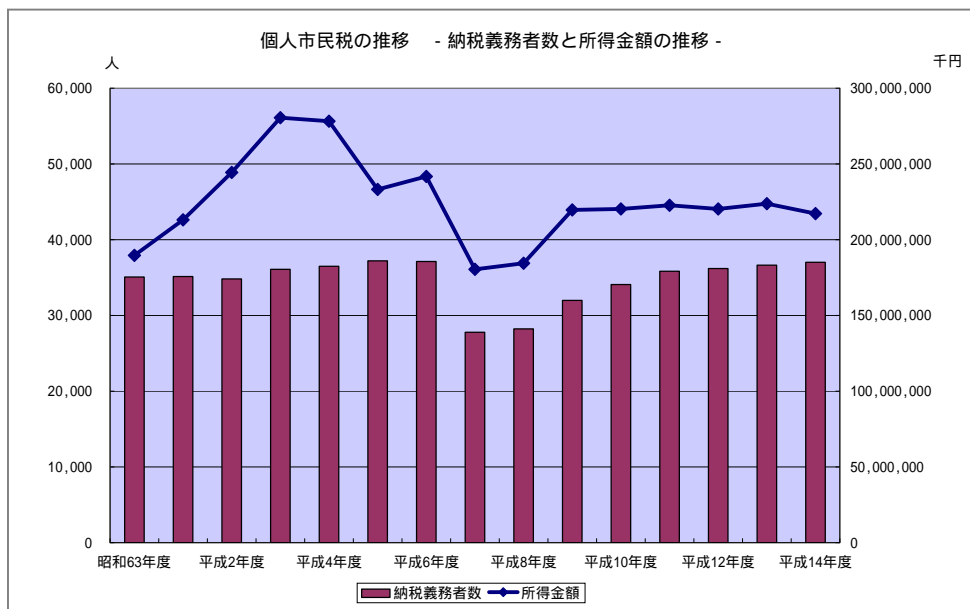
一方、納税義務者全体の所得金額は昭和63年度(1988年度)が約1900億円であったのが平成3年度(1991年度)は約2,800億円まで伸び、その後バブル経済の崩壊とともに減少し、震災直前の平成6年度(1994年度)では2,400億円になったが、震災の打撃を受けて平成7年度(1995年度)は約1,800億円まで落ち込んだ。その後2,200億円前後まで回復したが、納税義務者数ほど数字は回復していない。

表 24：個人市民税の推移 - 所得者の種類別所得金額 -

区 分		昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
納税義務者数(人)							
合計		35,068	35,128	34,821	36,083	36,485	37,208
給与所得		30,178	28,422	28,033	29,234	30,059	30,859
営業所得 + その他事業所得		2,682	2,692	2,640	2,614	2,511	2,441
その他所得		1,535	3,268	3,168	3,393	3,228	3,561
譲渡所得		673	746	980	842	687	347
納税義務者構成比(%)							
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与所得		86.0	80.9	80.5	81.0	82.4	82.9
営業所得 + その他事業所得		7.7	7.7	7.6	7.3	6.9	6.6
その他所得		4.4	9.3	9.1	9.4	8.8	9.6
譲渡所得		1.9	2.1	2.8	2.3	1.9	0.9
所得金額(千円)							
合計		189,689,872	213,106,417	244,357,000	280,522,484	278,240,217	233,243,433
給与所得		139,436,515	141,103,521	147,228,035	160,757,380	170,657,397	179,275,828
営業所得 + その他事業所得		15,523,881	17,235,081	16,246,539	16,888,188	15,407,217	16,049,897
その他所得		12,053,220	16,137,545	18,367,248	15,828,693	16,154,356	17,447,582
譲渡所得		22,676,256	38,630,270	62,515,178	87,048,223	76,021,247	20,470,126
所得金額構成比(%)							
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与所得		73.5	66.2	60.3	57.3	61.4	76.9
営業所得 + その他事業所得		8.2	8.1	6.6	6.1	5.5	6.8
その他所得		6.4	7.6	7.5	5.6	5.8	7.5
譲渡所得		11.9	18.1	25.6	31.0	27.3	8.8

資料：芦屋市『芦屋市統計書』(各年度7月1日現在、平成7年度は9月1日現在)

グラフ 40：個人市民税 - 納税義務者数と所得金額の推移 -



平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
37,117	27,782	28,227	31,989	34,089	35,836	36,185	36,635	37,014
30,529	24,037	23,959	26,463	27,989	28,875	28,946	29,184	29,653
2,309	1,168	1,502	1,826	1,929	1,951	1,946	1,978	1,895
3,797	2,210	2,283	2,962	3,577	4,495	4,790	4,922	5,051
482	367	483	738	594	515	503	551	415
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
82.3	86.5	84.9	82.7	82.1	80.6	80.0	79.7	80.1
6.2	4.2	5.3	5.7	5.7	5.4	5.4	5.4	5.1
10.2	8.0	8.1	9.3	10.5	12.5	13.2	13.4	13.7
1.3	1.3	1.7	2.3	1.7	1.5	1.4	1.5	1.1
241,780,155	180,391,279	184,462,829	219,702,248	220,330,812	222,714,181	220,268,887	223,754,364	217,269,111
175,644,074	141,264,987	138,844,743	155,817,910	166,633,842	168,275,738	165,755,099	165,596,449	169,270,779
15,079,751	9,601,225	11,348,284	13,939,882	14,124,509	13,753,537	13,983,709	13,752,709	13,732,484
17,751,588	11,911,414	12,662,517	16,524,970	18,716,316	20,154,037	20,793,661	22,008,703	21,950,616
33,304,742	17,613,653	21,607,285	33,419,486	20,856,145	20,530,869	19,736,418	22,396,503	12,315,232
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
72.7	78.3	75.3	70.9	75.6	75.6	75.3	74.0	77.9
6.2	5.3	6.1	6.4	6.4	6.2	6.3	6.2	6.3
7.3	6.6	6.9	7.5	8.5	9.0	9.4	9.8	10.1
13.8	9.8	11.7	15.2	9.5	9.2	9.0	10.0	5.7

)

3 暮らし向きの推移

また、60ページの表24のうち、平成6年度（1994年度）と平成14年度（2002年度）の状況の差を、下記の表25で示した。

表25から平成6年度（1994年度）と平成14年度（2002年度）の差を見ると、納税義務者全体では103人減少しているが、給与所得者が876人減少し、その他所得者が1,254人増加している。また、所得金額でも給与所得が約63億円減少し、その他所得が約42億円増加している。なかでも譲渡所得金額の約210億円の減少が大きい。

表25：個人市民税の推移 - 所得者の種類別所得金額（平成6年度と平成14年度の差） -

区 分		平成6年度と平成14年度の差
納税義務者数（人）		
合計		103
給与所得		876
営業所得 + その他事業所得		414
その他所得		1,254
譲渡所得		67
納税義務者構成比（％）		
合計		-
給与所得		2.2
営業所得 + その他事業所得		1.1
その他所得		3.5
譲渡所得		0.2
所得金額（千円）		
合計		24,511,044
給与所得		6,373,295
営業所得 + その他事業所得		1,347,267
その他所得		4,199,028
譲渡所得		20,989,510
所得金額構成比（％）		
合計		-
給与所得		5.2
営業所得 + その他事業所得		0.1
その他所得		2.8
譲渡所得		8.1

資料：芦屋市『芦屋市統計書』

表26：個人市民税 - 負担状況の推移 -

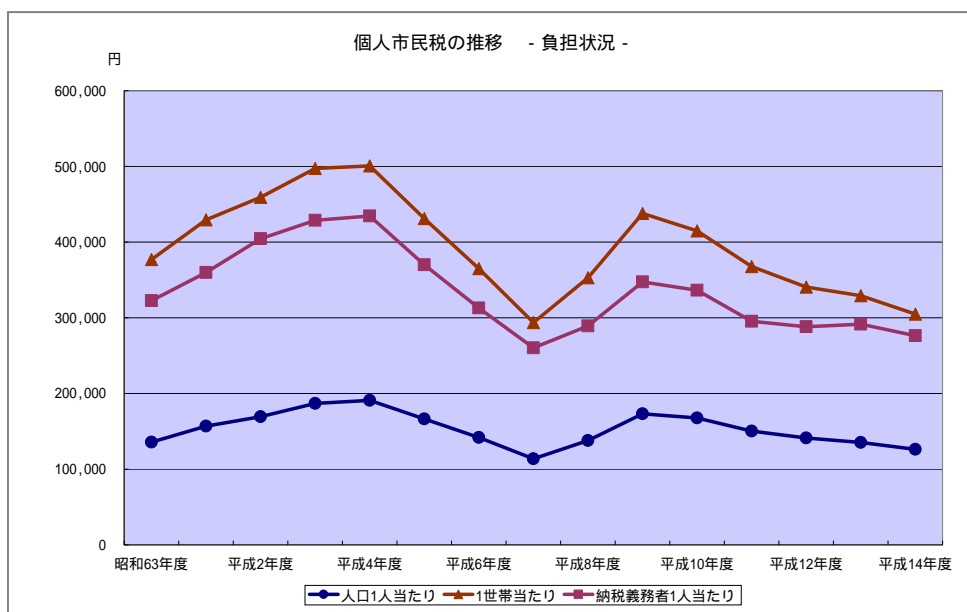
区 分		昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
個人市民税負担状況		(円)					
人口1人当たり		135,802	156,815	169,407	186,945	190,923	166,455
1世帯当たり		376,936	429,430	459,216	497,181	500,693	431,077
納税義務者1人当たり		322,590	359,825	404,393	428,729	434,425	369,949
人口	(人)	88,623	87,841	87,879	87,567	87,541	87,127
世帯数	(世帯)	31,929	32,077	32,419	32,926	33,381	33,643
納税義務者数	(人)	37,308	38,282	36,814	38,183	38,473	39,202
市民税調定額	(千円)	12,035,178	13,774,817	14,887,323	16,370,170	16,713,624	14,502,729
特別徴収	納税義務者1人当たり (円)	293,684	304,103	345,789	341,998	358,037	365,527
普通徴収	納税義務者1人当たり (円)	365,747	449,490	491,712	558,510	561,112	373,127

資料：芦屋市『事務報告書』（各年度末現在）

次に、個人市民税について、人口1人当たりの額、1世帯当たりの額、納税義務者1人当たりの額の推移を表した。

平成4年度（1992年度）の増加をピークに、その後激減していたが、平成7年度の震災で減少傾向の底をついた。その後、平成9年度（1997年度）まで回復していたが、現在まで再度減少している。

グラフ 41：個人市民税 - 負担状況の推移 -



平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
141,932	113,785	137,804	173,175	167,668	150,222	141,133	135,322	126,137
364,967	293,689	352,752	437,932	414,773	367,556	340,553	329,235	304,915
312,915	260,323	289,297	347,398	336,281	295,247	288,187	291,483	276,246
86,644	75,032	74,562	74,922	76,212	77,775	79,424	85,378	87,790
33,695	29,070	29,128	29,627	30,808	31,787	32,915	35,092	36,317
39,300	32,796	35,517	37,348	37,999	39,572	38,896	39,637	40,086
12,297,561	8,537,537	10,274,946	12,974,611	12,778,324	11,683,517	11,209,314	11,553,524	11,073,603
309,710	230,522	258,421	327,126	331,028	307,232	290,705	292,594	293,582
316,078	298,958	316,876	344,142	336,330	270,319	277,453	274,083	245,522

3 暮らし向きの推移

(2) 生活保護の推移

生活保護の推移について表した。

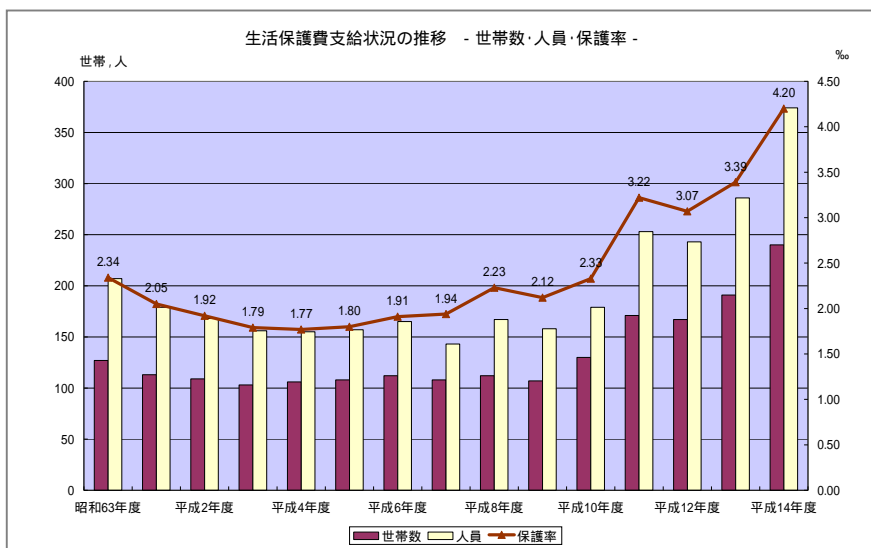
生活保護世帯数，人員の推移は，昭和 63 年度（1988 年度）から減少したが，平成 10 年度（1998 年度）から急激に増加し，平成 14 年度（2002 年度）では，240 世帯，374 人，人口 1,000 人当たりの保護率は 4.20 となり，昭和 63 年度（1988 年度）の約 2 倍にもなっている。

表 27：生活保護費支給状況の推移 - 世帯数・人員・保護率 -

区 分	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
保護状況						
世帯数(世帯)	127	113	109	103	106	108
人 員(人)	207	179	168	156	155	157
保護率(‰)	2.34	2.05	1.92	1.79	1.77	1.80
生活保護費支給人員(人)						
合計	6,256	6,315	5,788	5,432	4,833	4,817
生活扶助	2,221	2,242	2,056	1,932	1,746	1,731
住宅扶助	2,001	2,018	1,836	1,670	1,480	1,519
教育扶助	290	263	229	188	162	127
医療扶助	1,679	1,723	1,616	1,589	1,382	1,397
出産補助				1		
葬祭扶助		4	3	4		2
生業補助	17	17				
施設事務費	48	48	48	48	63	41
介護扶助	-	-	-	-	-	-
支給割合(%)						
合計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
生活扶助	35.50	35.50	35.52	35.57	36.13	35.94
住宅扶助	31.99	31.96	31.72	30.74	30.62	31.53
教育扶助	4.64	4.16	3.96	3.46	3.35	2.64
医療扶助	26.84	27.28	27.92	29.25	28.60	29.00
出産補助	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00
葬祭扶助	0.00	0.06	0.05	0.07	0.00	0.04
生業補助	0.27	0.27	0.00	0.00	0.00	0.00
施設事務費	0.77	0.76	0.83	0.88	1.30	0.85
介護扶助	-	-	-	-	-	-

資料：芦屋市『事務報告書』

グラフ 42：生活保護費支給状況の推移 - 世帯数・人員・保護率 -

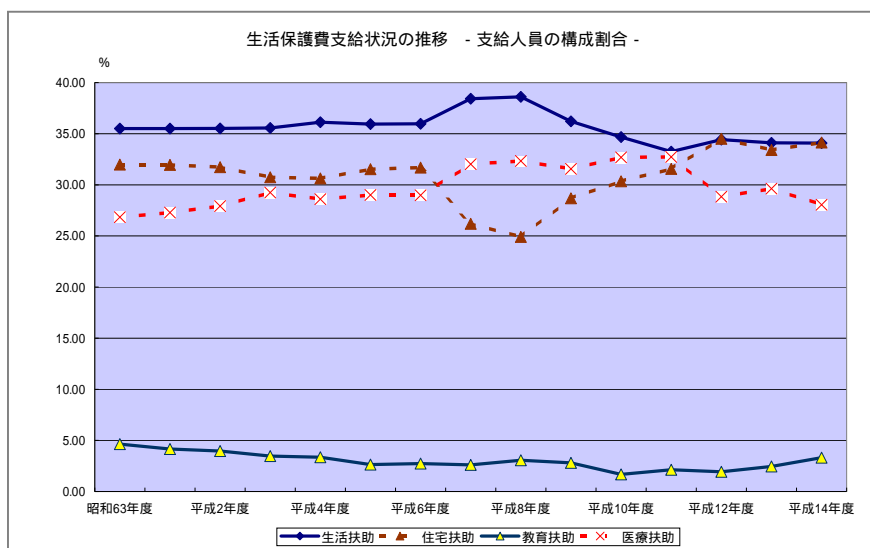


生活保護費の支給割合を見ると，平成7年度（1995年度）から平成10年度（1998年度）は住宅扶助が少なくなっているが，グラフ43で見ると，平成11年度（1999年度）以降増加し，平成14年度（2002年度）では生活扶助とほぼ同じ支給割合になっている。

住宅扶助が少なくなっている時期が，住宅使用料の負担がない仮設住宅の設置時期（48ページの表18参照）と重なっており，仮設住宅後に公営住宅に入居したものの住宅使用料の負担が必要となったためと推測される。

平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
112	108	112	107	130	171	167	191	240
165	153	167	158	179	253	243	286	374
1.91	1.94	2.23	2.12	2.33	3.22	3.07	3.39	4.20
5,079	4,250	4,642	4,557	5,260	6,903	8,881	9,670	10,858
1,827	1,633	1,792	1,650	1,824	2,295	2,975	3,207	3,595
1,609	1,113	1,156	1,307	1,596	2,178	2,982	3,141	3,601
139	111	142	128	88	147	167	230	350
1,472	1,361	1,501	1,438	1,719	2,259	2,493	2,786	2,958
			1				1	1
6	2	1	5	3		2	3	6
	12	26	4					
26	18	24	24	30	24	25	36	36
-	-	-	-	-	-	237	266	311
100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
35.97	38.42	38.60	36.21	34.68	33.25	34.42	34.10	34.09
31.68	26.19	24.90	28.68	30.34	31.55	34.50	33.40	34.14
2.74	2.61	3.06	2.81	1.67	2.13	1.93	2.45	3.32
28.98	32.02	32.34	31.56	32.68	32.72	28.84	29.63	28.05
0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01
0.12	0.05	0.02	0.11	0.06	0.00	0.02	0.03	0.06
0.00	0.28	0.56	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.51	0.42	0.52	0.53	0.57	0.35	0.29	0.38	0.34
-	-	-	-	-	-	2.74	2.83	2.95

グラフ43：生活保護費支給状況の推移 - 支給人員の構成割合 -



3 暮らし向きの推移

(参考) 法律相談の推移

本市で行っている法律相談の相談内容の種類ごとの推移を表した。

下記のグラフ 44 で見られるとおり、震災直後の平成 6 年度（1994 年度）、平成 7 年度（1995 年度）は、土地・家屋の相談が急増したが、平成 8 年度（1996 年度）以降は震災前の状況に戻っている。

グラフ 44：法律相談内訳の推移

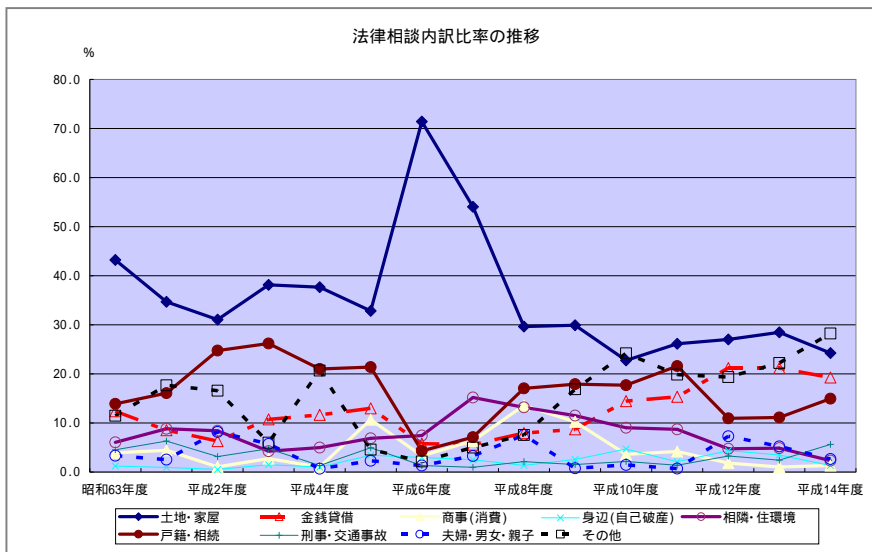


表 28：法律相談の推移

区分	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
法律相談(件)						
相談日数(日)	48	48	49	49	49	48
法律相談件数	331	317	380	401	300	262
土地・家屋	143	110	118	153	113	86
金銭貸借	41	27	24	43	35	34
商事(消費)	13	14	4	11	3	28
身辺(自己破産)	4	3	2	6	3	9
相隣・住環境	20	28	32	17	15	18
戸籍・相続	46	51	94	105	63	56
刑事・交通事故	15	20	12	19	4	13
夫婦・男女・親子	11	8	31	23	2	6
その他	38	56	63	24	62	12
法律相談内訳比率(%)						
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
土地・家屋	43.3	34.8	31.0	38.3	37.6	32.7
金銭貸借	12.4	8.5	6.3	10.7	11.7	13.0
商事(消費)	3.9	4.4	1.1	2.7	1.0	10.7
身辺(自己破産)	1.2	0.9	0.5	1.5	1.0	3.4
相隣・住環境	6.0	8.8	8.4	4.2	5.0	6.9
戸籍・相続	13.9	16.1	24.7	26.2	21.0	21.4
刑事・交通事故	4.5	6.3	3.2	4.7	1.3	5.0
夫婦・男女・親子	3.3	2.5	8.2	5.7	0.7	2.3
その他	11.5	17.7	16.6	6.0	20.7	4.6

資料：芦屋市『事務報告書』

平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
71	98	99	99	50	49	47	49	51
605	520	516	391	277	287	274	288	301
432	281	153	117	63	75	74	82	73
35	29	41	34	40	44	58	61	58
20	33	70	40	10	12	5	3	4
18	13	7	10	13	6	12	10	4
45	79	68	45	25	25	13	14	7
26	37	88	70	49	62	30	32	45
8	5	11	6	6	4	9	7	17
8	17	39	3	4	2	20	15	8
13	26	39	66	67	57	53	64	85
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
71.5	54.0	29.6	29.9	22.8	26.1	27.1	28.5	24.3
5.8	5.6	7.9	8.7	14.4	15.3	21.2	21.2	19.3
3.3	6.3	13.5	10.2	3.6	4.2	1.8	1.0	1.3
3.0	2.5	1.4	2.6	4.7	2.1	4.4	3.5	1.3
7.4	15.2	13.2	11.5	9.0	8.7	4.7	4.9	2.3
4.3	7.1	17.1	17.9	17.7	21.6	10.9	11.1	15.0
1.3	1.0	2.1	1.5	2.2	1.4	3.3	2.4	5.6
1.3	3.3	7.6	0.8	1.4	0.7	7.3	5.2	2.7
2.1	5.0	7.6	16.9	24.2	19.9	19.3	22.2	28.2

3 暮らし向きの推移

(参考) 就学奨励費・芦屋市奨学金の推移

本市が行っている就学奨励費の支給と芦屋市奨学金の推移について表した。

就学奨励費の推移を見ると、平成6年度(1994年)から平成8年度(1996年)にかけて、支出人員が突出して多くなっているが、平成9年度(1997年度)以降は、平成5年度(1993年度)以前よりも増加しているが、人員数は落ち着いてきている。

グラフ 45：就学援助費受給人員の推移

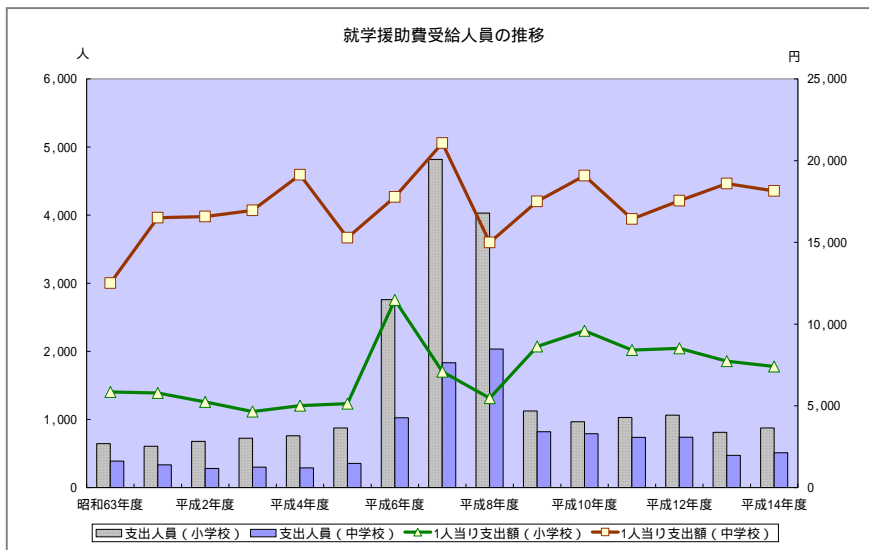


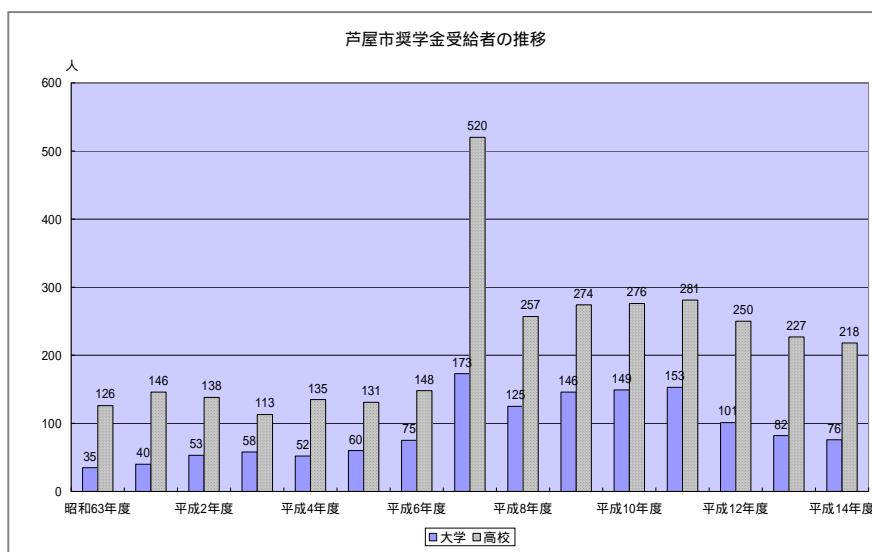
表 29：就学奨励費・芦屋市奨学金の推移

区 分	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
就学奨励費						
小学校						
支出人員(人)	644	606	678	725	761	875
支出額(1人当り)(円)	5,850	5,786	5,244	4,654	5,013	5,138
中学校						
支出人員(人)	389	334	282	301	289	356
支出額(1人当り)(円)	12,508	16,512	16,581	16,961	19,131	15,288
芦屋市奨学金受給者(人)						
合 計	161	186	191	171	187	191
一般給付	138	155	173	158	179	183
特別給付	23	31	18	13	8	8
大 学	35	40	53	58	52	60
一般給付	35	40	53	58	52	60
高 校 計	126	146	138	113	135	131
一般給付	103	115	120	100	127	123
特別給付	23	31	18	13	8	8
公立高校	104	115	112	93	113	101
一般給付	83	88	96	81	105	94
特別給付	21	27	16	12	8	7
私立高校	22	31	26	20	22	30
一般給付	20	27	24	19	22	29
特別給付	2	4	2	1	0	1

資料：芦屋市『事務報告書』

下記のグラフ 46 から芦屋市奨学金受給者の推移を見ると、平成 7 年度（1995 年度）の高校生への給付が突出している。平成 8 年度（1996 年度）以降は大学生も高校生も、平成 6 年度（1994 年度）以前に比べ、2 倍近く増加しているが、近年、減少傾向にある。

グラフ 46：芦屋市奨学金受給者の推移



平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
2,759	4,819	4,029	1,125	967	1,030	1,063	812	876
11,479	7,088	5,471	8,632	9,593	8,412	8,518	7,732	7,405
1,026	1,834	2,033	820	790	738	740	473	512
17,780	21,075	14,992	17,507	19,084	16,433	17,551	18,597	18,144
223	693	382	420	425	434	351	309	294
214	682	373	413	415	422	336	299	282
9	11	9	7	10	12	15	10	12
75	173	125	146	149	153	101	82	76
75	173	125	146	149	153	101	82	76
148	520	257	274	276	281	250	227	218
139	509	248	267	266	269	235	217	206
9	11	9	7	10	12	15	10	12
109	379	188	195	202	216	202	171	160
101	368	179	188	192	205	189	163	151
8	11	9	7	10	11	13	8	9
39	141	69	79	74	65	48	56	58
38	141	69	79	74	64	46	54	55
1	0	0	0	0	1	2	2	3

3 暮らし向きの推移

(参考) 国民健康保険加入者の推移

国民健康保険加入状況の推移を表した。

加入世帯数、被保険者数ともに平成10年度(1998年度)以降大幅に増加している。

グラフ 47：国民健康保険加入状況の推移 - 加入者・世帯 -

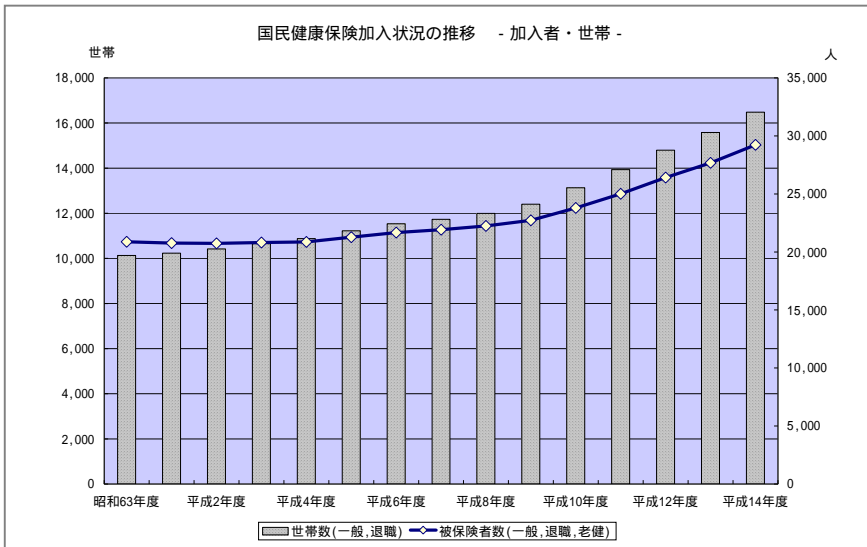
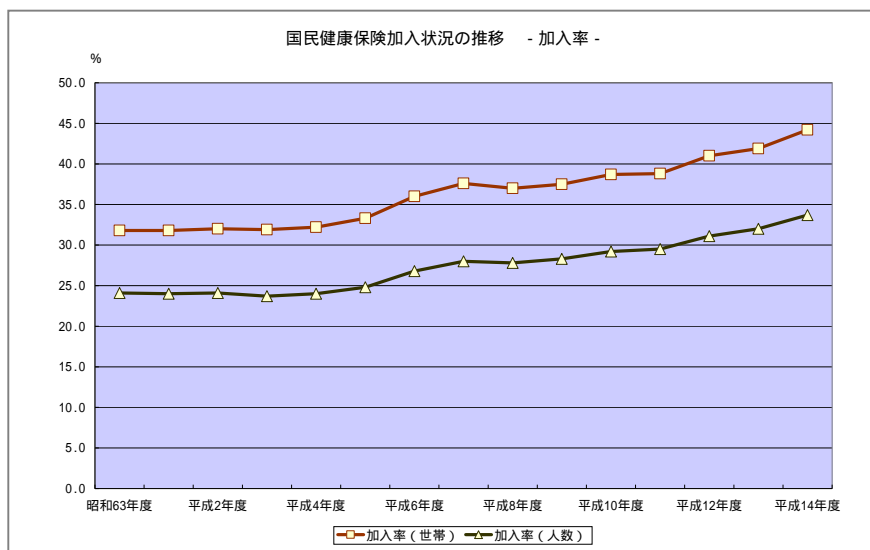


表 30：国民健康保険加入状況の推移

区分		昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
年間加入状況							
	世帯数(一般, 退職)(世帯)	10,130	10,231	10,414	10,651	10,875	11,224
	被保険者数(一般, 退職, 老健)(人)	20,870	20,758	20,737	20,810	20,859	21,272
加入率(各年度3月31日現在)							
世帯数	全市(世帯)	32,001	32,259	32,753	33,590	34,094	34,209
	国保(世帯)	10,170	10,257	10,488	10,730	10,990	11,379
	加入率(%)	31.8	31.8	32.0	31.9	32.2	33.3
人数	全市(人)	86,420	86,076	86,280	87,550	87,357	86,845
	国保(人)	20,839	20,693	20,760	20,745	20,977	21,504
	加入率(%)	24.1	24.0	24.1	23.7	24.0	24.8

資料：芦屋市『事務報告書』

グラフ 48：国民健康保険加入状況の推移 - 加入率 -



平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
11,534	11,733	11,995	12,400	13,130	13,935	14,796	15,584	16,483
21,675	21,924	22,236	22,723	23,790	25,012	26,407	27,683	29,224
32,101	31,432	32,786	33,526	34,724	35,949	36,798	37,937	38,022
11,571	11,812	12,133	12,581	13,436	13,935	15,074	15,904	16,816
36.0	37.6	37.0	37.5	38.7	38.8	41.0	41.9	44.2
80,829	78,765	80,641	81,228	82,940	84,780	86,196	88,214	88,437
21,628	22,090	22,393	22,956	24,208	25,012	26,845	28,185	29,775
26.8	28.0	27.8	28.3	29.2	29.5	31.1	32.0	33.7

3 暮らし向きの推移

(参考) 全国消費実態調査からみる被災地の状況

全国消費実態調査は、総務省が5年ごとに全国すべての世帯のうち、一定の方法で選定された世帯を対象に、家計の収入及び支出ならびに住宅と土地の所有状況、主要耐久消費財の所有数量及び貯蓄・負債現在高を調査し、家計の構造を所得及び資産の観点から総合的に把握することを目的に行われる。その地域別統計表から、兵庫県、神戸市、尼崎市、西宮市、本市について、地域別1世帯当たり1か月間の収入と支出を下記の表31に表した。

なお、本市の集計世帯数は平成6年及び11年の調査で36世帯、平成元年では22世帯のため、参考資料とした。

表 31：全国消費実態調査 - 地域別1世帯当たり1か月間の収入と支出 -

区 分	兵庫県			神戸市		
	平成元年	平成6年	平成11年	平成元年	平成6年	平成11年
地域別1世帯当たりの年間収入と貯蓄・負債						
年間収入(千円)	6,780	7,955	7,552	6,687	7,698	6,988
エンゲル係数(%)	26.6	24.4	24.2	25.3	24.4	25.4
貯蓄現在高(千円)	10,330	15,221	15,521	10,951	17,059	12,539
負債現在高(千円)	3,541	4,864	5,860	3,443	5,911	6,046
うち住宅・土地のための負債	3,263	4,239	5,254	3,210	5,570	5,544
負債保有率(%)	56.8	52.8	49.4	54.9	56.9	52.2
うち住宅・土地のための負債	39.0	33.9	33.6	34.8	37.4	36.4
地域別1世帯当たり1か月間の支出(円)						
消費支出	321,248	361,329	342,061	327,744	362,249	308,333
食料	85,293	88,158	82,852	82,873	88,262	78,422
住居	18,136	21,089	23,876	23,738	24,564	23,780
光熱・水道	15,424	19,081	20,246	15,803	18,101	18,788
家具・家事用品	11,351	12,251	12,920	10,613	11,460	10,789
被服及び履物	23,720	21,659	17,143	26,301	24,329	16,224
保健医療	7,726	9,734	11,414	7,714	10,839	10,567
交通・通信	32,303	39,812	41,910	34,137	39,767	35,486
教育	19,884	21,857	17,788	19,013	21,697	17,383
教養娯楽	27,868	34,400	32,036	27,728	38,045	27,522
その他の消費支出	79,543	93,286	81,878	79,625	85,185	69,392
消費支出構成割合(%)						
合計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
食料	26.55	24.40	24.22	25.30	24.37	25.43
住居	5.65	5.84	6.98	7.24	6.78	7.71
光熱・水道	4.80	5.28	5.92	4.82	5.00	6.09
家具・家事用品	3.53	3.39	3.78	3.24	3.16	3.50
被服及び履物	7.38	5.99	5.01	8.03	6.72	5.26
保健医療	2.40	2.69	3.34	2.35	2.99	3.43
交通・通信	10.06	11.02	12.25	10.42	10.98	11.51
教育	6.19	6.05	5.20	5.80	5.99	5.64
教養娯楽	8.67	9.52	9.37	8.50	10.50	8.93
その他の消費支出	24.76	25.82	23.94	24.30	23.52	22.50

資料：総務省統計局『全国消費実態調査』(平成元年，平成6年，平成11年)

貯蓄現在高とは、郵便局、銀行、その他の金融機関への預貯金、生命保険・積立型損害保険の掛け金、株式・債券・投資信託・金銭信託等の有価証券(金融機関への貯蓄)と社内預金等の金融機関外への貯蓄の合計をいう。

負債現在高とは、郵便局、銀行、生命保険会社・住宅金融公庫などの金融機関からの借入金のほか、勤め先の会社・共済組合、親戚・知人からの借入金及び月賦・年賦の残高など金融機関外からの借入金の合計をいう。

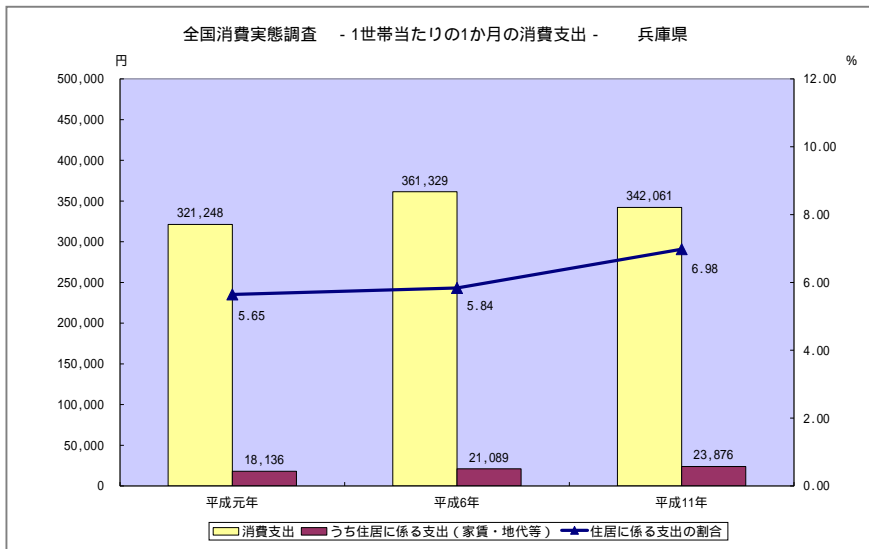
尼崎市			西宮市			芦屋市		
平成元年	平成6年	平成11年	平成元年	平成6年	平成11年	平成元年	平成6年	平成11年
6,667	7,344	6,918	7,324	8,603	7,580	7,226	9,159	8,945
28.7	24.1	24.6	26.7	24.0	23.9	28.2	24.7	20.9
10,257	12,504	14,609	11,450	16,211	14,511	12,030	24,502	23,269
3,226	2,598	5,882	4,046	4,698	8,122	7,891	9,693	5,995
2,968	2,223	5,359	3,494	4,123	7,628	7,553	8,776	5,397
51.9	38.7	42.3	59.4	56.1	52.4	71.9	58.8	63.9
35.5	19.1	28.4	34.9	29.2	38.2	57.8	50.0	36.1
312,731	378,307	324,782	332,932	371,327	378,400	357,591	376,242	428,770
89,713	91,233	80,022	89,045	89,158	90,314	100,674	93,106	89,626
15,996	28,301	33,984	23,133	33,382	34,852	7,412	28,203	30,724
14,455	18,524	19,638	15,447	17,488	19,060	16,382	17,763	21,619
9,374	12,244	10,327	12,855	13,259	13,468	12,381	12,193	18,127
25,127	16,736	14,332	25,134	20,988	19,601	27,910	28,868	25,410
7,363	9,432	9,496	7,317	8,581	15,327	13,010	8,905	11,802
28,445	45,309	37,924	26,488	35,818	47,499	38,749	51,653	60,958
21,384	35,871	19,272	20,893	21,942	21,920	28,062	20,754	14,706
26,081	28,448	32,780	32,886	43,057	41,528	39,552	39,851	61,685
74,795	92,210	67,007	79,732	87,653	74,833	73,460	74,946	94,113
100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
28.69	24.12	24.64	26.75	24.01	23.87	28.15	24.75	20.90
5.11	7.48	10.46	6.95	8.99	9.21	2.07	7.50	7.17
4.62	4.90	6.05	4.64	4.71	5.04	4.58	4.72	5.04
3.00	3.24	3.18	3.86	3.57	3.56	3.46	3.24	4.23
8.03	4.42	4.41	7.55	5.65	5.18	7.81	7.67	5.93
2.35	2.49	2.92	2.20	2.31	4.05	3.64	2.37	2.75
9.10	11.98	11.68	7.96	9.65	12.55	10.84	13.73	14.22
6.84	9.48	5.93	6.28	5.91	5.79	7.85	5.52	3.43
8.34	7.52	10.09	9.88	11.60	10.97	11.06	10.59	14.39
23.92	24.37	20.63	23.95	23.61	19.78	20.54	19.92	21.95

3 暮らし向きの推移

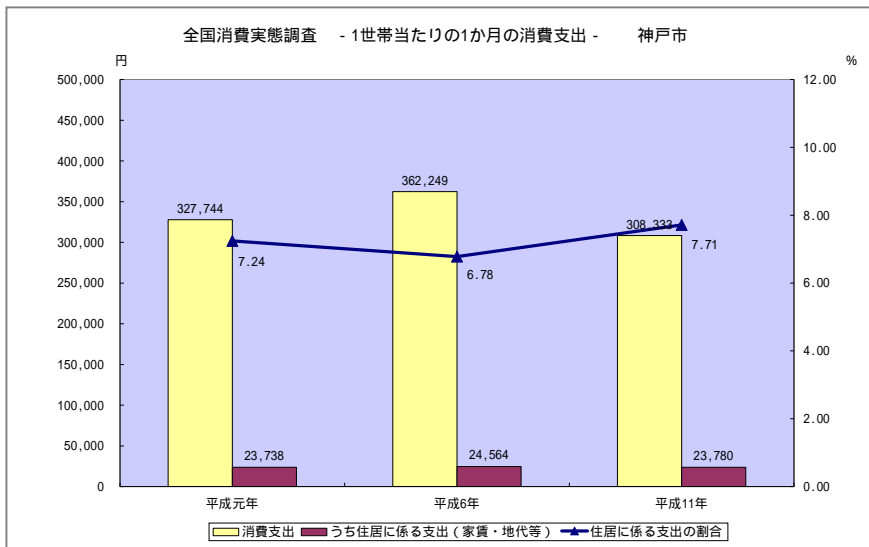
72, 73 ページの表 31 について, 1 世帯当たりの 1 か月の消費支出額, うち住居に係る支出額及び住居に係る支出の割合について, グラフ 49 からグラフ 53 に表した。

平成元年 (1989 年) から平成 11 年 (1999 年) の推移について比較すると, 本市は消費支出, うち住居に係る支出額ともに増加してきているが, 住居に係る支出の割合は平成 11 年 (1999 年) で減少していることが特徴として見られる。

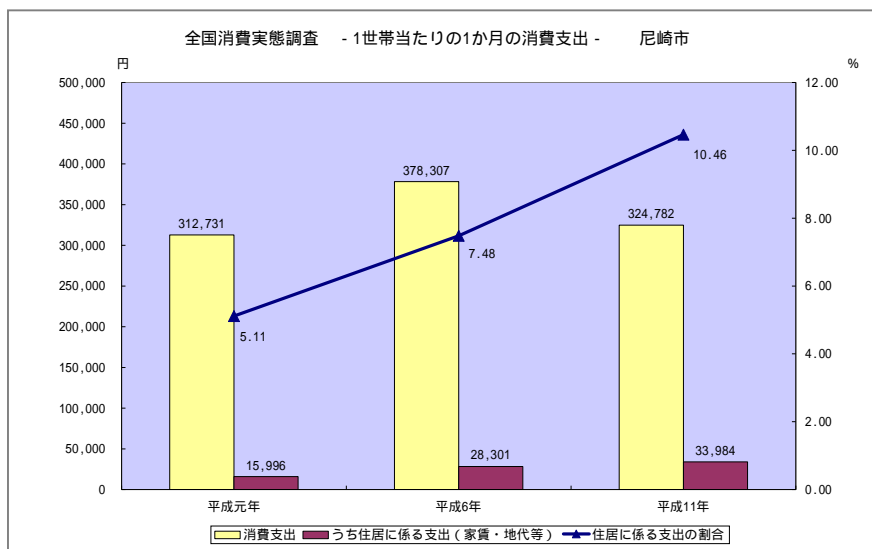
グラフ 49 : 全国消費実態調査 - 1 世帯当たりの 1 か月の消費支出 - 兵庫県



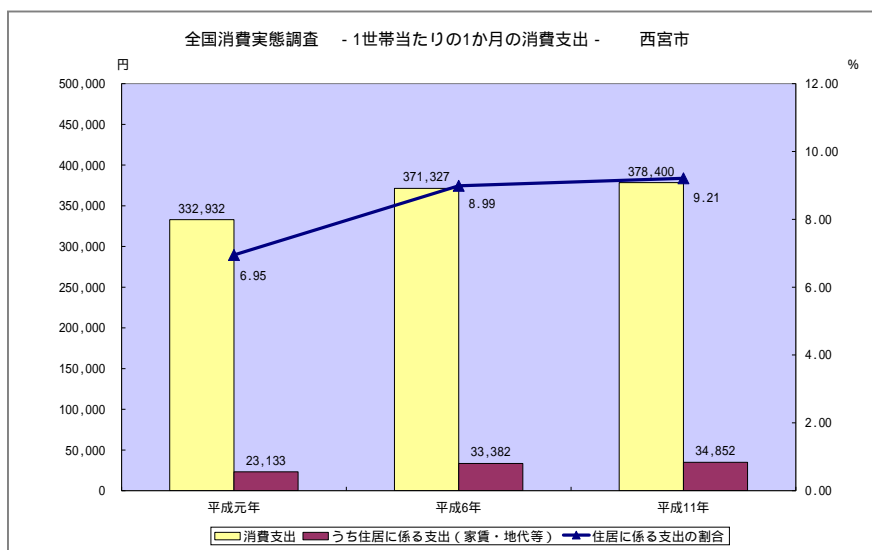
グラフ 50 : 全国消費実態調査 - 1 世帯当たりの 1 か月の消費支出 - 神戸市



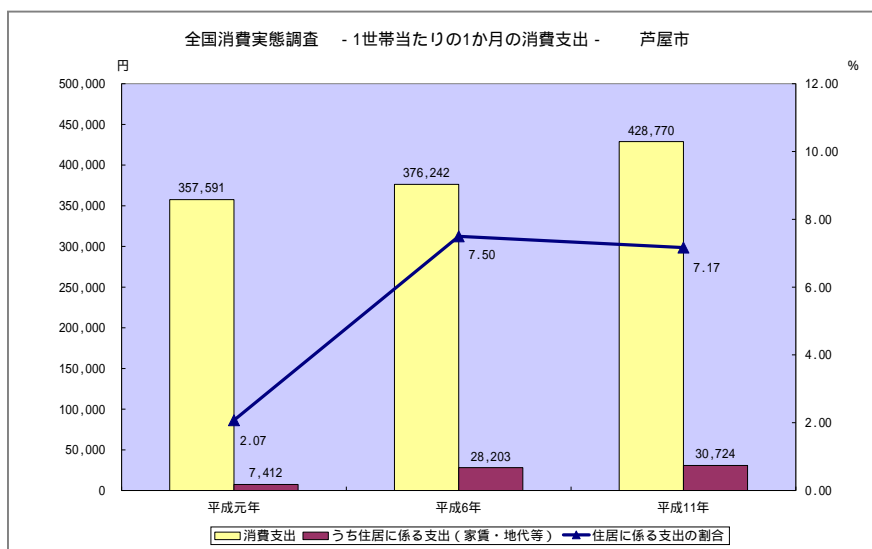
グラフ 51：全国消費実態調査 - 1世帯当たりの1か月の消費支出 - 尼崎市



グラフ 52：全国消費実態調査 - 1世帯当たりの1か月の消費支出 - 西宮市



グラフ 53：全国消費実態調査 - 1世帯当たりの1か月の消費支出 - 芦屋市

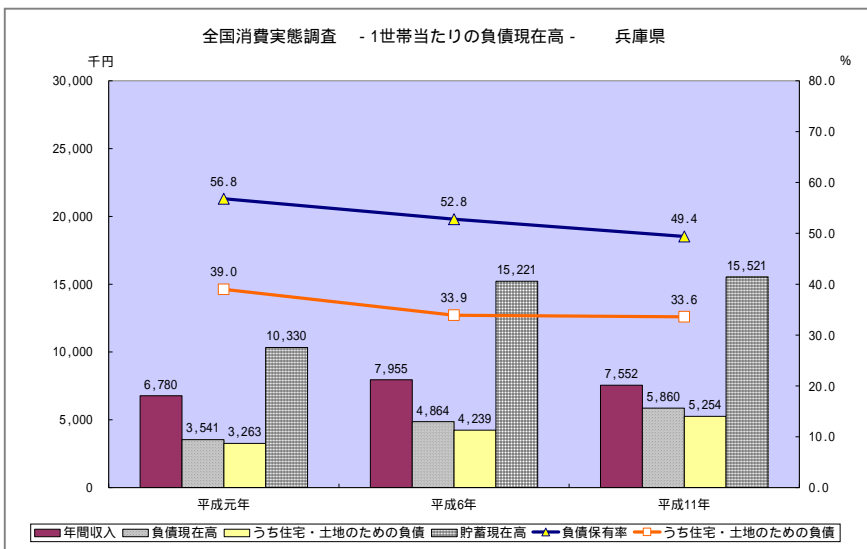


3 暮らし向きの推移

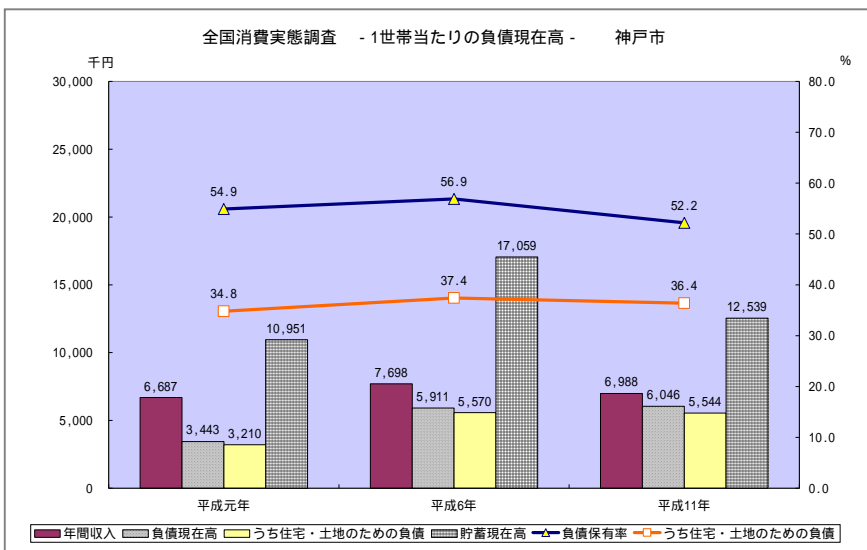
72, 73 ページの表 31 について, 1 世帯当たりの負債現在高, うち住宅・土地のための年間収入, 負債現在高, 貯蓄現在高, 負債保有率及び住宅・土地のための負債の割合についてグラフ 54 からグラフ 58 に表した。

平成元年(1989年)から平成11年(1999年)の推移について比較すると, 本市は年間収入を超える負債現在高であったのが, 平成11年(1999年)の調査では年間収入よりも少ない負債現在高になっている。また, 負債のうち住宅・土地のための負債の割合が減少していることが特徴として見られる。

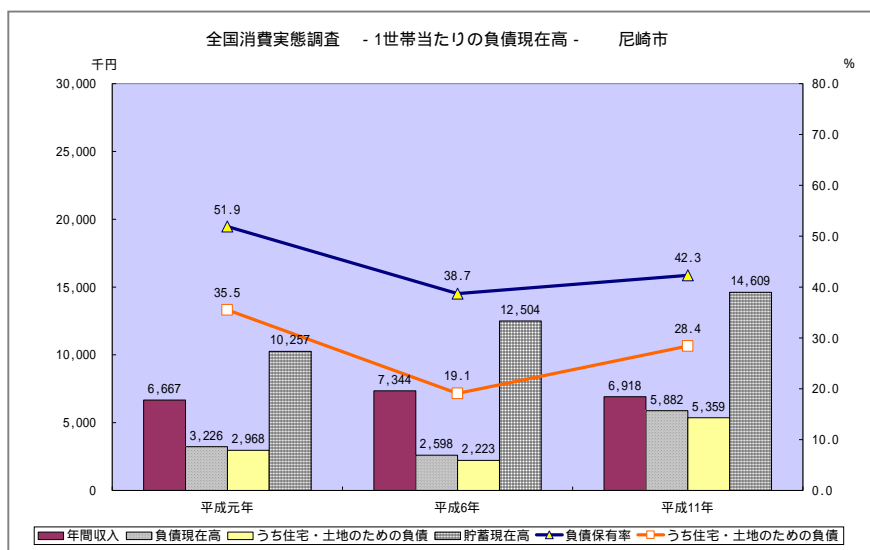
グラフ 54 : 全国消費実態調査 - 1 世帯当たりの負債現在高 - 兵庫県



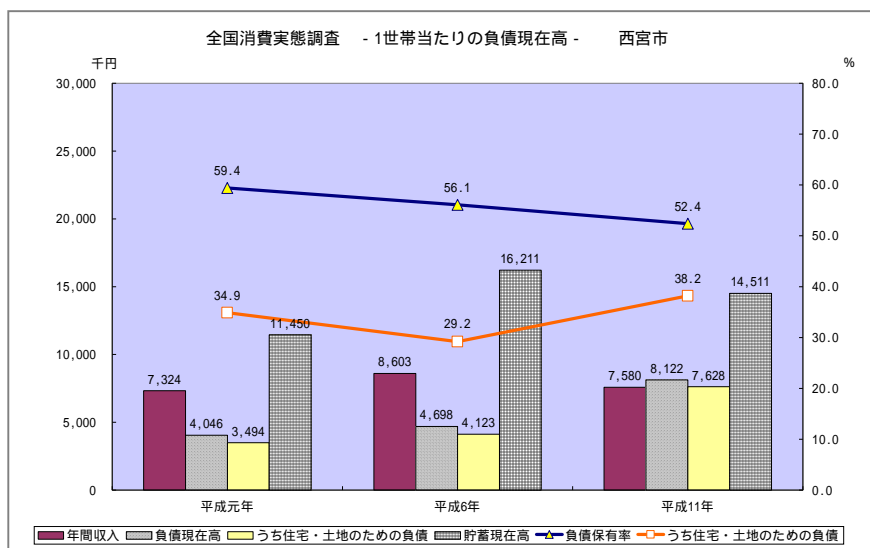
グラフ 55 : 全国消費実態調査 - 1 世帯当たりの負債現在高 - 神戸市



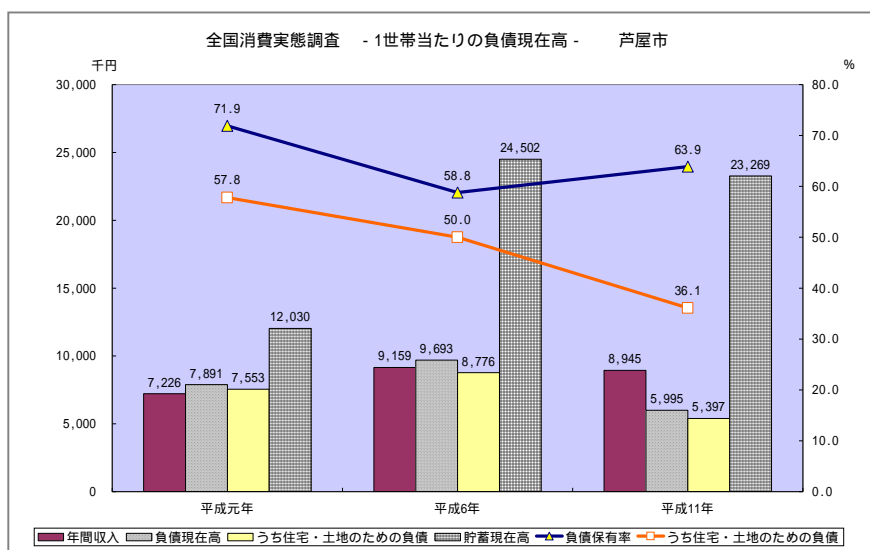
グラフ 56：全国消費実態調査 - 1世帯当たりの負債現在高 - 尼崎市



グラフ 57：全国消費実態調査 - 1世帯当たりの負債現在高 - 西宮市



グラフ 58：全国消費実態調査 - 1世帯当たりの負債現在高 - 芦屋市



3 暮らし向きの推移

(参考) 死亡と自殺の推移

「兵庫県保健統計年報」から、本市の死亡数と自殺数の推移を表した。

下記のグラフ 59 で死亡数を見ると、平成 7 年（1995 年）に死亡数、死亡率とも突出しているが、その後は、昭和 63 年（1988 年）からの全体的に微増傾向に戻っている。

グラフ 59：兵庫県保健統計年報 - 死亡と人口 1000 人当りの死亡率の推移 -

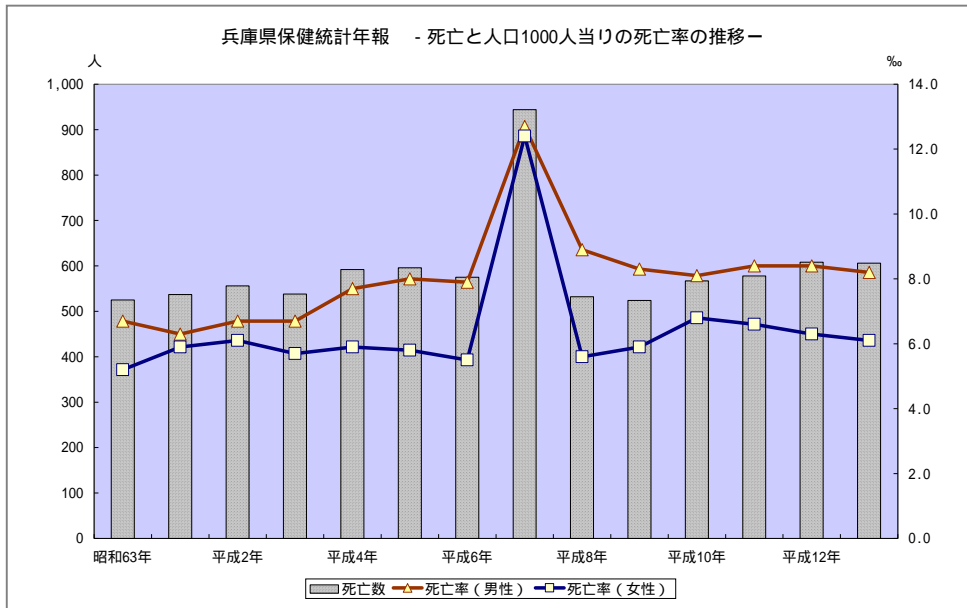


表 32：兵庫県保健統計年報 - 死亡数と自殺数の推移 -

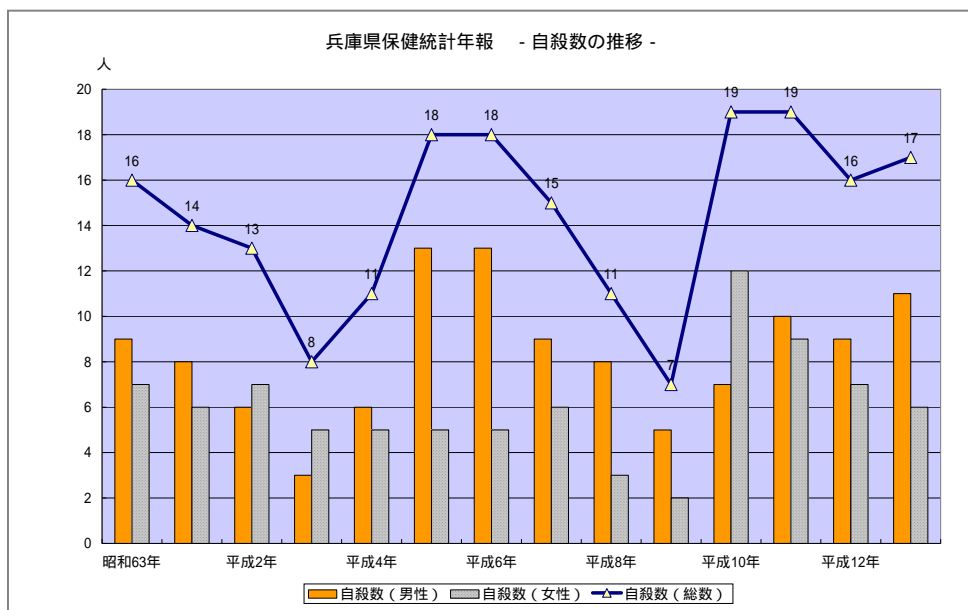
区分	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年
死亡数(人)						
総数	525	537	556	538	592	596
男性	279	261	275	274	316	325
女性	246	276	281	264	276	271
自殺数(人)						
総数	16	14	13	8	11	18
男性	9	8	6	3	6	13
女性	7	6	7	5	5	5
死亡率(‰)						
総数	0.59	0.61	0.64	0.61	0.68	0.68
男性	0.67	0.63	0.67	0.67	0.77	0.80
女性	0.52	0.59	0.61	0.57	0.59	0.58
死亡数に対する自殺数の割合(%)						
総数	3.0	2.6	2.3	1.5	1.9	3.0
男性	3.2	3.1	2.2	1.1	1.9	4.0
女性	2.8	2.2	2.5	1.9	1.8	1.8
推計人口(10月1日現在)(人)						
総数	88,623	87,841	87,524	87,567	87,541	87,127
男性	41,615	41,208	41,130	41,096	40,948	40,707
女性	47,008	46,633	46,394	46,471	46,593	46,420

資料：兵庫県『保健統計年報』(死亡数・自殺数)

資料：芦屋市『芦屋市統計書』(推計人口)

下記のグラフ 60 から自殺数の推移を見ると、平成 5 年（1993 年）、6 年（1994 年）に 18 人であったのが、震災以降、平成 9 年（1997 年）まで減少し、その後、平成 10 年（1998 年）、11 年（1999 年）に 19 人と増加しており、その後も毎年 15 人以上となっている。

グラフ 60：兵庫県保健統計年報 - 自殺数の推移 -



平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年
575	944	532	524	567	578	608	606
321	445	308	288	287	302	324	325
254	499	224	236	280	276	284	281
18	15	11	7	19	19	16	17
13	9	8	5	7	10	9	11
5	6	3	2	12	9	7	6
0.66	1.26	0.71	0.70	0.74	0.74	0.73	0.71
0.79	1.27	0.89	0.83	0.81	0.84	0.84	0.82
0.55	1.24	0.56	0.59	0.68	0.66	0.63	0.61
3.1	1.6	2.1	1.3	3.4	3.3	2.6	2.8
4.0	2.0	2.6	1.7	2.4	3.3	2.8	3.4
2.0	1.2	1.3	0.8	4.3	3.3	2.5	2.1
86,630	75,032	74,562	74,922	76,212	77,775	83,834	85,378
40,401	34,928	34,687	34,748	35,295	35,872	38,705	39,425
46,229	40,104	39,875	40,174	40,917	41,903	45,129	45,953

3 暮らし向きの推移

(参考) 犯罪認知件数の推移

次に、兵庫県警察本部「犯罪統計書」より、芦屋署管内の犯罪発生について表した。

刑法犯の認知件数は平成 13 年度(2001 年度)、14 年度(2002 年度)に激増している。

グラフ 61：兵庫県犯罪統計 - 芦屋署における刑法犯認知件数の推移 -

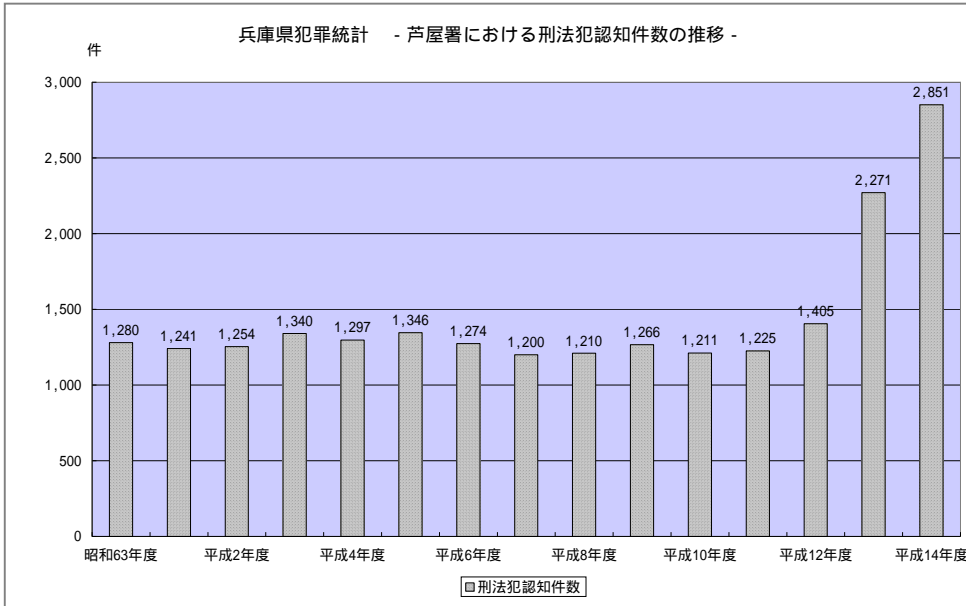


表 33：兵庫県犯罪統計 - 警察署別統計表 -

区分	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
刑法犯						
認知件数	1,280	1,241	1,254	1,340	1,297	1,346
検挙件数	754	459	413	472	410	341
検挙人員	333	152	170	223	193	206
特別法犯						
送致件数	51	23	64	39	33	20
送致人員	57	18	43	28	23	17

資料：兵庫県警察本部『犯罪統計書』

注意：検挙件数及び人員は、特に注記のない限り事件発生地のいかにかわらず、実際に検挙した警察署を基準に計上している。

平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
1,274	1,200	1,210	1,266	1,211	1,225	1,405	2,271	2,851
540	559	276	358	367	445	254	233	204
230	162	209	188	250	266	198	237	175
30	17	28	52	44	33	29	16	20
26	12	26	40	30	26	18	16	15

4 産業の推移

4 産業の推移

(1) 法人市民税の課税状況から見る法人の推移

本市の事業所の経営状況の目安として、法人市民税の推移を表した。

昭和63年(1988年)からの推移を見ると、法人市民税全体の調定額は減少傾向にあるが、納税義務者数は増加傾向にある。

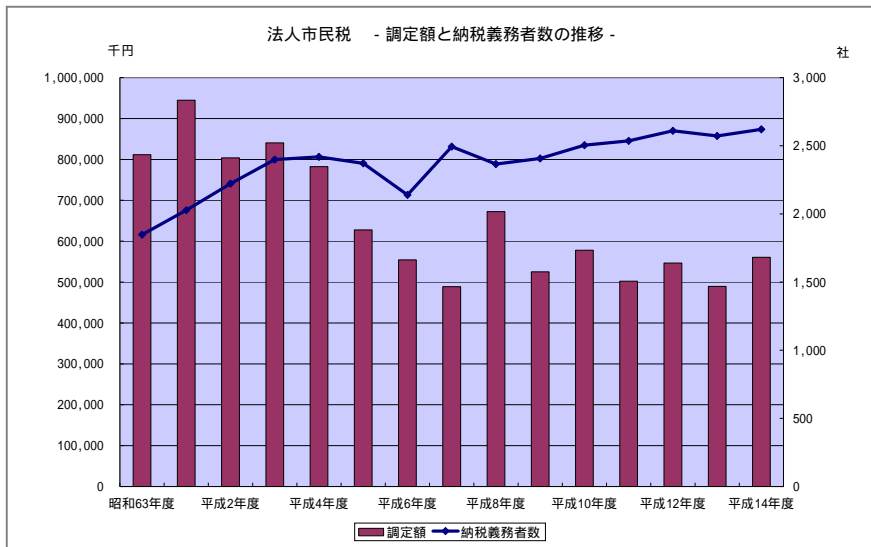
右ページのグラフ63を見ると1納税義務者当たりの税額が減少している。

表 34：法人市民税の推移

区 分		昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
法人市民税負担状況(円)							
	納税義務者1社当たり	439,179	465,876	361,699	350,400	323,439	264,750
納税義務者数(社)							
	合計(実納税者数)	1,848	2,028	2,222	2,398	2,419	2,371
	法人税割	1,117	1,250	1,326	1,397	1,314	1,180
	均等割	1,668	1,819	2,025	2,155	2,180	2,191
調定額(千円)							
	合計	811,603	944,796	803,696	840,259	782,399	627,723
	法人税割	671,415	801,111	639,106	665,682	609,497	447,483
	均等割	140,188	143,685	164,590	174,577	172,902	180,240

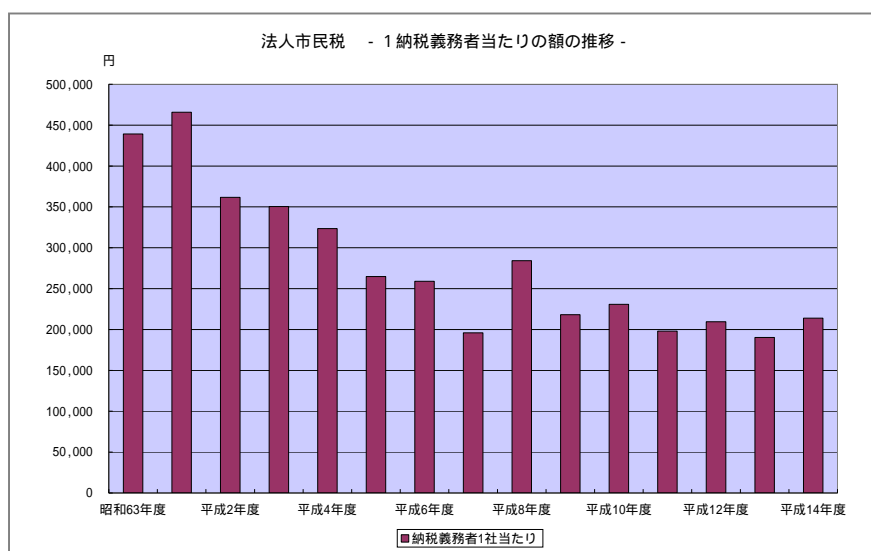
資料：芦屋市『事務報告書』

グラフ 62：法人市民税の推移 - 調定額と納税義務者数 -



平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
258,944	195,966	284,178	218,096	230,829	198,051	209,443	190,225	213,902
2,140	2,494	2,366	2,407	2,504	2,536	2,610	2,572	2,621
1,075	1,016	1,078	1,048	1,103	1,097	1,204	1,170	1,190
1,941	2,357	2,180	2,177	2,320	2,330	2,377	2,429	2,441
554,140	488,740	672,365	524,957	577,996	502,257	546,647	489,258	560,637
377,056	279,292	460,137	321,216	369,883	290,785	330,607	274,274	336,199
177,084	209,448	212,228	203,741	208,113	211,472	216,040	214,984	224,438

グラフ 63：法人市民税の推移 - 1 納税義務者当たりの額 -



4 産業の推移

(2) 商業の推移

本市の商業の推移について表した。

昭和63年(1988年)から平成14年(2002年)にかけて、商店数は減少している。一方、従業者数は、調査ごとに大きく変動しており、傾向はわかりにくい。

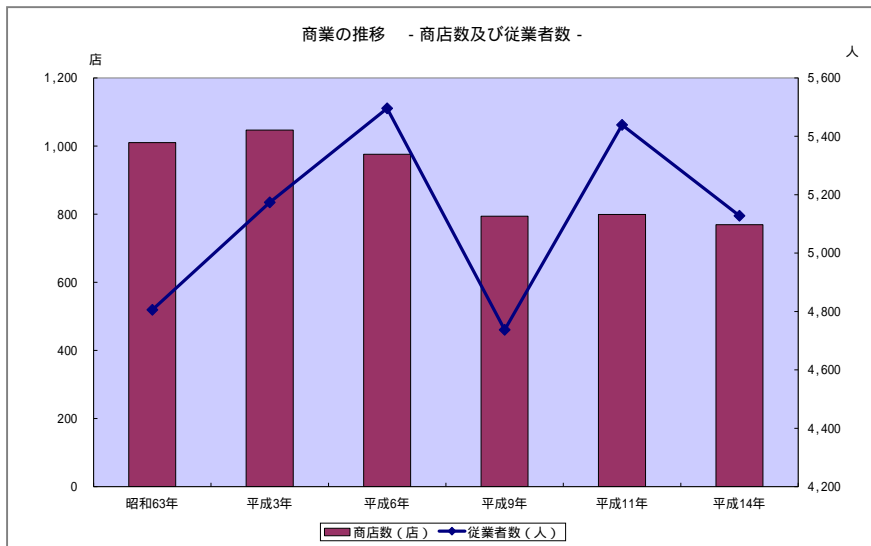
年間販売額は、平成3年(1991年)に急増しているが、それ以降は同程度に推移している。

表 35：商店数・従業者数及び年間販売額の推移

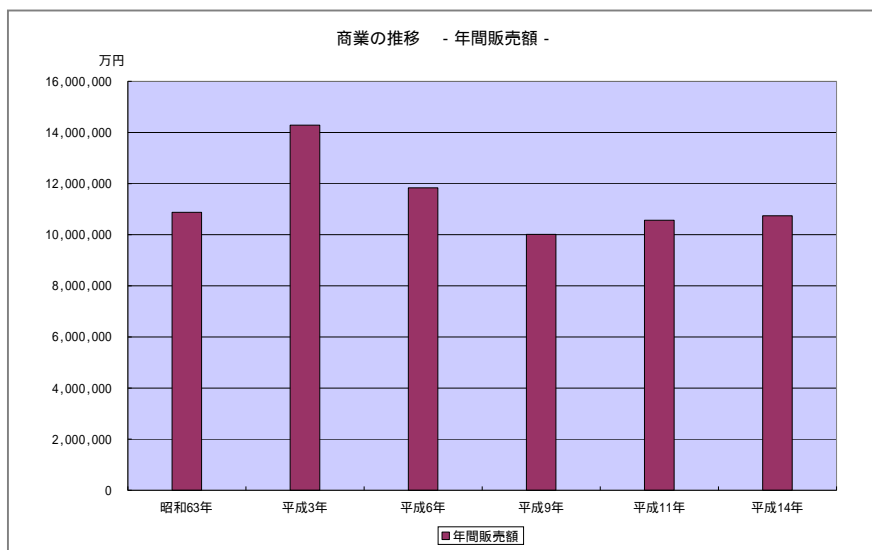
区 分	昭和63年	平成3年	平成6年	平成9年	平成11年	平成14年
	S63.7.1	H3.7.1	H6.7.1	H9.6.1	H11.7.1	H14.6.1
商業の推移						
商店数(店)	1,010	1,047	976	794	799	769
従業者数(人)	4,806	5,174	5,496	4,737	5,439	5,128
年間販売額(万円)	10,877,283	14,288,839	11,836,316	10,014,508	10,563,010	10,737,359

資料：芦屋市『芦屋市統計書』

グラフ 64：商業の推移 - 商店数及び従業者数 -



グラフ 65：商業の推移 - 年間販売額 -



4 産業の推移

(3) 製造業の推移

本市の製造業の推移について表した。

それを見ると、本市の製造業事業所数と従業者数は、年度によって増減はあるものの、全体として減少している。特に、法人に比べて個人の事業所数と従業者数は、昭和63年（1988年）に24事業所、37人であったのが、平成13年（2001年）では、3事業所、7人にまで減少している。

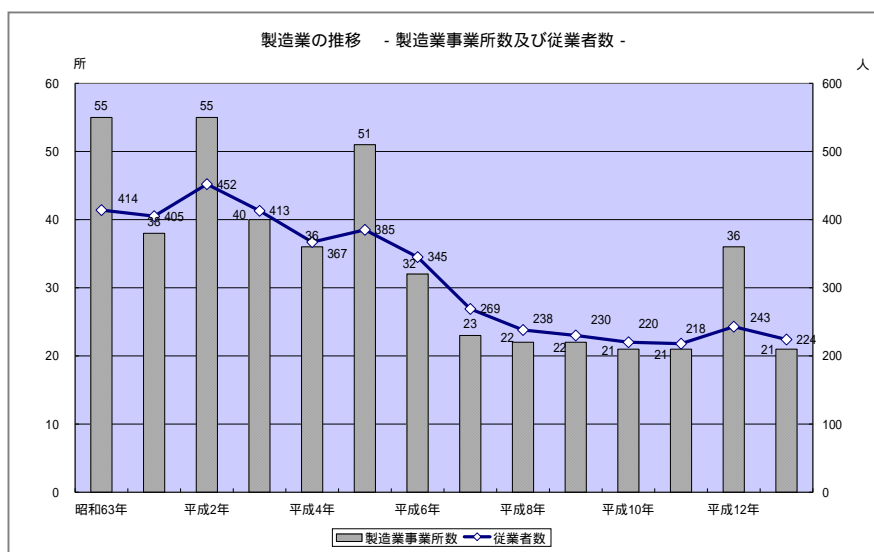
また、右ページのグラフ67を見ると製造品出荷額等も減少してきている。

表 36：製造業事業所数・従業者数及び製造品出荷額の推移

区 分	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年
製造業事業所数（所）						
総数	55	38	55	40	36	51
法人	31	28	31	29	26	29
個人	24	10	24	11	10	22
従業者数（人）						
総数	414	405	452	413	367	385
常用労働者	377	389	414	397	350	350
個人事業主・家族従業者	37	16	38	16	17	35
製造品出荷額（万円）						
製造品出荷額	419,573	453,688	523,974	552,533	478,063	465,676

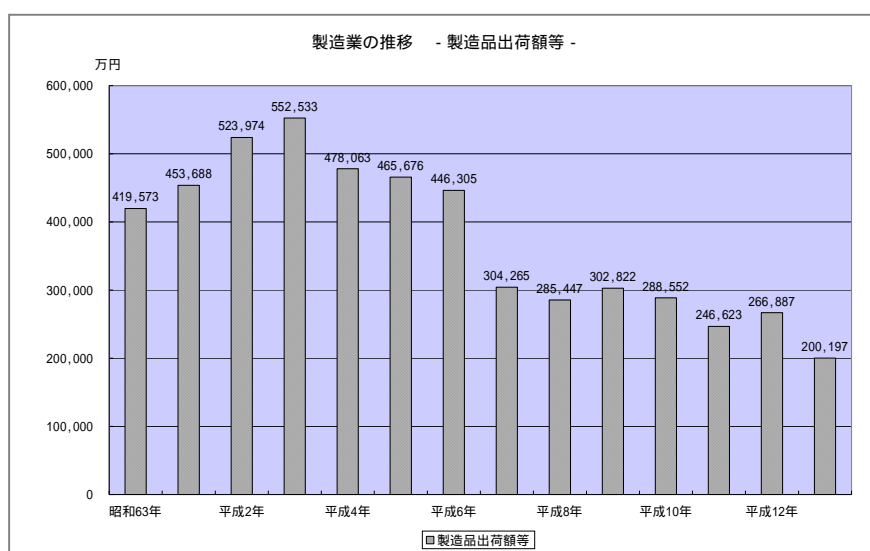
資料：芦屋市『芦屋市統計書』

グラフ 66：製造業の推移 - 製造業事業所数及び従業者数 -



平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
32	23	22	22	21	21	36	21	17
25	18	16	16	18	18	18	18	17
7	5	6	6	3	3	18	3	-
345	269	238	230	220	218	243	224	198
336	262	228	224	214	214	212	217	198
9	7	10	6	6	4	31	7	-
446,305	304,265	285,447	302,822	288,552	246,623	266,941	200,197	187,151

グラフ 67 : 製造業の推移 - 製造品出荷額等 -



4 産業の推移

(4) 農業の推移

農林水産省が5年ごとに実施する農林業センサスから本市の農業の状況について表した。

昭和60年(1985年度)に31戸、146人の農家人口であったのが、その後調査のたびに減少し、平成12年(2000年度)では6戸、28人のみとなった。それに併せ、経営耕地面積も752アールから309アールに減少している。

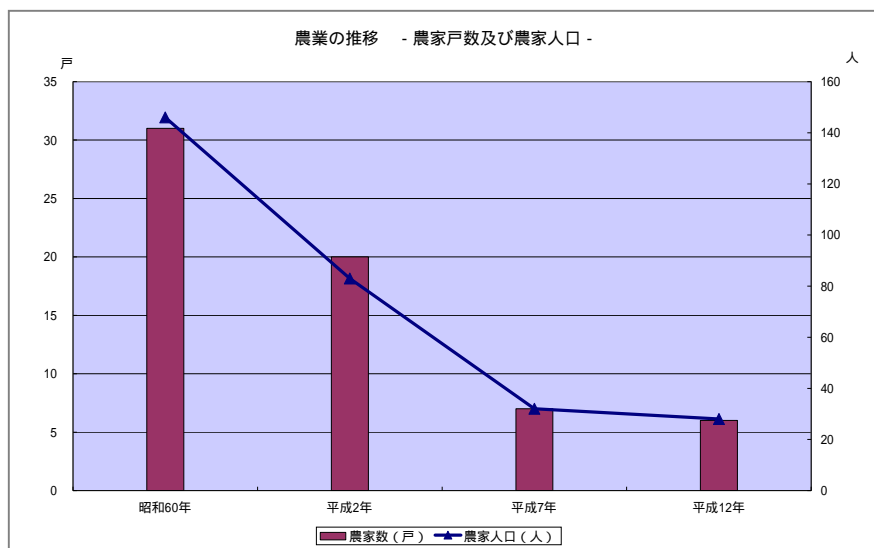
表 37：農業の推移

区 分	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
農業の推移				
農家数(戸)	31	20	7	6
農家人口(人)	146	83	32	28
経営耕地面積(a)	752	581	295	309
田	472	423	243	231
畑	277	153	44	68
樹園地	3	5	8	10

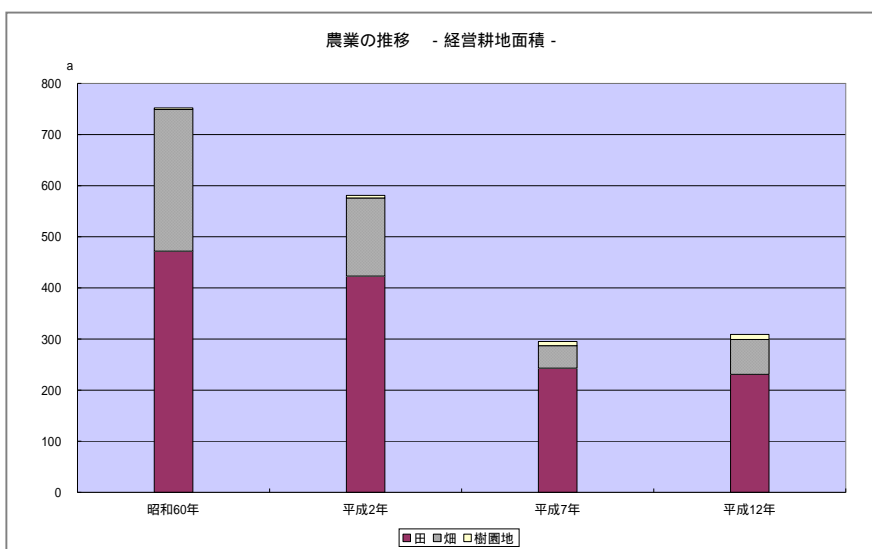
資料：芦屋市『芦屋市統計書』

農林業センサス：農林水産省が所管する指定統計調査で、5年(林業は10年)ごとに実施され、全ての農林業事業体について調査したもの

グラフ 68：農業の推移 - 農家戸数及び農家人口 -



グラフ 69：農業の推移 - 経営耕地面積 -



4 産業の推移

(5) 漁業の推移

本市の漁業の推移について表した。

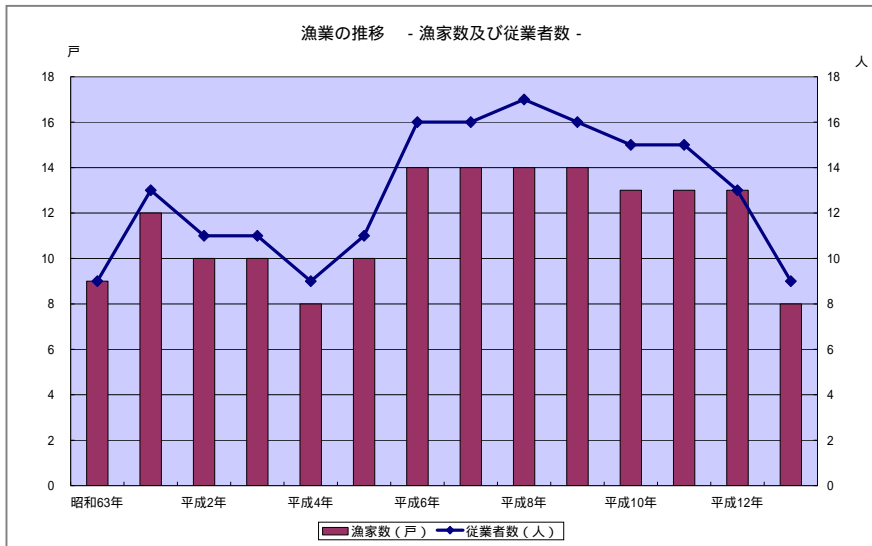
本市の漁家数と従業者数は、昭和63年(1988年)が9戸、9人であったが、平成6年(1994年)から平成9年(1997年)は14戸、17人に増加したが、平成13年(2001年度)には8戸、9人になった。一方、年間漁獲高は昭和63年(1988年)から減少しつづけている。

表 38：漁業の推移

区 分	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年
漁業の推移								
漁家数(戸)	9	12	10	10	8	10	14	14
従業者数(人)	9	13	11	11	9	11	16	16
漁船数(隻)	8	8	8	8	8	9	7	7
年間漁獲高(t)	994	654	415	438	335	352	363	240

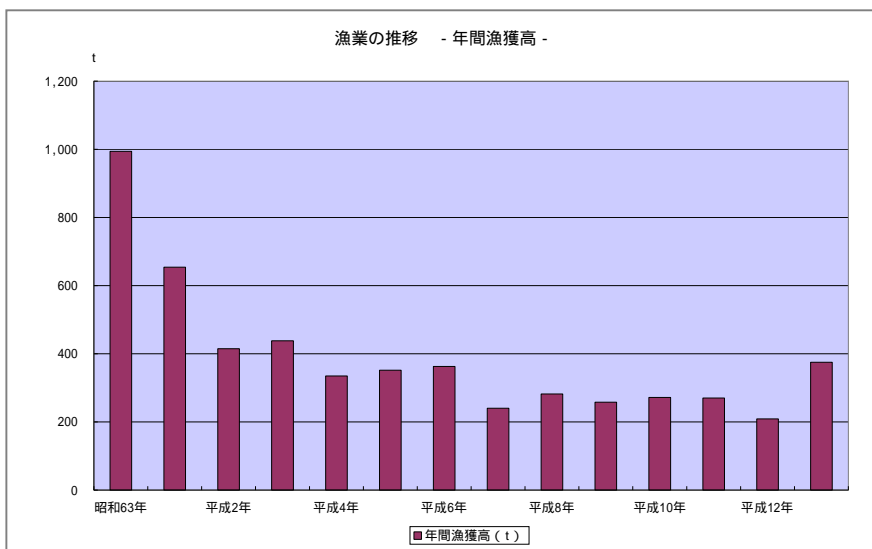
資料：芦屋市『芦屋市統計書』

グラフ 70：漁業の推移 - 漁家数及び従業者数 -



平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
14	14	13	13	13	8	8
17	16	15	15	13	9	13
8	8	8	8	8	8	8
282	258	272	270	209	375	206

グラフ 71：漁業の推移 - 年間漁獲高 -



5 市財政の推移

5 市財政の推移

(1) 歳入の推移

普通会計の歳入決算額の推移について表した。

下記のグラフ 72, 右ページのグラフ 73 で見ると, 平成7年度(1995年度)の歳入が急増しており, 構成割合としては市債が45%にもなっている。これは, 阪神・淡路大震災からの復旧・復興事業によるものである。

グラフ 72: 普通会計歳入決算額の推移 - 歳入総額と市税の占める割合 -

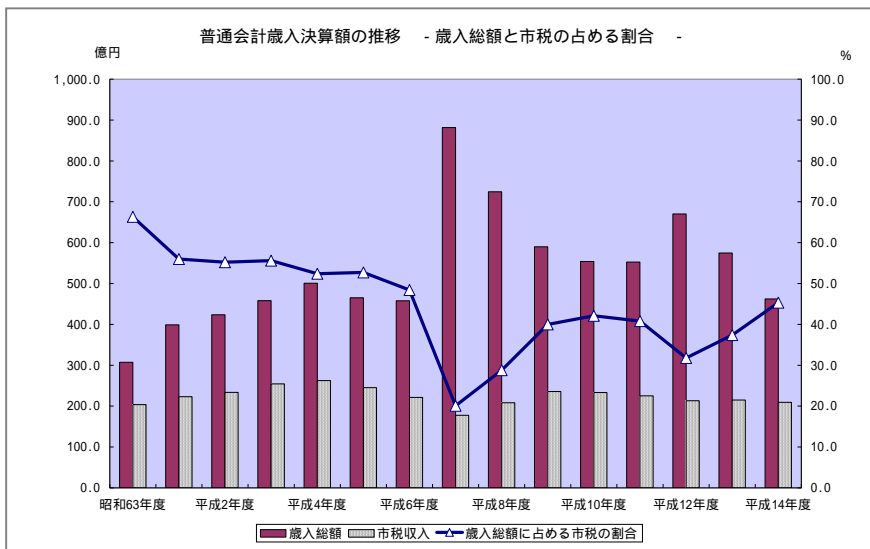
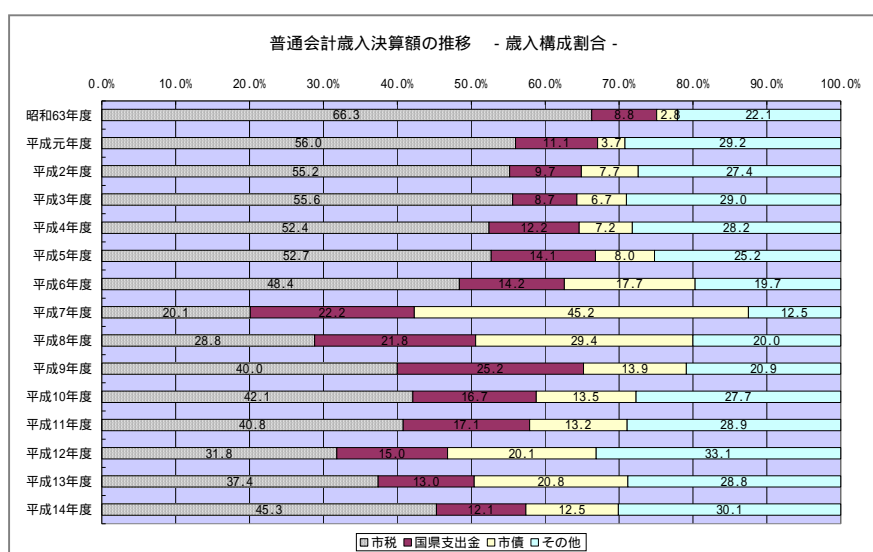


表 39: 普通会計歳入決算額の推移

区分	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
歳入総額 (普通会計)						
歳入総額 (億円)	307.2	398.7	423.5	458.1	500.6	465.1
市税	203.7	223.1	233.5	254.4	262.4	245.2
国県支出金	27.1	44.3	41.2	39.9	61.2	65.4
市債	8.5	15.0	32.6	30.8	35.8	37.3
その他	67.9	116.3	116.2	133.0	141.2	117.2
歳入構成割合 (普通会計)						
合計 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
市税	66.3	56.0	55.2	55.6	52.4	52.7
国県支出金	8.8	11.1	9.7	8.7	12.2	14.1
市債	2.8	3.7	7.7	6.7	7.2	8.0
その他	22.1	29.2	27.4	29.0	28.2	25.2
市税の決算額 (億円)						
総額	203.7	223.2	233.6	254.5	262.3	245.1
市民税	128.5	146.8	155.3	169.9	172.3	150.4
法人	8.1	9.5	7.9	7.9	7.8	6.3
個人	120.4	137.3	147.4	162.0	164.5	144.1
固定資産税	51.1	53.8	55.7	60.5	64.7	69.4
その他	24.1	22.6	22.6	24.1	25.3	25.3

資料: 芦屋市「決算状況」

グラフ 73：普通会計歳入決算額の推移 - 歳入構成割合 -



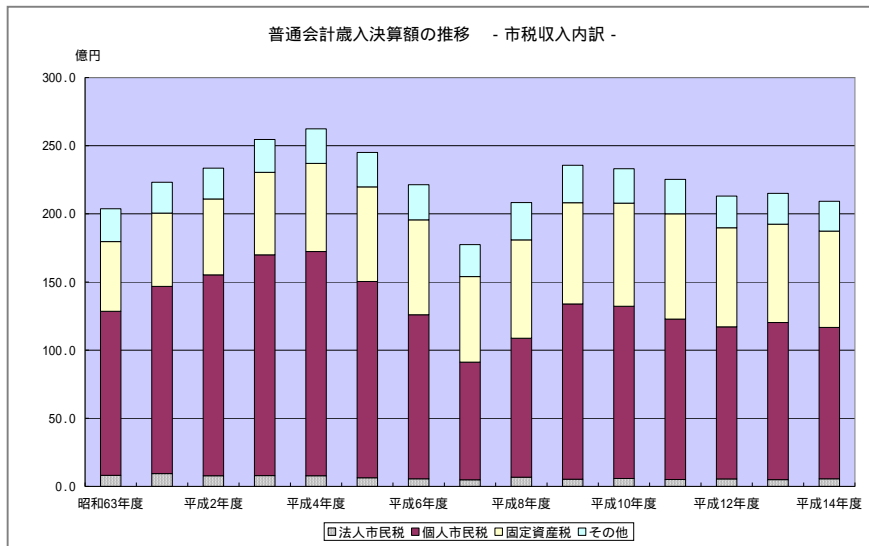
平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
457.8	881.7	724.5	589.7	553.9	552.4	670.2	574.9	462.2
221.4	177.5	208.3	235.6	233.2	225.2	213.1	215.1	209.2
65.0	195.5	158.0	148.9	92.3	94.4	100.5	74.9	55.8
81.2	398.6	213.1	82.1	75.0	73.2	134.6	119.4	57.9
90.2	110.1	145.1	123.1	153.4	159.6	222.0	165.5	139.3
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
48.4	20.1	28.8	40.0	42.1	40.8	31.8	37.4	45.3
14.2	22.2	21.8	25.2	16.7	17.1	15.0	13.0	12.1
17.7	45.2	29.4	13.9	13.5	13.2	20.1	20.8	12.5
19.7	12.5	20.0	20.9	27.7	28.9	33.1	28.8	30.1
221.4	177.5	208.3	235.6	233.1	225.3	213.1	215.0	209.2
126.0	91.2	108.8	133.9	132.2	122.7	117.1	120.2	116.7
5.6	4.9	6.8	5.3	5.8	5.0	5.5	4.9	5.6
120.4	86.3	102.0	128.6	126.4	117.7	111.6	115.3	111.1
69.6	62.8	72.1	74.3	75.7	77.3	72.7	72.2	70.7
25.8	23.5	27.4	27.4	25.2	25.3	23.3	22.6	21.8

5 市財政の推移

一方、昭和63年度（1988年度）歳入の66%を占めていた市税収入額は、平成4年度（1992年度）まで伸び続け、約262億円にまでなったが、徐々に減少し、平成7年度（1995年度）には約177億円にまで落ち込んだ。その後、約200億円までは回復したが、減少傾向にある。

また、下記のグラフ74からもわかるが、本市の特徴として個人市民税が市税収入の5割以上を占めており、個人市民税の増減によって市税収入の額が増減していることがわかる。

グラフ74：普通会計歳入決算額の推移 - 市税収入内訳 -

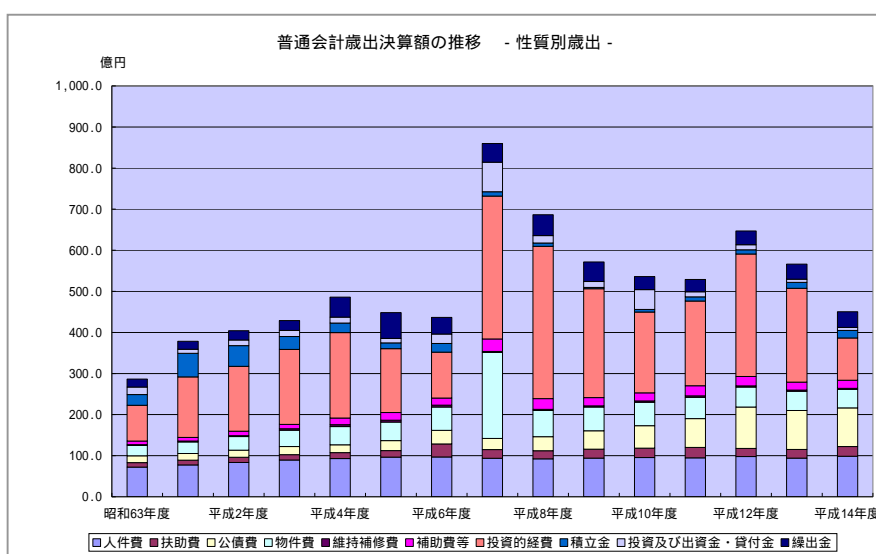


(2) 歳出の推移

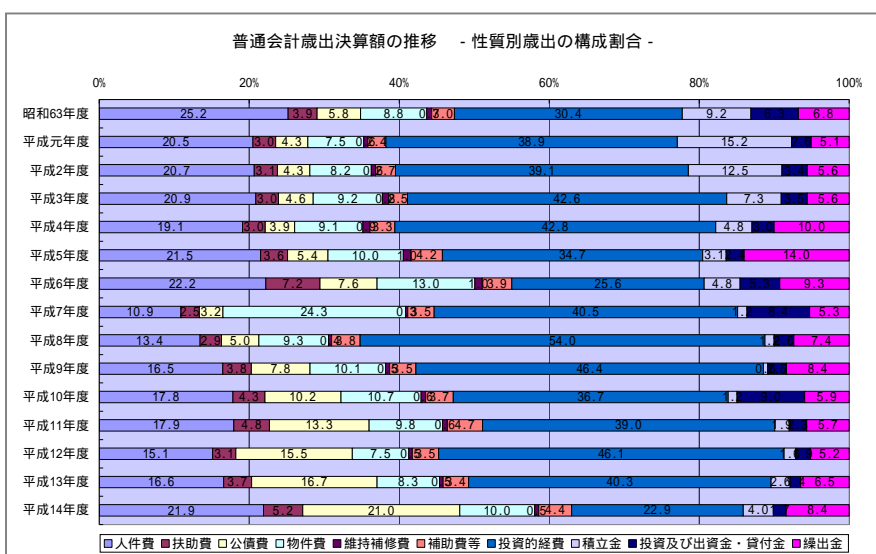
普通会計の歳出決算額の推移について表した。

性質別歳出で見ると、平成7年度(1995年度)は物件費が突出し、投資的経費も急増している。その後、平成13年度(2001年度)までは投資的経費の金額は大きく、40%から50%を占めていたが、平成14年度(2002年度)は2割近くまで減っている。

グラフ 75：普通会計歳出決算額の推移 - 性質別歳出 -



グラフ 76：普通会計歳出決算額の推移 - 性質別歳出の構成割合 -



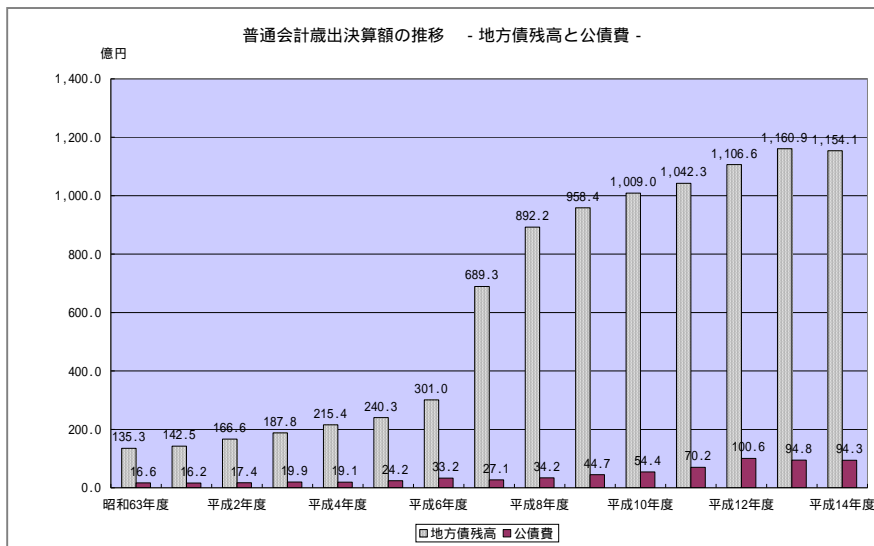
5 市財政の推移

表 40：普通会計歳出決算額の推移

区分	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
性質別決算額の推移（億円）						
歳出合計	286.4	378.3	404.1	428.9	486.0	448.1
人件費	72.1	77.5	83.5	89.5	92.9	96.5
扶助費	11.1	11.5	12.5	13.0	14.7	16.0
公債費	16.6	16.2	17.4	19.9	19.1	24.2
物件費	25.3	28.2	33.1	39.7	44.2	45.0
維持補修費	1.9	2.1	2.3	3.5	4.6	4.6
補助費等	8.7	9.1	10.7	10.8	16.2	18.8
投資的経費	87.0	147.1	157.8	182.6	208.0	155.5
積立金	26.2	57.5	50.4	31.2	23.4	14.0
投資及び出資金・貸付金	18.1	10.0	13.7	14.9	14.4	10.7
繰出金	19.4	19.2	22.6	24.0	48.6	62.8
性質別決算額構成比率の推移（％）						
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
人件費	25.2	20.5	20.7	20.9	19.1	21.5
扶助費	3.9	3.0	3.1	3.0	3.0	3.6
公債費	5.8	4.3	4.3	4.6	3.9	5.4
物件費	8.8	7.5	8.2	9.2	9.1	10.0
維持補修費	0.7	0.6	0.6	0.8	0.9	1.0
補助費等	3.0	2.4	2.7	2.5	3.3	4.2
投資的経費	30.4	38.9	39.1	42.6	42.8	34.7
積立金	9.2	15.2	12.5	7.3	4.8	3.1
投資及び出資金・貸付金	6.3	2.6	3.4	3.5	3.0	2.4
繰出金	6.8	5.1	5.6	5.6	10.0	14.0
地方債残高（億円）						
地方債残高	135.3	142.5	166.6	187.8	215.4	240.3

資料：芦屋市「決算状況」

グラフ 77：普通会計歳出決算額の推移 - 地方債残高と公債費 -



平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
436.5	859.7	686.4	571.6	536.0	528.9	647.1	566.3	450.2
96.9	93.6	92.3	94.2	95.6	94.9	97.9	93.9	98.6
31.5	21.1	19.6	21.8	22.8	25.1	19.9	21.2	23.5
33.2	27.1	34.2	44.7	54.4	70.2	100.6	94.8	94.3
56.9	209.3	63.8	57.7	57.2	51.8	48.7	47.1	44.9
4.3	2.6	2.7	3.1	3.2	3.4	3.0	2.8	2.4
17.2	30.2	26.1	20.0	19.8	24.8	22.7	19.2	19.7
112.0	347.9	370.6	265.0	196.5	206.1	298.1	228.4	103.1
21.0	10.7	8.4	3.2	6.3	10.2	10.1	14.5	18.1
23.1	71.8	18.0	14.3	48.4	12.4	12.5	7.9	7.7
40.4	45.3	50.7	47.8	31.8	29.9	33.5	36.6	37.8
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
22.2	10.9	13.4	16.5	17.8	17.9	15.1	16.6	21.9
7.2	2.5	2.9	3.8	4.3	4.8	3.1	3.7	5.2
7.6	3.2	5.0	7.8	10.2	13.3	15.5	16.7	21.0
13.0	24.3	9.3	10.1	10.7	9.8	7.5	8.3	10.0
1.0	0.3	0.4	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5
3.9	3.5	3.8	3.5	3.7	4.7	3.5	3.4	4.4
25.6	40.5	54.0	46.4	36.7	39.0	46.1	40.3	22.9
4.8	1.2	1.2	0.6	1.2	1.9	1.6	2.6	4.0
5.3	8.4	2.6	2.5	9.0	2.3	1.9	1.4	1.7
9.3	5.3	7.4	8.4	5.9	5.7	5.2	6.5	8.4
301.0	689.3	892.2	958.4	1,009.0	1,042.3	1,106.6	1,160.9	1,154.1

一方、平成7年度（1995年度）以降、地方債残高が急増し、平成10年度（1998年度）には1,000億円を超えた。それとともに公債費も増大し続け、平成14年度（2002年度）には歳出の21%を占めるまでになっている。

統計で見る芦屋市の現況

発行日 平成16年6月

発行 芦屋市総務部企画課

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号

TEL(0797)38-2009 FAX(0797)31-4841